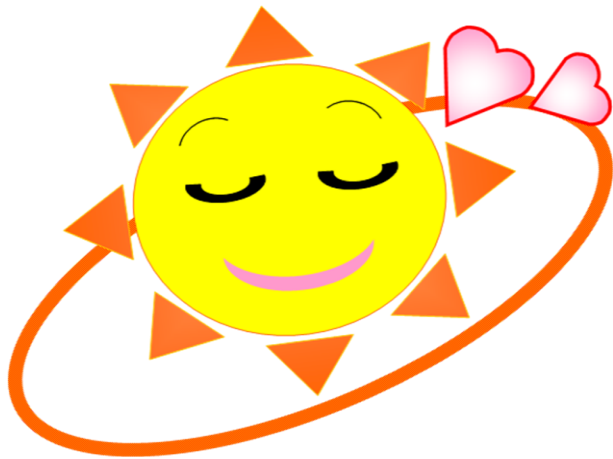


令和4年度

事業報告書



社会福祉法人
多摩市社会福祉協議会

令和4年度 事業報告書 本編 目次

総括	-----	1
新規・重点事業	-----	3
見直し・拡充	-----	6
1 みんなが“つながり”“助け合える”仕組みを広げます		
1-1 地域住民主体の小地域福祉活動の促進		
-1-1 地域福祉推進委員会の運営支援	-----	9
-2-1 住民ニーズの把握と課題・共有化	-----	10
-3-1 自治会・住宅管理組合等小エリア(第3層)での地域福祉活動の展開支援	-----	11
-4-1 たすけあい有償活動の推進	-----	13
-5-1 ふれあい・いきいきサロン等の立ち上げ・運営支援と活動支援	-----	14
-6-1 生活支援体制整備事業の推進	-----	15
-7-1 活動拠点の確保	-----	16
2 みんなで“学びあい”“地域を支える心”を育みます！		
2-1 福祉を身近に感じる機会の提供		
-1-1 福祉に対する意識に醸成のための事業の実施(福祉大会・福祉フェスタ)	-----	19
-1-2 福祉に対する意識に醸成のための事業の実施(地域出前事業の開催)	-----	20
-2-1 障がい者理解の促進	-----	21
2-2 ボランティア・地域活動者の発掘・育成		
-1-1 ボランティア、地域活動への住民参加の促進及び福祉人材の育成(社協活動協力員)	-----	22
-1-2 ボランティア、地域活動への住民参加の促進及び福祉人材の育成(多世代のボランティア・市民活動者)	-----	22
-1-3 ボランティア、地域活動への住民参加の促進及び福祉人材の育成(老人福祉センター)	-----	24
-1-4 ボランティア、地域活動への住民参加の促進及び福祉人材の育成(同行援護従事者)	-----	24
-2-1 個別のニーズに応じたボランティア活動支援(コーディネート)の推進	-----	25
-3-1 ボランティア団体、NPO・市民活動団体支援の拡充	-----	26
2-3 企業・学校・社会福祉法人等による地域貢献活動の促進		
-1-1 多様な主体の参画の促進と連携・協力体制の構築(多摩市内社会福祉法人ネットワーク連絡会)	-----	27
-1-2 多様な主体の参画の促進と連携・協力体制の構築(「(仮称)多摩地域企業・大学ネットワーク連絡会」の設置)	-----	28
-1-3 多様な主体の参画の促進と連携・協力体制の構築(福祉協力店)	-----	29
3 みんなの暮らしに“安心”を届けます！		
3-1 権利擁護の推進		
-1-1 権利擁護センターの運営	-----	30
-2-1 市民後見人の養成	-----	32
3-2 多様な相談機会の提供		
-1-1 相談窓口の拡充	-----	33
3-3 災害時支援体制の強化		
-1-1 災害ボランティアセンター運営体制の拡充および災害時要配慮者支援の啓発の推進	-----	35
3-4 情報発信の強化		
-1-1 広報媒体の拡充	-----	37
3-5 多様なサービスの提供		
-1-1 老人福祉センターの充実	-----	39

-2-1 地域活動支援センター(障がい者福祉センター)の充実	39
-3-1 障害福祉サービスの提供	41
-4-1 生活支援の推進(貸付事業)	42
-4-2 生活支援の推進((仮称)高齢者安心サポート事業)	42
-4-3 生活支援の推進(住民主体による訪問型サービス)	43
-4-4 生活支援の推進(フードドライブ等事業)	44
-4-5 生活支援の推進(ひきこもり家庭支援)	45

令和4年度 事業報告書 附属明細書 目次

1. 組織運営	
(1) 三役会の開催	46
(2) 理事会の開催	46
(3) 評議員会の開催	47
(4) 監査の概要	47
(5) 各委員会の活動報告	48
(6) 各部会の活動報告	48
(7) 後援名義の使用許可状況	49
(8) 多摩社協活動協力員登録状況	49
2. 連絡調整	
(1) 実習生の受入れ状況	50
(2) 講師の派遣	50
3. 普及・啓発	
(1) 会報「ふくしだより」の発行	51
(2) 福祉バザー	51
(3) 福祉フェスタ	51
(4) 福祉大会	52
(5) メールマガジン配信状況	53
(6) 福祉協力店状況	53
4. 組織強化活動	
(1) 会員賛助金の状況	54
(2) チャリティーゴルフ大会	54
(3) 寄付金の状況	55
5. 助成事業	
(1) 収支の状況	56
(2) 福祉団体補助	56
(3) 老人クラブ連合会事業費補助金	56
(4) 自治会・住宅管理組合ふくし活動助成金	56
6. 地域福祉活動の推進事業	
(1) 収支の状況	58
(2) 相談事業「福祉なんでも相談」	58
(3) ふれあい・いきいきサロン推進事業	59
(4) 小地域福祉活動推進事業	67
7. 生活支援体制整備事業	
(1) 契約状況等	74
(2) 収支の状況	74
(3) 生活支援コーディネーターの活動状況	74
8. たすけあい有償活動事業	
(1) 概要	79
(2) 収支の状況	79
(3) たすけあい有償活動活動実績	79
(4) たすけあい有償活動の実施状況	80
(5) たすけあい有償活動協力員懇談会	80
(6) たすけあい有償活動協力員説明会	80

9. 住民主体による訪問型サービス	
(1) 概要	81
(2) 収支の状況	81
(3) 住民主体による訪問型サービス実施状況	81
10. ボランティア・市民活動推進事業	
(1) 収支の状況	82
(2) 多摩ボランティア・市民活動支援センター運営委員会及び各種専門委員会の開催	82
(3) ボランティア育成事業	82
(4) 企業・学校・社会福祉法人等による地域貢献活動の促進（多摩地域企業等情報交換の集い）	85
(5) フードドライブ事業	87
(6) フードパントリー事業	88
(7) 指定寄付金	88
(8) 子ども食堂等活動支援金交付事業	88
(9) ボランティア活動等振興助成金交付事業	89
(10) 相談事業	90
(11) 協力事業	90
(12) 地域出前事業	91
(13) 販売事務業務委託（市受託事業）	92
(14) 関係機関との連携	92
(15) 多摩ボランティア・市民活動支援センターボランティア登録者状況	92
(16) 多摩ボランティア・市民活動支援センター 利用登録者状況	92
(17) ボランティア相談状況	93
(18) 多摩ボランティア・市民活動支援センター広報状況	93
11. 介護予防ボランティアポイント事業（市受託事業）	
(1) 概要	95
(2) 契約状況等	96
(3) 収支の状況	96
(4) 事業実施状況	96
12. 福祉サービス利用援助事業	
(1) 概要	97
(2) 地域福祉権利擁護事業（東社協受託事業）	97
(3) 東京都福祉サービス総合支援事業（市補助事業）	98
(4) 成年後見制度利用支援業務（市補助事業）	98
(5) 実施事業	99
13. 資金貸付事業	
(1) 生活福祉資金（東社協受託事業）	102
(2) 小口資金	102
(3) 緊急援護事業	103
(4) ひとり親家庭高等職業促進資金貸付事業（東社協受託事業）	103
(5) 出張相談（しごと・くらしサポートステーション）	103
(6) その他（フードバンク事業）	103
14. 収益事業の実施	104
15. 障がい者地域活動支援センター事業（市受託事業）	
(1) 概要	105
(2) 契約状況等	105
(3) 収支の状況	106

(4) 利用登録状況	107
(5) 実施状況	107
16. 同行援護事業	
(1) 概要	115
(2) 収支の状況	115
(3) 同行援護活動実績	115
(4) 虐待防止委員会	116
(5) 同行援護従事者研修会	116
17. 意思疎通支援(手話通訳者派遣)事業(市受託事業)	
(1) 概要	117
(2) 契約状況等	117
(3) 収支の状況	117
(4) 多摩市登録手話通訳者の活動実績	118
(5) 手話通訳者研修会	118
18. 意思疎通支援(要約筆記者派遣)事業(市受託事業)	
(1) 概要	119
(2) 契約状況等	119
(3) 収支の状況	119
(4) 要約筆記者の活動実績	120
(5) 要約筆記者研修会	120
19. 共同募金関係	
(1) 赤い羽根共同募金	121
(2) 歳末たすけあい運動募金	121
20. その他の事業	
(1) 車椅子貸出事業	123

令和4年度総括

令和4年度は、第4次多摩市地域福祉活動計画の最終年度であり、本計画で掲げた基本理念「誰もが安心して暮らせる福祉のまちづくり」を目指し、市民の方々や多摩市社協を含めた地域の団体・組織などが、主体的にまた連携して取り組んだ年度でした。また、令和5年度からの次期計画の策定にあたっては、市の地域福祉計画策定で実施されたアンケートと合わせ、市民、関係団体、学識者による策定委員会を設置し、市民と共に取り組む計画としました。

第4次計画の後期計画期間にあたる令和2年度から4年度までの3年間は、コロナ禍により多くの活動が制限を余儀なくされ、様々な市民団体や多摩市社協においても事業を思うように推進できませんでした。また、経済的困窮や高齢者のフレイル、子どもや若者の生活・学習環境など、多くの地域課題が顕在化しました。これらの課題へ、市内の社会福祉法人・企業・大学等のネットワークの構築により、継続的な支援・取組を展開するとともに、生活福祉資金特例貸付と市の自立相談支援機関「しごと・くらしサポートステーション」や生活保護担当課、包括支援センターなどとの連携により、複合的な課題への支援に取り組んできました。

次代を担う子どもや若者へは、多くの市民の方から支援があり、令和3年度に子ども・若者応援基金を創設し、翌年度には同基金を活用した多摩市社協独自の助成金交付事業やフードドライブ事業を基調とした、多摩地域企業・大学等連絡会（ゆるたまネット）主催の「食料等無料配布事業」など新たな支援を展開しました。なお令和4年度の寄附金487万円のうち、子ども・若者への指定寄付は204万円で、全体の42%に上るものとなりました。

一方、超高齢社会を迎えた中、安心して最期まで暮らせるための支援事業として、令和3年度に実施したアンケート結果などを基に、単身高齢者の方の定期的な見守りや入院時の支援、死後事務などを担う「高齢者あんしんサポート事業」を創設し、令和5年度から事業実施することとしました。

令和4年度は、新型コロナ第7波・8波とこれまでにない感染拡大に見舞われましたが、With コロナ時代への社会状況等を踏まえ、3年ぶりとなる福祉フェスタや福祉バザー、来賓・被表彰者を招いての福祉大会を開催しました。地域においても、休止していた地域福祉推進委員会やサロン活動などが、オンラインと対面の併用など顔の見える手法を工夫しつつ、地域活動の再開が進んでいきました。多摩市社協もこうした取り組みが円滑に展開できるよう支援をしてまいりました。

組織運営では、多摩市が推進する「健幸まちづくり」への取組みとして、ワークライフバランスや健康管理、働き続けられる組織作りを目指す「健幸！ワーク宣言」を行いました。

令和5年度から始まる第5次多摩市地域福祉活動計画は、「つながり 支えあい 安心するまちづくり」を基本理念とし、6年後の目指す姿（基本目標の具体像）の実現に向け、市民や地域の企業、組織、多摩市社協がそれぞれの役割を担う、市民参加型の計画として策定いたしました。新たな地域福祉活動計画のもと、多摩市社

協は、様々な地域課題に対して、地域福祉コーディネーターがこれまで培ってきた地域に根差した支援をベースに、組織全体で取り組んでまいります。

新規・重点事業

令和4年度は、第4次多摩市地域福祉活動計画を遂行していく後期実施計画の最終年度となりました。本計画を踏まえ、令和4年度新規・重点事業として、以下の事項を具体的に推進いたしました。

1. 地域住民主体の小地域福祉活動の促進

(1) 【重点】地域福祉推進委員会の運営支援

感染症対策として、委員会がオンライン開催できるよう引き続き運営支援に力を入れた。オンラインの活用ができない参加者には、サテライト会場を設けるなどの対策を講じつつ、地域の状況に応じてオンラインを併用した運営支援を行った。エリアによっては、地域福祉推進委員会で SNS（インスタグラムなど）を導入するなど、若い世代等もターゲットにした情報発信に努めた。

第5次地域福祉活動計画の策定に合わせて、各地域福祉推進委員会世話人会での意見交換を行いながら、学識経験者の助言、指導をいただき、令和5年度から令和7年度までの小地域福祉活動計画を10エリア毎に策定した。

(2) 【重点】住民ニーズの把握と課題・共有化

都営住宅の移転（諏訪地区・中沢地区）があった地区では、移転後の居場所づくりや、相談対応等の支援をするため、昨年度から継続して自治会役員等との会議の場に包括支援センターと一緒に参加し、連携して支援をした。

結果、中沢地区と諏訪地区では、今年度、住民主体の新たな通いの場（ふれあい・いきいきサロンの立ち上げ）につながった。また、自主的な活動を継続していけるように伴走支援した。

関戸・一ノ宮地区では防災（水害）が地域課題となっており、水害防災ゲーム「EVAG」を用いた講座を開催し、避難のタイミングの判断や、住民同士の協力による避難、日頃からの支え合い等について、住民同士で学び、考える機会を設けた。

(3) 【重点】自治会・住宅管理組合等小エリア（第3層）での地域福祉活動の展開支援

自治会・住宅管理組合ご近所ふくし応援助成金は、合計20件の交付となった。
（交付決定は23件だが、3件がコロナ禍で事業実施出来なかった）

区分1については、新規で1団体の申請があり、落合地区の自治会が集合住宅で、高齢者のゴミ出し等の生活支援を開始し、地域福祉コーディネーターも伴走支援をした。

その他、諏訪地区では、集合住宅で有志による高齢者のゴミ出しの仕組みづくりについて伴走支援を継続した。また、一ノ宮地区の自治会では、コロナ禍で中止していた交流と地域活性化を目的としたチャリティ目的の事業を3年ぶりに実施した。地域福祉コーディネーターが企画段階から自治会の伴走支援を行い、地域のつながり作りについて支援した。

2. ボランティア、地域活動者の発掘・育成

(1) 【重点】 ボランティア、地域活動への住民参加の促進及び福祉人材の育成

長引くコロナ禍に伴い、令和4年度もボランティア受入れ先の多くが受入れ自粛となり、従来の夏のボランティア体験事業を中止せざるを得ない状況になるなど、ボランティア活動の参加促進を図ることが非常に難しい状況であった。

しかしながら、感染予防対策を講じ、コロナ禍に対応した創意工夫した取り組みを以下のとおり行った。

- 従来の夏のボランティア体験は中止としたが、「コロナ禍でもできる！夏のボランティア体験 2022」と題し、在宅でもできる活動やリモートによる活動の他、一部対面形式の活動もメニュー化し、延べ152名が参加した（昨年度88名）。
- 市内の大学でボランティア出張相談会を開催し、3名の学生をコーディネートし、ボランティア活動につなげることができた。
- 「多摩地域企業・大学等連絡会（ゆるたまネット）」会員の協力を得て、健康増進、フレイル予防、災害に備えた取り組みなどをテーマに無料学習会を開催し、活動者のフォローアップを行った
- 市内大学のバルーンアートサークルの学生を講師に迎え、バルーンアート入門講座を開催した（14名参加）。講座後、参加者同士が主体的に取り組めるようにフォローアップを行い、次年度の活動につなげることができた。
- 出張相談含めて、ボランティアポイント登録者説明会を定期的に行い、新規登録者を増やすことできた（新規36名）。が、コロナ禍で受け入れ先が減ってしまっていたため、受入れ先の拡充にも取り組み、新規に4施設の登録を得ることができた。活動希望者には、受入れ先を調整し、19件のマッチングを行うことができた。

3. 企業、学校、社会福祉法人等による地域貢献活動の促進

(1) 【重点】 多様な主体の参画の促進と連携・協力体制の構築

① 多摩市内社会福祉法人ネットワーク連絡会

- 多摩市内社会福祉法人ネットワーク連絡会の公益的な取組として、市内小中学校の総合的学習での「車いす体験」のマニュアルが完成しこれに基づき多摩ボラセンと協力して市内小学校にて総合的学習、車椅子についての体験学習を実施した。
- 「多摩地域企業・大学等連絡会（ゆるたまネット）」が主催して行った「食料等無料配布事業」への協力として、各法人内で集めた食料等の提供を行った。
- 大規模災害、感染症、難行動要支援者等への対応への参考となる「社会福祉法人のBCP策定」に関する学習会を実施した。

- ② 「多摩地域企業・大学等連絡会（ゆるたまネット）」の運営支援及び企業等との協働活動（地域貢献活動）の推進（食の支援を通じた取り組みの推進）
- ゆるたまネットに新たに9団体が参加し、37団体の構成となった。
 - ゆるたまネット内に実行委員会を設置し、生活に困窮している「大学生以下の子どもがいる世帯」「大学生」「留学生」を対象に、「食料等無料配布事業」を実施し、185世帯552人に配布することができた。
 - 「災害時の連携について」をテーマに学習会を実施した。令和5年度も継続して「災害時の連携」をテーマに学習していく場を設けることになった。
 - 新たに赤い羽根共同募金活動及び歳末たすけあい運動への協力を行った。
 - 運営ルールを見直し、ゆるたまネット内に幹事会を設置し、さらに主体的に取り組んでいく体制づくりを行った。
 - 市の協力を得て食料保管場所を確保することができた。
 - コープみらいと連携した取り組み（米の寄付や貝取店にフードドライブ常設）や国や都の助成金を活用してフードパントリー（食料配布）を事業化（毎月多摩ボラセンで食料を配布）した。
 - 設立したフードバンク団体と協働で食の支援を行う流れを構築した。
 - 食料配布世帯よりニーズのあった学習支援事業を検討し、令和5年度より事業化する予定（学習支援事業を行う団体と協働で実施予定）。

4. 権利擁護の推進

（1）【重点】権利擁護センターの推進

中核機関及び第一次相談窓口として、相談件数が延べ671件(昨年度661件)であった。

また、成年後見制度の利用につなげるため、関係機関への成年後見制度事業説明会を実施したほか、地域ケア会議・ケースカンファレンス等へ参加し、関係機関との連携を図り、利用促進に取り組んだ。

成年後見制度の周知については、関係機関向け事業説明会を1回、市民向け事業説明会を1回、相談会を1回実施した。後見人の活動支援については、親族後見人及び専門職の後見人懇談会を各1回開催した。生活支援員については、今年度新規登録が2名、令和5年3月末時点の登録者数は37名であった。

（2）【重点】市民後見人の育成

令和3年11月に多摩市社会福祉協議会が後見監督人として選任されたケースについて、後見監督人として昨年度に引き続き市民後見人からの相談に対応するほか、家庭裁判所への提出書類の作成や手続きの支援などを行った。

5. 多様なサービスの提供

(1) 【重点】生活支援の推進（(仮称) 高齢者安心サポート事業)

昨年度に引き続き職員プロジェクトを計7回開催し、同様な事業を行っている中野区社協、調布市社協へヒヤリングを行った上で、多摩市社協でのサービス内容や料金、対象者等について検討し、高齢者あんしんサポート事業実施要綱と預託金取扱要領を制定（施行日：令和5年4月1日）した。

また、ふくしだより3月号に、4月から事業開始の案内と、サービス内容等の概要について掲載して、市民に向けて事業の周知を行った。

(2) 【重点】生活支援の推進（ひきこもり家族支援）

ひきこもり家族会について、毎月発行のセンターだよりへ日程の掲載を行い、個人や関係機関からの問い合わせの窓口として支援を行った。

3月に、共催で「社会変化と生きづらさを抱える人たち」をテーマにひきこもりへの家族や社会との向き合い方を通して支援の在り方を考える講演会を実施し、家族や関係者など25人が参加した。

【見直し・拡充】

1. 災害ボランティアセンター運営体制の拡充

- 災害講座として5月に「災害ボランティア編」と6月に「災害ボラセン運営編」を実施した。それぞれ37名と35名が参加し、このうち新規に19名が災害ボランティアとして登録した。
- 職員、役員、評議員、多摩ボラセン運営委員、災害協定団体、災害ボランティア登録者、災害ボランティア講座参加者、ゆるたまネット会員など総勢70名の参加を得て、7月に災害ボラセン設置・運営訓練を実施した。
- 訓練を通じて、新たに作成した第2類感染症禍及び水害に対応した災害ボラセン設置・運営マニュアルの検証を行った。結果、いくつかの修正を行い完成することができた。
- 災害ボランティア登録者を対象にフォローアップ講座を実施し、災害ボラセンマッチングのロールプレイなどを通じて、参加者同士の学びと交流を図ることができた。
- 「認知症高齢者の理解」「視覚障がい者の理解」「聴覚障がい者の理解」「身体障がい者の理解」「外国人の理解」の5つのテーマを設けて、災害時要配慮者支援の講座を10月の福祉フェスタ内で実施し、延べ33名が参加し、講義と各種体験を通じて啓発を行った。

2. 広報媒体の強化

- HPにアクセスしやすくし、多くの年代にボランティア情報を届けるため、毎月メルマガ配信を行った。令和3年度から食料配布事業や子ども・誰でも食堂の

一覧図(ボランティア情報含む)を掲載したことで、HP 閲覧者数が多くなった。

→メルマガ登録者数 565 名

○YouTube を活用し、災害ボラセン動画、食の支援メッセージ動画などを HP 通じて配信し、PR した。

【動画再生回数】

- ・災害ボラって何? 381 回
- ・災害ボラに参加しよう 301 回
- ・災害ボラの流れ 629 回
- ・食の支援メッセージ 464 回

○さらに今後は、タマボラ君 LINE スタンプのある LINE による情報発信など、多くの年代に情報が届けられるようにしていく。

3. 障害理解、啓発の取り組み推進

コロナ禍によりひとときの和の通常開催は見送りとなったため、当事者団体との協力により、障がい理解のパンフレット・動画 DVD 作成に着手し、パンフレットが完成した。

4. 財政基盤の強化

コロナ禍において対面による会員賛助金の集金が難しくなったことから、新たにキャッシュレス決済「シンカブル(Syncable)」を導入した。シンカブルは会員賛助金の他に寄付金に活用できる仕組みとして、周知を図った。

5. フードドライブの事業の拡充及び子ども・若者支援の強化

○新たに foodium 多摩センター店とコープみらい貝取店で常設型のフードドライブ BOX を設置することができた。

○ゆるたまネットや社福法人ネットワーク連絡会の各団体の職場などでも主体的にフードドライブの取り組みが行われ、フードドライブの輪を広げることができた。

○子ども・若者応援基金の用途を以下の3つに明確化した。

- ・団体支援(助成金の交付)
- ・人材育成(子ども・若者をささえる活動者の育成等)
- ・個別支援(食の支援事業等)

○団体支援として、「子ども食堂等活動支援金交付要綱」の見直しを行い、新たに「子ども・若者応援助成金交付要綱」を制定した(6月理事会で承認)。

○子ども若者応援助成金の募集を行い、9団体に助成金を交付した。

○フードドライブ寄付件数等の詳細は以下のとおり。

- ・フードドライブ寄付件数等
- 個人：288 件、企業・団体：119 件
- 合計：約 9168 kg

- ・子ども若者応援助成金の交付件数等
交付団体 9 団体
交付額 340,000 円
- ・子ども・若者応援寄付額
2,045,767 円

6. 「第5次多摩市地域福祉活動計画」の策定

- 策定委員会を6回開催し、アンケート調査結果及び高齢化やコロナ禍で顕在化した地域課題などの社会状況の変化を踏まえながら議論を進め、地域住民目線の「住民参加型計画」として計画の策定を行った。
- 社協組織としての事業実施計画も活動計画と合わせて策定を行った。
- 策定にあたっては多摩市の「地域福祉計画」との連携に留意しながら進めた。

令和4年度 事業報告書

本編

《事業報告書本編の見方》

No. 1-1-1-1 重点	地域福祉推進		まちづくり推進	
内 容	10のコミュニティエリアごとに設置したの運営を、エリアごとに作成した地域福祉として、わいわいがやがやみんなが集い、楽しみ、住民同士のつながりやささえあいを創出しながら、課題解決に向けた取り組みを支援していきます。 また、この計画は本計画同様に3年ごとに見直しをしていくため、普段委員会に参加していない方など広く地域住民の方々の声を聞きながら、計画の見直しをすすめていきます。			
活動計画 (年次計画)	令和2年度 (2020年度)	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	
	●各地域福祉推進委員会活動計画に則して運営支援	●各地域福祉推進委員会活動計画の見直し	●各地域福祉推進委員会活動計画の見直し検討・作成(令和5年度～令和7年度の計画)	
令和4年度 事業計画 (実施目標)	感染症下において、新たな地域でのつながり方の一つとして、オンラインを活用した取り組みを推進し、多世代やより多くの市民や専門機関等が参加できるように支援していく。また、各地域福祉推進委員会活動計画の見直しに向けた検討を開始し、今後の委員会活動の方向性などについて意見交換していく。			
取組結果	●感染症対策として、オンラインに力を入れた。オンラインのサテライト会場を設けるなどの対策をし運営支援を行った。 ●エリアについては、地域福祉推進委員会でSNSを導入するなど、した情報発信に努めた			

第4次多摩市地域福祉活動計画後期計画の取り組み内容と一致

第4次多摩市地域福祉活動計画後期計画で記した、主な3年間の取り組み内容

第4次多摩市地域福祉活動計画後期計画の3年間の年次計画

今年度(令和4年度)の事業実施計画

今年度(令和4年度)の計画に対する取組結果

1 みんなが“つながり”“助けあえる”仕組みを広げます

1-1 地域住民主体の小地域福祉活動の促進

- コミュニティエリアごとに地域福祉コーディネーターを配置し、地域住民や関係機関からの相談対応や地域福祉推進委員会の運営支援を行うことで、人と人、人とサービスをつなぎ、制度の狭間にある生活課題や地域課題の解決に向けた取り組みを進めていきます。
- たすけあい有償活動の推進や自治会等福祉活動の支援を継続し、地域での支え合いの仕組みづくりに取り組みます。
- ふれあい・いきいきサロン活動の推進を継続しながら、サロンなどに限らず幅広く地域の方々の通いの場となる居場所づくりに取り組みます。

No. 1-1-1-1 重点	地域福祉推進委員会の運営支援		まちづくり推進担当
内 容	<p>10のコミュニティエリアごとに設置した「地域福祉推進委員会」の運営を、エリアごとに作成した地域福祉推進委員会活動計画に則して、わいわいがやがやみんなが集い、楽しみ、住民同士のつながりやささえあいを創出しながら、課題解決に向けた取り組みを支援していきます。</p> <p>また、この計画は本計画同様に3年ごとに見直しをしていくため、普段委員会に参加していない方など広く地域住民の方々の声を聞きながら、計画の見直しをすすめていきます。</p>		
活動計画 (年次計画)	令和2年度 (2020年度) ●各地域福祉推進委員会活動計画に則して運営支援	令和3年度 (2021年度) ●各地域福祉推進委員会活動計画の見直し検討	令和4年度 (2022年度) ●各地域福祉推進委員会活動計画の見直し検討・作成(令和5年度～令和7年度の計画)
令和4年度 事業計画 (実施目標)	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍での委員会開催について、オンラインの活用や会場の分割、サテライト会場の設置など、感染拡大防止に努めながら委員会活動が停滞しないよう運営支援を行う。 ・また、オンラインの環境整備など、多世代の多くの市民や専門機関等が参加しやすい仕組みづくりを支援していく。 ・第5次地域福祉活動計画の策定に合わせて、令和5年度からの各地域福祉推進委員会活動計画の策定に向けた検討(委員会で意見交換しながら現計画の見直し)を、学識経験者の指導・助言を仰ぎながら進めていく。 		

取組結果	<ul style="list-style-type: none"> ●今年度も、感染症対策として、オンライン開催できるよう引き続き運営支援に力を入れた。オンラインの活用ができない参加者には、サテライト会場を設けるなどの対策を講じつつ、地域の状況に応じてオンラインを併用した運営支援を行った。 ●エリアによっては、地域福祉推進委員会で SNS を導入するなど、若い世代等もターゲットにした情報発信に努めた。また、新たに若い世代の参加につなげたエリアもあった。 ●第 5 次地域福祉活動計画の策定に合わせて、各地域福祉推進委員会世話人会での意見交換を行いながら、学識経験者の助言、指導をいただき、令和 5 年度から令和 7 年度までの小地域福祉活動計画を 10 エリア毎に策定した。
------	---

重点 No. 1-1-2-1	住民ニーズの把握と課題・共有化		まちづくり推進 担当
内 容	<p>コーディネーターが、サロン訪問、近トレ訪問、たすけあい訪問、福祉なんでも相談等を通じて、常に個別ニーズ・課題、地域ニーズ・課題の把握に努めていくとともに、地域福祉推進委員会等で幅広く住民ニーズや課題を把握し、共有していきます。その中で出た意見や地域生活課題について、各地域福祉推進委員会で協議していきます。</p> <p>コミュニティエリアよりも小域での取り組みが必要な地域においては、住民懇談会等を開催し、小域で地域福祉推進委員会を設置するなど協議の場づくりに取り組みます。</p> <p>また、明らかになったニーズや課題に対しての取り組みを可視化・共有化していくために、年度ごとに地域福祉コーディネーター及び生活支援コーディネーター報告書を作成します。</p>		
活動計画 (年次計画)	令和 2 年度 (2020 年度)	令和 3 年度 (2021 年度)	令和 4 年度 (2022 年度)
		●住民懇談会等を開催	●住民懇談会等を開催
	●小域での地域生活課題解決の場づくりについて検討 ※コロナ禍で検討不十分。 次年度継続	●地域生活課題解決を図る協議の場の検討	●地域生活課題解決を図る協議の場の設置
令和 4 年度 事業計画 (実施目標)	<ul style="list-style-type: none"> ・サロンや地域福祉推進委員会等を対象に実施した、コロナ禍の地域課題についてのアンケート結果や第5次地域福祉活動計画策定にあたり実施したニーズ調査結果を、地域福祉推進委員会等で共有し、意見交換しながら各委員会の活動計画に反映させていく。 ・コーディネーターが積極的にサロンや自治会等へ出向き、情報交換等 		

	<p>を行いながら地域生活課題を把握し、地域内で共有化を図っていく。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域生活課題解決に向けた取り組みで、コミュニティエリアよりも小域で行うことが必要な地域においては、住民懇談会等を開催し、協議の場の設置に向けて検討していく。(東寺方地区等を想定) <p>*コロナにより具体的な検討は、令和4年度から実施予定。</p>
取組結果	<ul style="list-style-type: none"> ●想定していた地区では、コロナ禍で引き続き住民懇談会の開催や、地域課題解決のための協議の場等は開催できなかったが、他の地区において以下のとおり取り組んだ。 ●都営住宅の移転(諏訪地区・中沢地区)があった地区では、移転後の居場所づくりや、相談対応等の支援をするため、昨年度から継続して自治会役員等との会議の場に包括支援センターと一緒に参加し、連携して支援した。 <p>結果、中沢地区では、今年度、住民主体の新たな通いの場(ふれあい・いきいきサロン)の立ち上げにつながった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●諏訪地区でも地域の課題について、住民との座談会(ミニ懇談会)を数回開催し、住民主体の新たな通いの場の立ち上げにつなげた。今年度は自主的な活動を継続し、来年度からふれあい・いきいきサロンとして登録することとなった。 ●関戸・一ノ宮地区では防災(水害)が地域課題となっており、コロナ禍で開催出来なかった防災企画を3年ぶりに開催。水害防災ゲーム「EVA G」を用いた講座を開催し、避難のタイミングの判断や、住民同士の協力による避難等について、住民同士で学び、共有し、考える機会とした。

<p>重点 No. 1-1-3-1</p>	<p>自治会・住宅管理組合等小エリア(第3層)での地域福祉活動の展開支援</p>		<p>まちづくり推進担当</p>
<p>内 容</p>	<p>自治会・住宅管理組合等小エリアにおける、見守り・支えあい体制の組織づくりを支援していきます。また、「住民同士の支えあい手引き」を作成し、自治会・住宅管理組合等の福祉活動を応援する助成金制度の啓発も含めて、仕組みづくりの手法を可視化し、住民が安心して暮らせるまちづくりをコーディネートしていきます。</p>		
<p>活動計画 (年次計画)</p>	<p>令和2年度 (2020年度)</p>	<p>令和3年度 (2021年度)</p>	<p>令和4年度 (2022年度)</p>
	<ul style="list-style-type: none"> ●自治会・住宅管理組合等単位での見守り・支えあい体制の組織づくりを支援 	<p>→</p>	<p>→</p>
	<ul style="list-style-type: none"> ●自治会等助成金制度の啓発 	<ul style="list-style-type: none"> ●検証 	<ul style="list-style-type: none"> ●必要に応じて見直し

	●住民同士の支え合いの手引きの作成	●周知	→
令和4年度事業計画(実施目標)	<p>【継続支援】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・住民主体の支えあい活動（助成金・区分1助成団体）を実施している4つの団体（鶴牧地区、百草団地地区、聖ヶ丘地区、豊ヶ丘地区）を継続支援していく。 <p>【新規支援】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和2年度生活支援に関するニーズ調査を行った団地の住宅管理組合と連携し、支えあいの仕組みづくりに向けた支援を行っている。（諏訪地区） ＊コロナにより具体的な取り組みは令和4年度を予定 ・新たに助成金（区分1）を活用して、住民主体の支えあい活動に取り組む団体に対し、伴走支援していく。 <p>【啓発】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「ご近所支えあいハンドブック」を活用し、自治会・住宅管理組合単位での支えあいの仕組みづくりを啓発し、新たに支えあい活動に取り組む団体を支援していく。 <p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自治会よりも小さい単位での見守り活動等の支援強化に向けて、自治会・住宅管理組合ご近所ふくし応援助成金の適用範囲の検討を行う。（助成制度の見直し） 		
取組結果	<ul style="list-style-type: none"> ●新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、自治会・住宅管理組合の活動自体が昨年度に続き自粛傾向にあったが、区分1については昨年度に続き4つの団体を継続支援したほか、新規で1団体の支えあいの仕組みの立ち上げに対し伴走支援を行った。新規団体は、設立助成金も活用（落合地区） ●諏訪地区の集合住宅で住民懇談会を開催し、「住民の生活課題」に関するアンケート結果の共有を行った。その後、ゴミ出しサポートに関する座談会を行い、住民にゴミ出しについての聞き取り調査を行った。ニーズはあるも、自治会としての活動は難しい(負担感等)という結論に至ったため、今後はボランティアグループ（任意団体）としてのゴミ出しサポートの仕組みについて支援を継続していく。 ●こうしたボランティアグループによる活動については、自治会内の活動であったとしても、自治会としての活動でないため、自治会・住宅管理組合ご近所ふくし応援助成金の対象外になってしまう。また、隣同士の自治会内で連携し、任意団体を立ち上げて見守り活動に取り組む事例もあったが、助成金は対象外となる。このような課題などを抽出し、継続して助成金制度の見直しを検討していくこととした。 ●一ノ宮地区の自治会から要請を受け、社会福祉協議会理解の説明の時間を自治会全体会の中でいただき、社協について説明。それ 		

	<p>を契機に、ご近所ふくし応援助成金を活用し、当該自治会が3年ぶりに地域交流と地域活性化を目的としたチャリティ事業を実施。地域福祉コーディネーターが企画段階から自治会に伴走支援を行った。今後は、支えあい作りを視野に、一ノ宮地区でも住民の交流の機会増の支援を継続し、地域のつながり作りを推進していく。</p>
--	--

No. 1-1-4-1	たすけあい有償活動の推進		まちづくり推進担当
内 容	<p>福祉制度では対応できない、“日常生活のちょっと困った”を支えるお手伝い活動として、たすけあい有償活動を引き続き推進していきます。同時に、住民ニーズに応じて、たすけあい有償活動の見直しを検討していきます。また、今後利用ニーズが増大していくことが予想されるため、協力員の増員を図ります。特に協力員の少ないエリアにおいては、地区や自治会・住宅管理組合等小エリアごとに協力員説明会を開催するなど増員に努めていきます。</p>		
活動計画 (年次計画)	令和2年度 (2020年度)	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)
●見直し検討		→	●見直し
●協力員増員(年間新規10人以上)			→
令和4年度 事業計画 (実施目標)	<ul style="list-style-type: none"> ・運営状況やニーズに即して利用料金や活動時間設定などを見直す。 ・高齢化に伴い退会者が増え、協力員が少ない地域（和田・愛宕）ごとに、自治会・住宅管理組合・コミュニティセンター運営協議会などと連携して協力員の説明会を開催し、増員を図る。 ・高齢化で単身世帯や障がい者世帯が増加している中で、より多くの対象者に利用してもらえるよう、広報等を強化しサービスにつなげる。 		
取組結果	<ul style="list-style-type: none"> ●買い物支援等、1時間で活動が終了しないケースがあるため、30分単位で延長できるようにするなど、現状に合わせ見直し、要綱の改正を行った。今後も社会情勢を踏まえ、また持続可能な活動にするため、利用料金など含めて、必要に応じて見直し検討していく。 ●協力員説明会は、貝取、鶴牧地区で開催した。その他、たすけあい有償活動の案内と協力員募集のチラシを作成し、協力員の少ない地域に個別ポスティングや関係機関に配布するなど広報に力を入れた。結果、新規に協力員20人が登録し、目標の2倍の協力員を確保でき、また関係機関から利用者の紹介もあり、サービスの充実につなげることができた。 		

No. 1-1-5-1	ふれあい・いきいきサロン等の立ち上げ・運営支援と活動支援		まちづくり推進担当
内 容	<p>「通いの場づくりハンドブック」を活用し、高齢者や子育て中の親子など地域の誰もが楽しく気軽に立ち寄れる仲間づくりの場として、「ふれあい・いきいきサロン」等通いの場（*）の立ち上げ・運営支援を行います。</p> <p>サロンの開催回数に応じて運営継続支援を行っています。</p> <p>（*）通いの場についての説明はNO. 1-1-6-1 参照</p>		
活動計画（年次計画）	令和2年度 (2020年度)	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)
	●100か所以上 活動支援		→
	●居場所づくりの手引きの検討・作成	●周知	→
令和4年度 事業計画 (実施目標)	<ul style="list-style-type: none"> ・サロン同士が、つながり、意見情報交換できる場を設定し、高齢化している団体や、コロナ禍で休止している団体活動支援を継続する（サロン交流会の開催等）。 ・オンラインを活用したサロン活動など、コロナ禍における創意工夫した活動について、他市の実施状況を情報収集し、サロン活動が停滞しないようアドバイスしながら活動支援する。 ・「通いの場づくりハンドブック」を活用し、通いの場が少ない地域で説明会を開催し、サロンなどの立ち上げや運営を支援していく。 ・通いの場マップや支えあいリストを活用し、サロンへ地域住民の参加を促進し、地域内のつながりづくりを推進していく。 		
取組結果	<ul style="list-style-type: none"> ●コロナ禍でサロンの重要性が住民の間で再認識されたこともあり、登録数は106団体（過去最高）となった。長期化する感染症下でサロン活動を休止や解散する団体（計4団体）があったが、一方で、新たなサロンが9団体立ち上がった。 ●昨年度、コロナ禍でも安全に出来るオンラインでの交流会を実施したが、オンラインでの参加が少なかったため、今年度は対面式の交流会のみを実施した。過密状態を防ぐため、2回に分けて開催し、コロナ禍前の状況まで参加者が増加した。コロナ禍の各サロンの対応等の情報交換の時間を多くとった。また、2回開催のうち、1回を初めて関戸地区で開催したことで、これまで参加が少なかった第1・2エリアのサロンが多数参加した。アンケートからもサロン同士のつながり作りや情報交換の効果から、交流会への期待の高さが確認された。 ●これまでサロンがなかった乞田地区、愛宕4丁目等の地域に、新たにサロンが立ち上がった。どちらも、地域福祉コーディネーターが立ち上げ支援を実施した。 ●愛宕1丁目から中沢地区への都営住宅の移転に際し、移転先で住民向けの説明会を実施し、居場所づくり等を支援。令和4年度にサロンが立ち上がり、継続的に居場所づくりを支援した。 		

	<ul style="list-style-type: none"> ● 諏訪地区では都営住宅の移転により、移転先で住民向けの説明会を実施。今年度は出前サロンを定期的に行い、住民による居場所活動が開始され、令和5年度からサロンとして活動が開始されることとなった。 ● 地域の居場所が少ない唐木田地区では、自治会館を活用し、出前サロンを月1回開催して、住民主体の運営に向けて支援した(継続)。
--	---

No. 1-1-6-1	生活支援体制整備事業の推進		まちづくり推進担当
内 容	<p>地域福祉コーディネーターが生活支援コーディネーターを兼務し、コミュニティエリア（第2層）での、高齢者の生活支援、介護予防、社会参加を一体的に推進します。</p> <p>今後、ますます高齢化が進んでいくため、地域住民が助け合っ、さまざまな機関と連携しながら日常生活を支えていけるようコーディネートしていきます。特に、高齢者自身が支えられるだけでなく、支え手になることでその人の生きがいや介護予防につなげていくため、この支え合い活動の一つである「通いの場（*）づくり」や「通いの場への参加」など通いの場を通じて、地域のつながりの輪を広げ、安心して暮らせる支え合いの地域にしていくことをコーディネートしていきます。</p> <p>また多摩市及び第1層とも連携し、新たな事業を検討し、実施していきます。</p> <p>（*）通いの場とは、地域の人々が集う、身近な交流の場のことをいう。例えば「ふれあい・いきいきサロン」「近所 de 元気アップトレーニング（近トレ）」「認知症カフェ」「子ども・だれでも食堂」「コミュニティカフェ」など。</p> <p>周囲の人との人間関係が希薄化しつつある中、通いの場は、参加者が楽しみながら地域の人間関係を再構築し、つながりをつくるきっかけとなる有効な活動です。</p>		
活動計画 (年次計画)	令和2年度 (2020年度)	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)
	<ul style="list-style-type: none"> ● 日常生活圏域の社会資源リストの更新 ● 近トレの他新たな通いの場づくり・参加促進 ● ニーズに応じた新規事業の検討・実施 	<ul style="list-style-type: none"> ● 社会資源リストの配布・活用 	<p style="text-align: center;">→</p> <p style="text-align: center;">更新・配布</p> <p style="text-align: center;">→</p> <p style="text-align: center;">→</p> <p style="text-align: center;">認知機能低下寄り添う 通いの場の検討・実施</p>

<p>令和4年度 事業計画 (実施目標)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・日常生活圏域ごとに発行している社会資源リスト(「地域活動・支えあいリスト」)を更新し、配布する。 ・高齢者の介護予防や社会参加を促進するべく、「近所 de 元気アップトレーニング」等の普及啓発を継続して行う。また、感染症下で活動休止している団体では、参加者のフレイルが進んでいる状況があるため、相談・訪問等を実施しながら再開に向けた支援を継続して行っていく。 ・豊ヶ丘健幸つながるひろば「とよよん」が、男性の活躍の場など、新たな通いの場となるよう、とよよん運営住民サポーターや運営主体の楽友会、多摩ボラセンと連携し、様々なプログラム展開を図り、地域での支えあい活動を推進していく。
<p>取組結果</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●「地域活動・支えあいリスト」を、民生委員の友愛訪問で配布してもらったことにより、高齢者より「通いの場に参加したい」との問い合わせが多数あった。閉じこもりがちな高齢者(通いの場へつながっていない)を活動参加につなげることができた。公共施設に配架したことで、多くの市民が手に取り、追加印刷で対応した地域もあった(中部地域包括エリア、多摩センター地域包括エリア) ●「地域活動・支えあいリスト」に移動販売の地域情報を追加し、スーパーが少ない地域などに対し、情報提供を行った。 ●ニーズに応じた事業の検討として、「認知機能低下に寄り添う通いの場創出」について、高齢支援課、包括支援センター、リハ職と連携しモデル事業の取組みを開始した。認知症に対する理解が深められる活動内容を再考した。 ●近トレの新規立ち上げ 感染症拡大の影響を受け、解散する団体もあったが、通いの場が少ない地域で中規模プレゼン(説明会)を行い、新規に5団体が立ち上がった。市内近トレ登録団体数:40団体(R5.3月末現在)。 ●新たな通いの場づくり 「豊ヶ丘健幸つながるひろば」では、高齢者の男性サポーターや参加者を増やすため、ボランティアセンターと連携し、テーマ型の講座「男匠塾」を開催し、男性の参加が継続されている。

No. 1-1-7-1	活動拠点の確保	まちづくり推進 担当
<p>内 容</p>	<p>【住民活動の拠点】 身近な地域において社会福祉分野の専門職等と地域住民が協働し、見守りや居場所づくり、食を通じた取り組みや学習支援、生活相談などが展開できる多種多様な福祉コミュニティ(「出会いの場」「協働の場」「協議の場」)が地域に重層的につくられるようコーディネートしていきます。 また、東永山複合施設を活動拠点としている、永山地区及び馬引沢・諏訪地区の地域福祉推進委員会活動の拠点確保に向けた調整も引き続きすすめていきます。</p> <p>【地域福祉コーディネーターの拠点】</p>	

	<p>コーディネーターが、住民に寄り添った支援（コーディネート）をし、コーディネーターが常駐する場の確保など、地域に根ざした活動支援を行い、地域の生活課題の早期発見と早期対応を行う体制づくりに向けて、取り組みます。また、そのために地域福祉コーディネーターの業務内容についても精査していきます。</p>		
	<p>令和2年度 (2020年度)</p>	<p>令和3年度 (2021年度)</p>	<p>令和4年度 (2022年度)</p>
<p>活動計画 (年次計画)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 健幸つながる広場（豊ヶ丘）の運営支援 ● 諏訪支部社協のあり方の検討 ● 永山、馬引沢・諏訪地区の地域福祉推進委員会活動の拠点検討 ● 地域福祉コーディネーター業務内容の精査 <p>※コロナ禍で精査不十分。 次年度継続</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 5月の総会で解散 ● 新たな拠点で活動継続 	<ul style="list-style-type: none"> ● 地域福祉コーディネーター拠点確保に向けた検討・調整
<p>令和4年度 事業計画 (実施目標)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「健幸つながるひろば・とよよん（豊ヶ丘地区）」については、地域の大学や企業、ボランティア団体等と地域住民をつなぎ、住民主体の運営に向けての仕組みの構築を目指し、多世代が交流できる場＝地域福祉プラットフォーム(*)となるように支援する。特に高齢男性の活躍の場を多摩ボラセンと連携して創出する。 ・永山、馬引沢・諏訪地区の地域福祉推進委員会は、諏訪地区市民ホールをはじめとした公共施設や地域の学校等を活用し、開催していく。 ・重層的支援体制整備事業の動向を見ながら、引き続き、地域福祉コーディネーターの拠点確保に向けて、業務内容の精査を行う。 <p>(*) 地域福祉プラットフォームとは、だれもが気軽に立ち寄り、多世代が交流できる居場所。地域住民の困りごと相談にも対応できる場。</p>		
<p>取組結果</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 「豊ヶ丘つながるひろば」については、住民主体の運営を支援し、毎月サポーターミーティングを開催した。住民サポーターは17名(R5.3現在)登録があり、昨年度から取り組んでいるノルディックウォーキングや、ボランティアセンターと連携した活動の場、多摩大学と連携した「メルカリ講座」、恵泉女学園と連携したコミュニティガーデンでは、男性高齢者も参加しやすく、リピーターも獲得している。囲碁・将棋のプログラムでは男性高齢者と小学生との交流の機会になっている。 ● 永山地区と、馬引沢・諏訪地域福祉推進委員会では、東永山複合施設が使用できなくなったため、諏訪福祉館や地域の小学校を活用して活動展開をした。 ● 愛宕地区では、令和4年度から商店街内に新たに設置された貸室である「コミュニティサロン悠々」を積極的に活用。アーケードカフェの毎月開催の実現の他、アーケードカフェ参加者からのニーズを受け、高齢 		

者スマホ講座を新たに実施する等、新たな拠点機能を持つスペースを活用することで、新しい参加者の獲得や、アーケードカフェで講師が出来る住民の発掘等、人材の掘り起こしが出来た。

- 地域福祉コーディネーターの拠点に関しては、地域内に活動拠点を持ち、住民にとってより身近な場所にコーディネーターが出向き、相談会や講座の開催や、多世代交流の場として活用することにより、アウトリーチの強化に努める方向で検討。
- アウトリーチするためには、地域福祉コーディネーター業務について精査(たすけあい有償活動・住民主体による訪問型サービスのあり方等)する必要があるため、継続して検討していく。

2 みんなで“学びあい”“地域を支える心”を育みます！

2-1 福祉を身近に感じる機会の提供

○市民が誰でも参加できる福祉に関わる行事を開催し、福祉活動の意義や重要性の周知や意識の啓発を図ります。

No. 2-1-1-1	福祉に対する意識の醸成のための事業の実施 (福祉大会・福祉フェスタ)			総務係
内 容	幅広い年代の市民の方々へ体験型や啓発事業として各種福祉イベントを開催し、福祉を身近に感じていただくことのできる機会を設けます。また、パラリンピックの開催など福祉への関心が深まる機に準じ、障害への理解やボランティア・地域活動への意識を高めるための事業を計画していきます。			
活動計画 (年次計画)	令和2年度 (2020年度)	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	
	●福祉大会の開催 ※コロナ禍で事業中止。 オンラインで会長祝辞挨拶を公開。	●(継続)	●(継続)	
	●福祉フェスタの開催 ※コロナ禍で事業中止。	●(継続) ※コロナ禍で事業中止。 代替として参加予定団体のPRを実施。	●(継続)	
令和4年度 事業計画 (実施目標)	・福祉をより身近に感じてもらえるよう、啓発事業として福祉大会および福祉フェスタを開催する。感染症流行下においては、人が集まり密にならない状態で各種予防対策を取って開催する。また、実施計画の段階より対面とならないよう広報紙やオンラインを使用した福祉啓発・PRの取組も並行して進める。			
取組結果	●コロナ禍での感染拡大防止の観点から、福祉フェスタの開催は、当日の感染拡大予防対策等を定め、参加団体へ協力を依頼したほか、来場者の検温実施・手指消毒の徹底などの対策を講じた。また、模擬店の出店は行わないものとし、館内飲食禁止で実施し、一般来場者参加スタッフ合わせて1,200人の参加があった。福祉大会の開催は、受賞者・来賓者のみの参加で4年ぶりの会場で開催し、41名の参加があった。			

No. 2-1-1-2	福祉に対する意識の醸成のための事業の実施 (地域出前事業の開催)		多摩ボラセン
内 容	<p>学校やボランティア・市民活動団体、関係機関等との連携を図りながら、学校での「総合的学習」や企業での「研修会」などの「地域出前事業」を実施するとともに、「学生向けボランティアハンドブック」や「シニア向けボランティア・地域活動ハンドブック」、「要配慮者からのメッセージ」などを活用した「学習会」の開催に取り組みます。</p> <p>また、「ボランティア・地域活動見本市」の内容を精査し、新たな事業展開や開催時期など含めてボランティア活動を普及・啓発する機会の見直しを図ります。</p>		
活動計画 (年次計画)	<p>令和2年度 (2020年度)</p> <p>●福祉教育、市民学習機会の提供 「地域出前事業の開催」 (年15回以上開催)</p> <p>●「普及・啓発事業」の見直し検討・実施 (年1回開催) ※コロナ禍で事業中止。</p>	<p>令和3年度 (2021年度)</p> <p>(年15回以上開催)</p> <p>●「普及・啓発事業」の見直し検討・実施 (年1回開催) ※コロナ禍で事業中止。</p>	<p>令和4年度 (2022年度)</p> <p>(年15回以上開催)</p> <p>●「普及・啓発事業」の見直し検討・実施 (年1回開催)</p>
令和4年度 事業計画 (実施目標)	<p>学校や企業などにて、各種ハンドブックも活用しながら、地域出前事業を年15回以上実施する。</p> <p>・ボランティア・地域活動見本市を福祉フェスタ内で開催し、感染症下においては、予防のための各種対策を取って開催するほか、体験型の催しから配信（オンライン）などを活用した新しい形式への変更も検討し対応していくことで、活動者の発掘を図る。</p>		
取組結果	<p>●市内小学校5校の総合的学習の時間に、点字体験、視覚障がい者ガイドヘルプ体験、車いす操作体験を実施した。障がい者福祉施設、ボランティア登録団体、障がい当事者等の協力を得て実施した。また、市内中学校1校でボランティア活動について、大学1校で災害ボランティア活動についてをテーマに地域出前講座を実施した。</p> <p>●10月16日に開催の福祉フェスタ内でボランティアパーク（秋のボランティア体験）を実施した。ボランティア団体（8団体）が体験ブースを出展し、来場された園児から80代まで幅広い年代の方々延べ234名が活動体験を行った。</p>		

No. 2-1-2-1	障がい者理解の促進		センター係 (障がい担当)
内 容	「障がい者と共にひとときの和」開催校のニーズに応じたプログラムを実施するとともに障がい者理解を深める内容の充実を図ります。また、福祉イベント等でハンディキャップ体験を実施、地域や関係機関と連携した講座を開催することで障がい者理解を促進します。		
活動計画 (年次計画)	令和2年度 (2020年度)	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)
	●「障がい者と共にひとときの和」今後の開催に向けて課題等、整理し実施 ※コロナ禍で事業中止。次年度に順延。	●「障がい者と共にひとときの和」今後の開催に向けて課題等、整理し実施	●新たな取り組みについて検討・実施 ※コロナ禍で事業中止。次年度に順延。
	●障がい者スポーツを通じた理解の推進 ※コロナ禍で事業中止。	●障がい者スポーツを通じた理解の推進 ※コロナ禍で事業中止。	●実施
	●防災訓練や福祉イベント、学校等でのハンディキャップ体験の実施・協力 ※コロナ禍で事業中止。	●防災訓練や福祉イベント、学校等でのハンディキャップ体験の実施・協力 ※コロナ禍で事業中止。	●実施 ※コロナ禍で事業中止。
●関係機関と連携した地域での学習会やミニ理解講座等の開催 ※コロナ禍で事業中止。	●関係機関と連携した地域での学習会やミニ理解講座等の開催	●開催	
令和4年度 事業計画 (実施目標)	<p>・「障がい者と共にひとときの和」については、感染症予防のため人が集う従来の方法以外での実施について、開催校のニーズを確認し引き続き開催方法を検討する。</p> <p>・ハンディキャップ体験や障がい者スポーツを通じた理解の推進は、福祉団体と連携を図り、福祉センターを会場に、密にならずに開催できる方法について検討・実施する。</p>		
取組結果	<p>●コロナ禍によりひとときの和の通常開催は今年度も見送りとなったが、10月に実行委員会を開催し、今後の方向性や市の地域自立支援協議会作成の障害理解用のハンドブック、動画の活用について意見交換を行った。昨年度より当事者団体の協力による障がい理解の動画DVDが3月末に完成した。</p> <p>●コロナ禍により、障がい者スポーツ体験に替え、映画監督による講演と映画上映会「不安の正体～精神障害者グループホームと地域」を障害者週間事業として12月に実施し、35名の参加を得た。精神障がい者のグループホームの状況や地域住民との関わり・住民感情を通して、当事者の実像を知ってもらい、地域への理解促進を図ることができた。</p>		

2-2 ボランティア・地域活動者の発掘・育成

○ボランティア活動や有償活動等、地域の福祉活動や健康づくり活動に積極的に関わっていく人材を育成します。また、単体組織・団体では解決できない課題等に対応していくため、ボランティア団体、NPO・市民活動団体との連携及び支援を強化していきます。

No. 2-2-1-1	ボランティア、地域活動への住民参加の促進及び福祉人材の育成（社協活動協力員）			総務係
内 容	社協理事・評議員経験者をはじめ、地域で福祉活動を実践しているなど福祉に理解のある幅広い方々に呼びかけをして、活動協力員を増やしていきます。			
活動計画 (年次計画)	令和2年度 (2020年度)	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	
	●社協活動協力員の 拡充		→ (新規登録者2名)	
令和4年度 事業計画 (実施目標)	役員や支援員等の退任、退職者に協力員への登録を呼びかけ、協力員数を増やし、各イベントや募金活動等に参加していただく。 また、協力員と意見交換をしながら、協力活動の内容を拡充していく。(感染症下の場合は予防を配慮した内容の活動)			
取組結果	●福祉バザー等でのイベント、街頭募金での協力が得られた。高齢を理由に協力員を辞退(退任)した方もいるが、新規の協力員として3名の登録があった。(R5.3月末協力員数33名)			

重点 No. 2-2-1-2	ボランティア、地域活動への住民参加の促進及び福祉人材の育成（多世代のボランティア・市民活動者）			多摩ボラセン
内 容	<p>子どもからシニアまでを対象に幅広く各年代がボランティア活動等に関心を持ち、気軽に参加できるよう様々なプログラムを実施します。</p> <p>特に、学生がボランティア活動に関心を持ってもらうように、大学等に出向いてボランティア体験の受付や相談窓口の機会を設け、適切な情報提供などをしながら、社会ニーズと学生ニーズのマッチングを行っていきます。同時に、継続的な活動につなげていくためにボランティアサークルの立ち上げ支援や学生個人ボランティアのネットワークづくりなど、学生に寄り添った活動支援を行っていきます。</p> <p>また、元気な高齢者がボランティア・地域活動に参加しやすい環境を整えるために、「多摩市介護予防ボランティアポイント事業」(市受託事業)を実施しながら、活動者の裾野を広げていきます。地域</p>			

	で定期的に相談窓口を設置するなど、高齢者に寄り添った活動支援を行っていきます。		
	令和2年度 (2020年度)	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)
活動計画 (年次計画)	●夏のボランティア体験の拡充 (体験メニュー 100メニュー以上) (参加者 400人以上) ※コロナ禍で事業中止。次年度に順延。	(体験メニュー 100メニュー以上) (参加者 400人以上) ※コロナ禍で事業中止。次年度に順延(夏のリモートボランティア体験として開催)。	(体験メニュー 100メニュー以上) (参加者 400人以上)
	●市内大学(5校)でのボランティア出張相談窓口等の検討・設置(大学1校) ※コロナ禍で調整延期。次年度に順延。	●出張相談窓口等の設置 (大学1校)	●出張相談窓口等の設置 (大学1校以上)
	●市民活動講座の開催(フォローアップ講座を含む) (年2講座以上)	(年2講座以上)	(年2講座以上)
	●多摩市ボランティアポイント事業の拡充		
令和4年度 事業計画 (実施目標)	<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア活動を気軽に体験できる機会として、夏のボランティア体験を実施する。状況により、オンライン講座や在宅でできる体験メニューなど、感染症下に対応したメニューを拡充し、実施する。 ・学生のボランティア参加を増やしていくため、大学でのボランティア出張相談窓口等の設置に取り組む。 ・SNSを通じた活動(広報、動画編集、オンライン活動等)、学習支援や食の支援等子どもを支援する活動など、その時々ニーズに即したボランティア育成講座を開催し、ボランティア活動者の裾野を広げていく。 また、必要に応じて団体の立ち上げや組織化、活動者のフォローアップを行う。 ・多摩市介護予防ボランティアポイント登録者説明会および出張相談を毎月実施する。 		
取組結果	<ul style="list-style-type: none"> ●従来の夏のボランティア体験は中止としたが、「コロナ禍でもできる！夏のボランティア体験 2022」と題し、在宅でもできる活動やリモートによる活動の他、一部対面形式の活動もメニュー化し、延べ 152 名が参加した(昨年度 88 名)。 ●市内の大学でボランティア出張相談会を開催し、3名の学生をコーディネートし、ボランティア活動につなげることができた。 ●ゆるたまネット会員の協力を得て、健康増進、フレイル予防、災害に備えた取り組みなどをテーマに無料学習会を開催し、活動者のフォロー 		

	<p>アップを行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●市内大学のバルーンアートサークルの学生を講師に迎え、バルーンアート入門講座を開催した(12名参加)。講座後、参加者同士が主体的に取り組めるようにフォローアップを行い、次年度の活動につなげることができた。 ●出張相談含めて、ボランティアポイント登録者説明会を定期的を開催し、新規登録者を増やすことができた(新規31名)。が、コロナ禍で受け入れ先が減ってしまっていたため、受入れ先の拡充にも取り組み、新規に4施設の登録を得ることができた。活動希望者には、受入れ先を調整し、19件のマッチングを行うことができた。
--	---

No. 2-2-1-3	ボランティア、地域活動への住民参加の促進及び福祉人材の育成（老人福祉センター）		センター係（高齢担当）
内 容	老人福祉センター利用者や同好会へのボランティア活動等の紹介、地域への広報活動を行い、よりボランティアニーズに応じた具体的な活動に結びつくようコーディネート支援します。		
活動計画（年次計画）	令和2年度（2020年度）	令和3年度（2021年度）	令和4年度（2022年度）
	●活動紹介、コーディネートの機会の拡充	事業の移管に伴い事業受託終了	
令和3年度事業計画（実施目標）	/		

No. 2-2-1-4	ボランティア、地域活動への住民参加の促進及び福祉人材の育成（同行援護従事者）		センター係（障がい担当）
内 容	視覚障がい者の移動や情報支援のための同行援護従事者の増員につながるように、当事者団体や多摩ボラセン、養成校等と連携し取り組みます。		
活動計画（年次計画）	令和2年度（2020年度）	令和3年度（2021年度）	令和4年度（2022年度）
	●より安定した派遣を行うため、同行援護従事者の増員を図る。 (新規登録者3名)	(新規登録者4名)	(新規登録者4名)
令和4年度事業計画（実施目標）	福祉の活動や仕事に関心を持ってもらえるよう、視覚障がい者への支援についてなど周知方法の工夫を行い、ふくしだよりへの掲載を行う。 ・利用者の高齢化などに対応できるよう、登録従事者への研修会を継続		

	的に実施する。
取組結果	<ul style="list-style-type: none"> ● 従事者養成校及への募集チラシ配布により、新規に4名の方が従事者登録を行い、登録者数計35人となった。 ● コロナ禍により中止となっていた従事者研修会について、外部講師を招き3月に実施した。最新の同行援護情報・虐待にならないための誘導方法や、狭い場所・バスの乗降・階段の誘導方法などの演習により従事者のスキルアップを図った。

No. 2-2-2-1	個別ニーズに応じたボランティア活動支援(コーディネート)の推進		多摩ボラセン
内 容	<p>個人に対するボランティア活動支援を求められるニーズが少しずつ増えてきています。そのような個別ニーズに対応するため、たすけあい有償活動の仕組みを活かした、「新たな支え合い活動の仕組みづくり(ちょいボラ等)」の検討やボランティアの養成方法、ボランティアをサポートする体制づくりを検討し、双方に寄り添ったコーディネートに取り組んでいきます。</p> <p>特に、自治会のない地域や高齢化率の高い地域では、自治会単位での助け合い活動が難しく、地域での顔の見える関係が希薄化し、とじこもりがちになり孤立しているケースもあるため、まちづくり推進担当の地域福祉コーディネーターが取り組む居場所づくりと連携し、個別ニーズに応じたボランティア活動支援に取り組んでいきます。</p>		
活動計画 (年次計画)	令和2年度 (2020年度)	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)
	<ul style="list-style-type: none"> ● 住民ニーズ調査の検討・実施 ● 新たな支え合い活動の仕組みづくりの検討 <p>※コロナ禍で調整延期。次年度に順延。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 住民ニーズ調査の検討・実施 ● 新たな支え合い活動の仕組みづくりの検討 	<ul style="list-style-type: none"> ● ボランティアの養成方法やボランティアをサポートする仕組みづくりの検討・構築 ● 新たな支え合い活動の仕組みを構築
令和4年度 事業計画 (実施目標)	<p>・地域で多様化、複雑化する個別ニーズに対して、新たな住民相互の支え合い活動の仕組みづくり(ちょいボラ等)について、まちづくり推進担当と連携しながら検討と構築に取り組み、地域住民活動の組織化をコーディネートする。(とよよんを拠点に豊ヶ丘地区で実施)</p>		
取組結果	<ul style="list-style-type: none"> ● とよよんを拠点に、豊ヶ丘 5-3 の移動販売でニーズのあった買い物支援を行うボランティア(※)を育成し、活動の定着(3名が活動)を図ることができた。 ● 第1層生活支援コーディネーターと協働で高齢男性向けの「地域活動説明会(12名参加)」を行い、男性が地域活動に参加するきっかけをつくることできた。 		

	<p>(※)【買い物支援ボランティア活動】 移動販売所で買いたいものがあったとしても重くて持ち帰ることができず、買い物をあきらめている主に高齢の方を対象に、購入品を自宅まで一緒に持ち帰りを行う活動。</p>
--	--

No. 2-2-3-1	ボランティア団体、NPO・市民活動団体支援の拡充		多摩ボラセン
内 容	<p>東永山複合施設の閉鎖に伴い、多摩ボラセン永山分室が使用できなくなるため、多摩ボラセン打ち合わせコーナーの拡張や総合福祉センター等をボランティア団体が使用できるように調整します。</p> <p>また、多摩ボラセン登録団体の支援内容を運営委員会にはかり、登録団体基準等の見直しを検討します。</p>		
活動計画 (年次計画)	令和2年度 (2020年度)	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)
	<ul style="list-style-type: none"> ● ボランティア活動団体の活動拠点の整備 ※コロナ禍で調整延期。次年度に順延。 ● ボランティア登録団体基準等の見直し・検討要綱等の改正 	<ul style="list-style-type: none"> ● ボランティア活動団体の活動拠点の整備と円滑な移転 ● 新たな「団体登録制度実施要綱」及び「実施要綱細則」に基づいた「団体区分」に沿った支援を開始 	<ul style="list-style-type: none"> ● 新たな拠点(多摩ボラセン本センター内を整備)での支援を開始 ● 精査
令和4年度 事業計画 (実施目標)	<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア活動団体の活動拠点となるよう、多摩ボラセン本センター内を整備し、各団体が円滑に活動再開できるように支援する。 ・また、各団体の声などを聞きながら、支援内容を精査する。 		
取組結果	<ul style="list-style-type: none"> ● 4月に多摩ボラセン本センター(ヴィータ)をリニューアルし、ボランティア団体の活動拠点として整備し、団体の活動支援を行った。 ● 多摩ボラセン運営委員会及び登録団体代表者会議を開催し、多摩ボラセン団体登録制度実施要綱等の説明を行った。問題点の指摘はなかったため、同内容で継続して団体支援を行っていくことにした。 ● 多摩ボラセン登録団体等連絡会の会則を見直し、令和5年度より登録団体の代表者が定期的集い、意見・情報交換できる場を設置した。今後、団体ニーズを適時確認しながら、支援を行っていく。 		

2-3 企業・学校・社会福祉法人等による地域貢献活動の促進

○市内の企業、学校、社会福祉法人等による地域貢献活動に対する支援やコーディネートを行うとともに、民間団体の福祉的活動への支援を推進します。

<p>重点 No. 2-3-1-1</p>	<p>多様な主体の参画の促進と連携・協力体制の構築 (多摩市内社会福祉法人ネットワーク連絡会)</p>			<p>総務係</p>
<p>内 容</p>	<p>市内社会福祉法人や地域団体・福祉活動団体、企業等と連携しながら、生活困窮・閉じこもり・災害時の支援のような新たな地域ニーズ・生活課題に対しての公益的取組を検討し実施していきます。</p>			
<p>活動計画 (年次計画)</p>	<p>令和2年度 (2020年度)</p> <ul style="list-style-type: none"> ●法人連携による生活支援・地域活動支援の取組の継続 ●新たな連携事業の実施 <p>※コロナ禍で次年度に順延。</p>	<p>令和3年度 (2021年度)</p> <p style="text-align: center;">→</p> <ul style="list-style-type: none"> ●新たな連携事業の実施 	<p>令和4年度 (2022年度)</p> <ul style="list-style-type: none"> ●事業の継続、見直し ●地域ニーズに関する情報収集 ●連携事業の実施 	
<p>令和4年度 事業計画 (実施目標)</p>	<p>小中学校における総合的学習の場へ、車椅子体験・高齢者疑似体験・障がい理解講義等のプログラムを提供できるように、テーマごとに連絡会内で作業部会を設置する。若い世代への福祉啓発を行うにあたって、多摩ボラセンと連携し内容についての精査・検討を進める。 また、コロナ禍における地域ニーズについて情報収集を継続し、フードドライブ事業による支援の実施や、地域活動者への法人の専門性の提供手段(リモートでの出前事業や相談受付)を構築していく。</p>			
<p>取組結果</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●連絡会内各法人によるフードドライブ実施に向けた食品寄付受付を継続して行い、「多摩地域企業・大学等ネットワーク連絡会」の実施する食料提供事業へ協力すると共に、生活困窮者・食支援団体へ継続して食料の提供を行った。 ●若い世代への福祉意識醸成を目的とし、小中学校で行われている総合的学習への協力を行うため、連絡会内に作業部会を設置。作成した車椅子体験マニュアルに基づき、ボランティア担当と連携し実際の小学校での総合的学習を作業部会が実施。マニュアル内容を精査し、同手順で高齢者体験のマニュアル作成が可能かどうか、引き続き作業部会で検討していく。 			

<p style="text-align: center;">重点</p> <p>No. 2-3-1-2</p>	<p>多様な主体の参画の促進と連携・協力体制の構築 （「(仮称)多摩地域企業・大学ネットワーク連絡 会」の設置)</p>		<p>多摩ボラセン</p>
<p style="text-align: center;">内 容</p>	<p>市内社会福祉法人や福祉活動団体、企業等の地域福祉活動への参画を促進し、連携・協働しながら、多様な福祉ニーズや生活課題などを解決できるように「多摩地域企業等情報交換の集い」を開催するとともに、ゆるやかなネットワーク化を図りながら、「(仮称)多摩地域企業・大学等ネットワーク連絡会」の組織化に取り組みます。</p> <p>連絡会設置後は、企業等情報交換の集いと題して行ってきた学習会等や「たまボランティアギフト」の仕組みなどの見直しは、連絡会の中で協議し、それぞれの企業等が「ヒト・モノ・コト・カネ」含めて、協働した取り組みを行っていただけるように活動を支援（コーディネート）していきます。</p>		
<p style="text-align: center;">活動計画 (年次計画)</p>	<p style="text-align: center;">令和2年度 (2020年度)</p> <ul style="list-style-type: none"> ●「多摩地域企業等情報交換の集い」の開催 ●「(仮称)多摩地域企業・大学等ネットワーク連絡会」の設置・運営支援 <p>(参加企業等 20社以上)</p>	<p style="text-align: center;">令和3年度 (2021年度)</p> <ul style="list-style-type: none"> ●「多摩地域企業・大学等連絡会」の運営支援 ●企業等との協働活動(地域貢献活動)の推進 (仮称)「生活困窮世帯に対する食材提供事業」の試行実施 <p>(参加企業等 22社以上)</p>	<p style="text-align: center;">令和4年度 (2022年度)</p> <ul style="list-style-type: none"> ●企業等との協働活動(地域貢献活動)の推進 「食の支援を通じた取り組みの推進」 <p>(参加企業等 28社以上)</p>
<p style="text-align: center;">令和4年度 事業計画 (実施目標)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「多摩地域企業・大学等連絡会(ゆるたまネット)」を通じて、多様化・複合化する地域生活課題等をテーマに学習会や意見情報交換会などを実施し、ネットワークを活かした連携・協働した取り組み(地域貢献活動)が行えるようにコーディネートする。 ・ゆるたまネットが、「食」の支援を通じた取り組みを継続して推進していきけるようコーディネートしていく。 ・また、災害時の連携体制について検討し、それぞれができる取り組みや活動をコーディネートしていく。 		
<p style="text-align: center;">取組結果</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●ゆるたまネットに新たに9団体が参加し、37団体の構成となった。 ●ゆるたまネット内に実行委員会を設置し、生活に困窮している「大学生以下の子どもがいる世帯」「大学生」「留学生」を対象に、「食料等無料配布事業」を実施し、185世帯 552人に配布することができた。 ●「災害時の連携について」をテーマに学習会を実施した。令和5年度も継続して「災害時の連携」をテーマに学習していく場を設けることになった。 ●新たに赤い羽根共同募金活動及び歳末たすけあい運動への協力を行った。 ●運営ルールを見直し、ゆるたまネット内に幹事会を設置し、さらに主体 		

	<p>的に取り組んでいく体制づくりを行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●市の協力を得て食料保管場所を確保することができた。 ●コープみらいと連携した取り組み(米の寄付や貝取店にフードドライブ常設)や国や都の助成金を活用してフードパントリー(食料配布)を事業化(毎月多摩ボラセンで食料を配布)した。 ●設立したフードバンク団体と協働で食の支援を行う流れを構築した。 ●食料配布世帯よりニーズのあった学習支援事業を検討し、令和5年度より事業化する予定。
--	---

No. 2-3-1-3	多様な主体の参画の促進と連携・協力体制の構築 (福祉協力店)		総務係
内 容	自販機設置の設置を協力していただける新規福祉協力店を開拓し、本会財政基盤の強化を図っていきます。		
活動計画 (年次計画)	令和2年度 (2020年度)	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)
	●自販機設置の新規協力店の開拓	●1店舗獲得	●1箇所以上への設置
令和4年度 事業計画 (実施目標)	新規福祉協力店を獲得するほか、多摩市の入札情報を随時確認し、公共施設の改修等工事現場への自動販売機設置依頼を積極的に行っていく。		
取組結果	●1店舗の新規福祉協力店を獲得した。自動販売機の新規設置はできなかったが、今年度1箇所工事終了したところに、終了後も引き続き自動販売機を設置してもらうことができた。		

3 みんなの暮らしに“安心”を届けます！

3-1 権利擁護の推進

○成年後見制度をはじめとした権利擁護に関する事業の周知・啓発を図るとともに、市民後見人の育成に努めます。

<div style="background-color: #f08080; border-radius: 50%; padding: 2px; display: inline-block;">重点</div> No. 3-1-1-1	権利擁護センターの運営		権利擁護センター	
内 容	高齢者や障がい者が、住み慣れた地域で安心して生活ができるよう、福祉サービスの利用支援や、成年後見制度の利用相談等を行います。また、後見活動等の相談や成年後見制度に関わる講演会等を実施し、成年後見制度の普及啓発を行います。			
活動計画 (年次計画)	福祉サービス 利用支援事業 の推進	令和2年度 (2020年度) ●新規契約 25件 ●普及啓発事業 継続	令和3年度 (2021年度) ●新規契約 25件	令和4年度 (2022年度) ●新規契約 25件
	生活支援員の 育成	●年3回生活支援員募集を行う。 ●年2回生活支援員研修会を実施。		
	成年後見制度 の利用促進	●成年後見に関する講座、学習会の開催 (年5回) ※コロナ禍で中止した講座あり。 ●相談事業継続	●成年後見に関する講座、学習会の開催 ●関係機関向け事業・制度説明会の開催	
	成年後見人等 支援の推進	●後見人懇談会の開催(年3回) ※コロナ禍で中止した懇談会あり。 ●相談事業継続	●後見人懇談会の開催	
令和4年度 事業計画 (実施目標)	・後見人等のマッチング支援や親族後見人には定期的な支援を行うなど中核機関としての役割を担っていく。 ・成年後見制度地域連携ネットワークの構築について検討を行う。 ・関係機関向けに事業・制度説明会を行う。 ・高齢者や障がい者およびその家族に、制度・事業説明を行い権利擁護			

	<p>支援が必要な方に適切な支援を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> 福祉サービス利用支援事業の担い手である生活支援員の募集を行い、新たに5名の登録を目指す。また、生活支援員の育成を行う。
<p>取組結果</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●新規契約者 32 名 (内訳:認知症 18 名、精神障がい 5 名、高次脳機能障がい 1 名、要支援 2 名、知的障がい 2 名 身体障がい 4 名) R4 年度末契約者数 138 件。解約者数 13 件。 ●生活支援員募集は 2 回実施。新規生活支援員 2 名登録。生活支援員研修及び連絡会については、「生活保護制度について」や多摩市における成年後見制度の利用及び中核機関の役割について」など、活動に活かせる内容で実施した。 ●弁護士や税理士などの専門職による、遺言と相続について制度の利用方法等について講演会を開催。(2 日間開催、参加者延べ 53 名) ●司法書士会と連携し、成年後見制度に関する相談会を実施した。(1 回実施、参加者 4 名) ●専門職及び親族の後見人等を対象とした懇談会を実施。専門職後見人等懇談会では「成年被後見人等の交代について」を学び、親族後見人懇談会については、成年後見人等としての活動について情報交換を行った。(2 回実施、参加者 18 名) ●成年後見制度の相談件数は 671 件。本人の権利擁護支援に関する検討の場(地域ケア会議等)への参加 42 件。後見人候補者と本人のマッチング支援 21 件。 ●成年後見制度地域連携ネットワーク構築に向けて、福祉総務課との定例会議等で検討した。また、今年度は地域ケア会議やケース会議等で、他機関と連携を進め、今後のネットワーク化に向けて意見交換した。

<p style="text-align: center;">重点</p> <p>No. 3-1-2-1</p>	<p style="text-align: center;">市民後見人の育成</p>		<p style="text-align: center;">権利擁護センター</p>
<p style="text-align: center;">内 容</p>	<p>地域住民による支え合いを推進するにあたり、市民後見人を研修や実践を通じて育成を行います。また、法人後見監督人*となり市民後見人の後見活動等支援を行います。</p>		
<p style="text-align: center;">活動計画 (年次計画)</p>	<p style="text-align: center;">令和 2 年度 (2020 年度)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 市民後見人の養成を受けた人に対してケース受任 ● 法人後見監督人として受任、市民後見人の支援・監督 	<p style="text-align: center;">令和 3 年度 (2021 年度)</p>	<p style="text-align: center;">令和 4 年度 (2022 年度)</p>
<p style="text-align: center;">令和 4 年度 事業計画 (実施目標)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 社協に登録した市民後見人へフォローアップ研修を行い、ケース受任に繋げていく。 ・ 受任された市民後見人に対して法人後見監督人として市民後見人の支援と監督を行う。 		
<p style="text-align: center;">取組結果</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 登録している市民後見人 1 名が、昨年度受任したケースを継続して担当。また、多摩市社会福祉協議会が法人後見監督人として受任。被後見人の居所を整理の際、法人後見監督人として市民後見人からの相談に対応するほか、裁判所への提出書類の作成支援などを実施した。 <p>令和 5 年 3 月末現在、登録市民後見人は 2 名。フォローアップ研修として、専門職による遺言と相続講座や親族後見人等懇談会に参加し、後見人活動に必要な知識の習得や情報交換をおこなった。</p>		

* 法人後見監督人：成年後見人等の事務執行を監督する者のこと。市民後見人が家庭裁判所から後見人などに選任された場合、社会福祉協議会等の法人が市民後見人による活動を監督する。

3-2 多様な相談機会の提供

○相談者のニーズに即した専門相談機能を充実するとともに、相談者への包括的支援を目指し、各相談機関及び関係機関との連携を図る体制づくりを進めます。

No. 3-2-1-1	相談窓口の拡充			まちづくり推進担当
内 容	<p>多様化・複雑化する地域生活課題に対応するため、身近な相談場所を広く設置し、分野を問わない「福祉なんでも相談」を実施します。相談者の多様なニーズに応じるため、組織内での連携はもとより、行政や関係機関と連携を図ります。</p>			
活動計画 (年次計画)	令和2年度 (2020年度)	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	
	<p>●地域相談窓口(福祉なんでも相談窓口)の設置(10箇所以上実施)</p>	—————→		
令和4年度 事業計画 (実施目標)	<p>・社協内(権利擁護センターや地域活動センター等)や専門機関(居住者支援など)と連携して、多機関連携によるテーマ型の相談会を継続して実施する。</p> <p>・各エリアの福祉なんでも相談では、出張先でタブレットを活用し、相談によってはわかりやすいように画面を共有しながら対応する。コロナ禍の状況により会場確保ができない時は、電話による対応のアナウンス(張り紙等)をし、相談体制を確保していく。</p> <p>・「脳トレ」や「ミニ講座」を開催し、参加した高齢者等の顕在化したニーズ以外にも、複雑化した課題や潜在化したニーズを発見し、専門機関等へつなげる。</p> <p>また、地域内で起きているちょっとした困り事や気になる人の情報などを寄せてもらい、解決に結びつけられるようにコーディネートしていく。</p>			
取組結果	<p>●令和4年度は、連光寺福祉館が改修工事のため、9箇所の拠点でなんでも相談を実施した。昨年度はコロナウイルス感染拡大防止対策で中止が余儀なくされ、電話による相談に切り替えていたが、今年度は中止となっていたコミュニティセンター等でも対面による相談を再開し、広報を強化した(令和4年度相談件数62件)</p> <p>●かるがも館にて、社協内(ボランティア担当)と連携して、ボランティア相談(活動者の開拓)を含めた組織内連携によるテーマ型の相談会を実施した。</p> <p>●愛宕かえで館では、地域包括支援センターの元気チェックと日程を合わせた相談日を設定し、相互の事業に参加しやすい状況を作った。</p> <p>●諏訪福祉館、ひじり館では、タブレットを活用し、相談によってはわかりやすいように画面を共有しながら対応した。</p> <p>●かえで館等、コロナ禍の状況により会場確保ができない時は、電話によ</p>			

る対応のアナウンス(張り紙等)をし、相談体制を確保した。

●かるがも館、桜ヶ丘集会所、TOMハウス、菖蒲館では、「脳トレ」や「ミニ講座」を開催し、参加した高齢者等の顕在化したニーズ以外にも、複雑化した課題や潜在化したニーズを発見し、専門機関等へつなげるよう努めた。

3-3 災害時支援体制の強化

○災害時・緊急時に平常時から備えるとともに、災害時・緊急時には市民同士が助け合えるような仕組み・関係を構築します。

No. 3-3-1-1	災害ボランティアセンター運営体制の拡充及び災害時要配慮者支援の啓発の推進		多摩ボラセン
内 容	<p>地域の連携を深め、災害時に高齢者や障がいのある人などが災害弱者にならない体制づくりに努め、日頃から災害に備えた対策を進めるとともに、災害発生時に迅速な対応ができる体制を整備します。</p> <p>災害の規模や内容に応じた「災害ボランティアセンター設置・運営訓練」を実施し、適時「災害ボランティアセンター設置・運営マニュアル」の改訂に取り組むなど、日頃から災害に備えた対策を進めていきます。</p> <p>あわせて、災害発生時に迅速な対応ができるよう体制を整備していきます。</p> <p>また、地域防災訓練などに参加しながら地域との連携を深め、冊子「要配慮者からのメッセージ」などを配布するなど、災害時に高齢者や障がいのある人などが災害弱者にならない体制づくりの必要性を当事者とともに啓発していきます。</p>		
活動計画 (年次計画)	令和2年度 (2020年度)	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)
	<ul style="list-style-type: none"> ● 講座を実施して登録運営ボランティアを増やす (登録者数 55 人以上) ※コロナ禍で事業中止。次年度に順延。 	<ul style="list-style-type: none"> (登録者数 55 人以上) 	<ul style="list-style-type: none"> ● 講座を実施して災害ボランティア登録者を増やす (登録者数 60 人以上)
	<ul style="list-style-type: none"> ● 災害の規模、内容に応じた災害ボランティアセンター設置・運営訓練の実施 (年1回) 	<ul style="list-style-type: none"> (年1回) 	<ul style="list-style-type: none"> (年1回)
	<ul style="list-style-type: none"> ● 災害ボラセン運営ボランティア登録者連絡会の開催 (年1回) 	<ul style="list-style-type: none"> (年1回) 	<ul style="list-style-type: none"> ● 災害ボランティア登録者連絡会の開催 (年1回)
	<ul style="list-style-type: none"> ● 「災害ボランティアセンター設置・運営マニュアル」を適時見直し ● 災害時要配慮者支援の啓発 (年3回以上) 	<ul style="list-style-type: none"> (年3回以上) 	<ul style="list-style-type: none"> (年3回以上)

<p>令和4年度 事業計画 (実施目標)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「災害ボランティアセンター設置・運営マニュアル(地震・水害・感染症下に対応)」の検証・見直しを行うため、協定書締結機関、災害ボランティア登録者、役員・評議員、多摩ボラセン運営委員などの参加を含めた、実践的な「災害ボランティアセンター設置・運営訓練」を実施する。 ・また、「多摩地域企業・大学等連絡会(ゆるたまネット)」において、災害時の連携体制について検討し、それぞれができる取り組みや活動をコーディネートし、災害ボランティアセンター運営体制の拡充を図る。 ・災害ボランティア講座を開催し、災害ボランティア登録者を増やし、災害発生時に円滑に行動できるよう体制を整備していく。 ・合わせて、災害ボランティア登録者を対象に学習会を兼ねた連絡会を開催し、災害時に迅速な対応ができるように、登録者同士のつながりづくりやスキルアップを図っていく。 ・災害ボランティア講座や地域防災訓練などを通じて、冊子「要配慮者からのメッセージ」を配布し、災害時要配慮者支援の啓発を行っていく。 		
<p>取組結果</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●災害講座として5月に「災害ボランティア編」と6月に「災害ボラセン運営編」を実施した。それぞれ37名と35名が参加し、このうち新規に19名が災害ボランティアとして登録した。 ●職員、役員、評議員、多摩ボラセン運営委員、災害協定団体、災害ボランティア登録者、災害ボランティア講座参加者、ゆるたまネット会員など総勢70名の参加を得て、7月に災害ボラセン設置・運営訓練を実施した。 ●ゆるたまネット内で、「災害時の連携について」をテーマに学習会を実施した。令和5年度も継続して「災害時の連携」をテーマに学習していく場を設けることになった(再掲)。 ●訓練を通じて、新たに作成した第2類感染症及び水害に対応した災害ボラセン設置・運営マニュアルの検証を行った。結果、いくつかの修正を行い完成することができた。 ●災害ボランティア登録者を対象にフォローアップ講座を実施し、災害ボラセンマッチングのロールプレイワークなどを通じて、参加者同士の学びと交流を図ることができた。 ●「認知症高齢者の理解」「視覚障がい者の理解」「聴覚障がい者の理解」「身体障がい者の理解」「外国人の理解」の5つのテーマを設けて、災害時要配慮者支援の講座を10月の福祉フェスタ内で実施し、延べ33名が参加し、講義と各種体験を通じて啓発を行った。 		

3-4 情報発信の強化

○ふくしだよりをはじめ、インターネットやSNSなど多様な情報媒体の活用による福祉情報の発信体制を強化します。

No. 3-4-1-1	広報媒体の拡充			総務係、多摩ボラセン
内 容	<p>情報発信機能の強化のため、ホームページをリニューアル及びFacebook や Twitter などの SNS を活用し、タイムリーな情報発信と相互情報交換が可能になる仕組みを導入するとともに、スマートフォン用ホームページの構築を図ります。</p> <p>また、紙媒体による情報を必要とされる方のために、ホームページや SNS に誘導するだけでなく、ふくしだよりやちらしを見やすいデザインへの変更やボランティア通信のリニューアルも検討します。</p>			
活動計画 (年次計画)	令和 2 年度 (2020 年度)	令和 3 年度 (2021 年度)	令和 4 年度 (2022 年度)	
	●ホームページのリニューアルの検討・実施 (スマートフォン用ホームページ含む)	●ホームページリニューアルの実施(未実施分)、スマートフォン版ホームページ作成	●精査	
	●ボランティア通信のリニューアル検討・実施	●ボランティア通信のリニューアルの実施(未実施分)	●SNSの導入の検討・実施及び精査	
	●Facebook、Twitterの導入検討・実施	●SNS を活用した情報発信の実施	●精査	
	●ふくしだより、ちらしの構成見直し	●実施	→	
令和 4 年度 事業計画 (実施目標)	<p>【多摩ボラセン】</p> <ul style="list-style-type: none"> 若い年代にも関心をもってもらえるよう、SNS (LINE、Twitter、Instagram、YouTube など) の導入を検討・実施し、精査する。 <p>【総務】</p> <ul style="list-style-type: none"> ホームページのスマートフォン版の運用、リニューアル後のホームページの運用を開始し、幅広い世代への情報発信につなげていく。 多摩ボラセンと連携し、YouTube、Facebook 等の SNS を活用した情報発信と情報交換の検討、ならびに試行的に実施していく。 			
取組結果	<p>【多摩ボラセン】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●HP にアクセスしやすくし、多くの年代にボランティア情報を届けるため、毎月メルマガ配信を行った。令和 3 年度から食料配布事 			

業や子ども食堂の一覧図（ボランティア情報含む）を掲載したことで、HP閲覧者数が多くなった。

- YouTube を活用し、災害ボラセン動画、食の支援メッセージ動画などをHP通じて配信し、PRした。

【動画再生回数】

- ・災害ボラって何？ 381回
- ・災害ボラに参加しよう 301回
- ・災害ボラの流れ 629回
- ・食の支援メッセージ 464回

- さらに今後は、タマボラ君 LINE スタンプのあるLINEによる情報発信など、多くの年代に情報が届けられるようにしていく。

【総務係】

- 多摩市社協・多摩ボラセン両ホームページを統合した情報発信、スマートホンへの対応、SNSを導入しホームページリニューアルを行った。
- 3月号、5月号は記事記載情報量が多いため両号について6～8面発行できる構成の調整を行った。（令和5年度より実施）また、構成の見直しにより見開き2面を使用した地域のサロン紹介のPRを行った。

3-5 多様なサービスの提供

○地域住民の福祉ニーズの把握を行い、地域住民が適切なサービスの利用や活動への参加ができるよう、社協受託事業を中心とした福祉サービスの提供体制づくりを推進します。

No. 3-5-1-1	老人福祉センターの充実			センター係 (高齢担当)
内 容	高齢者が充実した地域生活を送れるように、健康増進・いきがいづくり事業、特に退職後の男性の参加が見込まれる内容の精査・実施をするとともに、同好会等にむけて、社会貢献活動についての情報提供や働きかけの強化を図ります。			
活動計画 (年次計画)	令和2年度 (2020年度)	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	
	● 講座内容の見直し 精査、新規講座2 講座以上(年間 20 講座以上実施)	事業の移管に伴い事業受託終了		
	● ボランティア活動・ 地域活動につながる 講演講座の実施 (年間2講座以上)			
● 同好会(自主活動 グループ)へのボラ ンティア活動等の 参加の促進(働き かけの強化)				
令和3年度 事業計画 (実施目標)				

No. 3-5-2-1	地域活動支援センター(障がい者福祉センター) の充実			センター係 (障害担当)
内 容	地域活動支援センターの充実によるサービスの利用拡大や地域活動への参加を進めるとともに、関係機関と連携した障がい者理解の機会の提供を行います。			
活動計画 (年次計画)		令和2年度 (2020年度)	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)
	利用者のニーズに沿った活動やツールの	● 高次脳機能障 がい者向けの プログラムの	● 実施内容の精 査・実施	● (継続)

	提供	<p>実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ●地域活動支援センター講座の開催（年 12 講座） ※コロナ禍で中止した講座あり。 	●実施内容の精査・実施	●（継続）
	将来安心した生活を送るための相談会等の実施	<ul style="list-style-type: none"> ●親なきあと相談会の検討・実施 	●（継続）	●（継続）
	プログラムを通じたボランティアの育成と障がい者理解の促進	<ul style="list-style-type: none"> ●ボッチャ貸出、体験会開催。 ※コロナ禍で事業中止。（貸出のみ） 	●（継続）	●（継続）
		<ul style="list-style-type: none"> ●【再掲】 スポーツを通じた障がい者理解の推進 	●（継続）	●（継続）
		<ul style="list-style-type: none"> ●【再掲】 防災訓練や福祉イベント、学校等でのハンディキャップ体験の実施・協力 	●（継続）	●（継続）
		<ul style="list-style-type: none"> ●【再掲】 関係機関と連携した地域での学習会やミニ理解講座等の開催 	●（継続）	●（継続）
令和4年度事業計画（実施目標）	失語症・高次脳機能障害・統合失調症等のある方を対象としたグループ活動を実施し、社会参加と当事者同士の交流の場を提供していく。活動を通じて生活状況の確認や相談の場としても繋がりを継続していく。各種講座について、関心を持ってもらえるような広報の工夫や当事者のニーズに合わせた新たな内容について検討する。			
取組結果	<ul style="list-style-type: none"> ●感染防止対策を取りながら、各種講座は、年 11 講座を実施した。 ●高次脳機能障がい者向けグループ活動について、集団での音楽療法に馴染まない方への個別活動を開始し、社会参加の場の提供を行った。 ●高次脳機能障害当事者による講演会（10月実施）、失語症の理解と 			

	支援(11月：協力事業)、ミニ学習会(3月実施：関係機関連絡会を含む)を開催し、当事者の状況やニーズについて理解を深める内容となった。
--	---

No. 3-5-3-1	障害福祉サービスの提供			センター係 障害担当
内 容	同行援護・意思疎通支援等、その人に必要な多様なサービスの提供と、他機関との調整・連携を行います。			
活動計画 (年次計画)		令和2年度 (2020年度)	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)
	●同行援護従事者派遣事業の推進	●適切なサービスの提供	●(継続)	●(継続)
	●意思疎通支援事業(手話通訳者派遣・要約筆記者派遣)の推進	●社会参加の促進	●(継続)	●(継続)
		●他機関との連携による利用者支援		
令和4年度 事業計画 (実施目標)	安定した派遣を行い障害のある方の社会参加につなげる。 また、利用者の高齢化に伴い関係機関と連携し、その方が予定した支援が受けられ安定した生活を維持継続できるよう支援する。			
取組結果	<ul style="list-style-type: none"> ●同行援護/引き続き、感染症対策を呼びかけながら、社会参加に向けた外出支援を実施し、前年度より派遣回数が増加した。独居の方の生活状況や健康状態などで課題と思われる点については、関係者と連携した支援を行った。 ●意思疎通支援(手話)/利用者の高齢化に伴い、前年度に引き続き定期通院回数や時間が増加、感染予防に努めながら派遣を継続し行った。 			

No. 3-5-4-1	生活支援の推進（貸付事業）		総務係
内 容	生活困窮者等への貸付事業制度の周知と、しごと・くらしサポートステーション等との連携を通して、必要な生活支援を行います。		
活動計画 (年次計画)	令和2年度 (2020年度)	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)
	●貸付事業の実施		→
令和4年度 事業計画 (実施目標)	相談を通じて利用者との信頼関係を築き、支援につながる貸付を行い、償還完了までの支援が継続できるよう民生委員との連携体制を作る。また、コロナウィルス感染症に対する特例貸付の償還が今年度から本格化することから、相談や償還を通じて利用者の生活状況の把握を行い、しごと・くらしサポートステーションや民生委員等の関係機関と連携しながら、償還完了までの支援を行う。		
取組結果	<ul style="list-style-type: none"> ●生活福祉資金の相談件数は123件、うち貸付決定件数は6件。また、小口資金の相談件数は34件、うち貸付決定件数は2件だった。 ●新型コロナウイルス感染症の影響を受け、失業や休業等で収入減少された方を対象に、生活福祉資金特例貸付（緊急小口資金、総合支援資金）が令和2年3月から開始されていたが令和4年9月30日をもって終了した。緊急小口資金の申請総件数は1,576件（貸付件数については、東社協から多摩社協への決定通知がなく不明）、総合支援資金の貸付総件数は2,336件であった。令和5年1月からは償還がはじまっている。令和5年1月からの償還の対象債権は、2,537件あり、償還免除申請が承認された件数が、1,034件(40.8%)となっている。不承認になった世帯についてはフォローアップ支援を行っている。 ●生活福祉資金特例貸付の申請要件や償還猶予要件について、生活困窮者自立支援窓口への相談等となっている要件もあることから、多摩市しごと・くらしサポートステーションや多摩市役所生活福祉課等関係機関と連携して相談者、借受人等の支援を行った。 		

重点 No. 3-5-4-2	生活支援の推進（（仮称）高齢者安心サポート事業）		権利擁護センター
内 容	新たな取り組みとして高齢者の入院時支援などの対応を行う「（仮称）高齢者安心サポート事業」について検討を行います。		
活動計画 (年次計画)	令和2年度 (2020年度)	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)
	●ニーズ調査 ※コロナ禍で次年度に順延。	●ニーズ調査 ●事業内容について検討	→

令和4年度 事業計画 (実施目標)	・令和3年度に実施したニーズ調査の分析結果や他社協の調査を基に事業内容を決定し、実施に向けた取り組みに着手する。
取組結果	●令和5年4月事業開始に向けて、職員プロジェクトにおいて事業内容を検討して、高齢者あんしんサポート事業実施要綱、預託金取扱要領を制定した。

No. 3-5-4-3	生活支援の推進（住民主体による訪問型サービス）		まちづくり推進担当
内 容	多摩市の介護保険制度の介護予防日常生活支援総合事業である「住民主体による訪問型サービス」の事業者として、地域包括支援センターが作成したケアプランに基づいてサービスを提供します。サポーターはたすけあい有償活動の協力員登録をしている者で、多摩市が実施する研修を受講終了した者がサービス従事にあたるようにしているため、協力員増員の取り組みにあわせて活動者を発掘・育成していきます。		
活動計画 (年次計画)	令和2年度 (2020年度)	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)
	●サポーター増員(年間新規10人以上) *たすけあい協力員の育成と連動	—————→	
令和4年度 事業計画 (実施目標)	<ul style="list-style-type: none"> ・たすけあい有償活動の新規協力員に対し、生活サポーター養成講座への参加を促し、生活サポーターの登録数増員を目指す。(地域に生活サポーターの登録数に偏りがあるため、少ない地域の増員を目指す。) ・生活支援体制整備事業第1層コーディネーターが主催する、「生活支援分科会」「訪問型サービス指定事業所連絡会」に参加し、他の事業所と情報交換・共有しながら事業運営を行っていく。 		
取組結果	<ul style="list-style-type: none"> ●たすけあい有償活動に登録している協力員へ、生活サポーター養成講座への参加を呼びかけ、今年度新規で10名がサポーター登録をした。 コロナ禍ではあるが、新規利用者は12人あった。感染拡大に留意しつつ活動を継続し、包括支援センターと連携し、高齢者の生活支援を行った。 ●「生活支援分科会」「訪問型サービス指定事業所連絡会」にて、情報共有と、住民主体の生活支援の課題などを共有した。 		

No. 3-5-4-4	生活支援の推進（フードドライブ等事業）		多摩ボラセン
内 容	<p>既存の「誰でも食堂、子ども食堂」運営団体やフードバンク団体と連携を強化し、フードバンク・フードドライブ事業の普及・啓発に取り組みます。</p> <p>また「子ども食堂等活動支援金」は支援対象経費が限られているため、より柔軟に支援金を交付できるように要綱の見直しを行います。</p>		
活動計画 (年次計画)	令和2年度 (2020年度)	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)
	<ul style="list-style-type: none"> ●フードドライブ等事業の推進 ●「子ども食堂等活動支援金実施要綱」の見直し・改正・実施 	<p style="text-align: center;">→</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●子ども・若者応援基金創設・用途明確化
令和4年度 事業計画 (実施目標)	<p>・「誰でも食堂、子ども食堂」運営団体やフードバンク団体のほか、「多摩市内社会福祉法人ネットワーク連絡会」や「多摩地域企業・大学等連絡会」を通じて、各団体の開催するイベント等でのフードドライブ受付窓口の増設に取り組むとともに、多摩地域企業・大学等連絡会（ゆるたまネット）に働きかけ、食の支援を通じた取り組みをコーディネートしていく。</p> <p>・子ども・若者応援基金を創設し、子ども食堂等の支援や食の支援を通じた事業等に活用するなど、用途を明確にして、寄付者の意向をしっかりと反映できるよう可視化しながら財源確保にも取り組む。</p>		
取組結果	<ul style="list-style-type: none"> ●新たにコープ貝取店で常設型のフードドライブBOXを設置することができた。foodium 多摩センター店においては第3週のみ設置していたが、寄付が多くなり常設化することができた。 ●ゆるたまネットや社福法人ネットワーク連絡会の各団体の職場などでも主体的にフードドライブの取組が行われ、フードドライブの輪を広げることができた。 ●子ども・若者応援基金の用途を以下の3つに明確化した。 <ul style="list-style-type: none"> ・団体支援(助成金の交付) ・人材育成(子ども・若者をささえる活動者の育成等) ・個別支援(食の支援事業等) ●団体支援として、「子ども食堂等活動支援金交付要綱」の見直しを行い、新たに「子ども・若者応援助成金交付要綱」を制定した(6月理事会で承認)。 ●子ども若者応援助成金の募集を行い、9団体に助成金を交付した。 ●フードドライブ寄付件数等の詳細は以下のとおり。 <ul style="list-style-type: none"> ・フードドライブ寄付件数等 <ul style="list-style-type: none"> 個人：288件、企業・団体：119件 合計：約9168kg ・子ども若者応援助成金の交付件数等 交付団体9団体 		

	交付額 340,000 円 ・子ども・若者応援寄付額 2,045,767 円
--	--

重点 No. 3-5-4-5	生活支援の推進（ひきこもり家族支援）		センター係 （障害担当）
内 容	関係機関と連携してひきこもり家族会を支援し、当事者や家族、支援者に必要な助言や情報提供、支援機関の紹介等を行い、ひきこもり当事者の自立を支援していきます。		
	令和 2 年度 （2020 年度）	令和 3 年度 （2021 年度）	令和 4 年度 （2022 年度）
活動計画 （年次計画）	●ひきこもり家族会の運営会議・定例会に協力し、講演会等を実施	●（継続）	●（継続）
令和 4 年度 事業計画 （実施目標）	家族会の運営のための助言や情報提供、支援機関との連携、広報に協力していく。家族会の定例会・講演会などの活動を支援し、安心して社会とつながることができる居場所づくりと地域においてのひきこもり等への理解につなげていく。		
取組結果	●家族の参加状況により、隔月開催となるが、センターだよりへの日程掲載や問い合わせへの対応などの広報面で支援を行った。 ●3 月に、共催で「社会変化と生きづらさを抱える人たち」をテーマにひきこもりへの家族や社会の向き合い方を通して支援の在り方を考える講演会を実施し、家族や関係者など 25 人が参加した。		

令和4年度 事業報告書

附属明細書

1 組織運営

(1) 三役会の開催

第1回 (R4. 4. 7)	第7回 (R4. 12. 1)
第2回 (R4. 5. 26)	第8回 (R4. 12. 22)
第3回 (R4. 7. 7)	第9回 (R5. 2. 2)
第4回 (R4. 8. 25)	第10回 (R5. 2. 22)
第5回 (R4. 10. 6)	
第6回 (R4. 11. 10)	

令和5年3月31日現在の役員・評議員の状況

	理事	監事	評議員
定数	10～15	2	30～35
現員数	14	2	33

(2) 理事会の開催

第1回 (R4. 6. 9) 出席者 13名	
【審議事項】	
第1号議案	常務理事の選定について
第2号議案	個人情報保護規定の一部改正について
第3号議案	子ども・若者応援助成金交付要綱の制定について
第4号議案	子ども食堂等活動支援金実施要綱の廃止について
第5号議案	役員等賠償保険の契約について
第6号議案	令和3年度事業報告について
第7号議案	令和3年度決算について
第8号議案	令和4年度補正予算について
第9号議案	令和4年度第1回評議員会（定時評議員会）の招集について
第2回 (R4. 9. 8) 出席者 12名	
第10号議案	社会福祉法人多摩市社会福祉協議会会長の選定について
第11号議案	令和4年度補正予算について
第12号議案	令和4年度第2回評議員会の招集について
第3回 (R5. 1. 12) 出席者 12名	
第13号議案	就業規則の一部改正について
第14号議案	職員の再雇用に関する規則の一部改正について
第15号議案	定年前再雇用職員に関する規則の制定について
第16号議案	職員の希望に基づく降格に関する規則の制定について
第17号議案	給与規定の一部改正について
第18号議案	職員退職手当支給規定の一部改正について
第19号議案	育児休業等に関する規則の一部改正について
第20号議案	嘱託職員雇用等に関する規則の一部改正について
第21号議案	臨時職員雇用等に関する規則の一部改正について
第22号議案	契約規程の一部改正について
第23号議案	高齢者あんしんサポート事業実施要綱及び高齢者あんしんサポート事業預託金取扱要領の制定について
第24号議案	令和4年度福祉大会における被表彰者の決定について
第25号議案	令和4年度補正予算について
第26号議案	令和4年度第3回評議員の招集について

第4回 (R5.3.9)	出席者 10名
第27号議案	就業規則の一部改正について
第28号議案	役員等の報酬及び費用弁償に関する規程の一部改正について
第29号議案	評議員の費用弁償に関する規程の一部改正について
第30号議案	常務理事の職務等に関する規程の一部改正について
第31号議案	常務理事の報酬等に関する規程の一部改正について
第32号議案	同行援護事業運営規程の一部改正について
第33号議案	特定相談支援事業運営規程の一部改正について
第34号議案	地域活動支援センター事業運営規程の一部改正について
第35号議案	虐待防止委員会設置要綱の制定について
第36号議案	令和4年度補正予算について
第37号議案	第5次多摩市地域福祉活動計画について
第38号議案	令和5年度事業計画について
第39号議案	令和5年度予算について
第40号議案	令和4年度第4回評議員会の招集について

(3) 評議員会の開催

第1回 (R4.6.27)	出席者 29名
【審議事項】	
第1号議案	役員を選任について
第2号議案	令和3年度事業報告について
第3号議案	令和3年度決算について
第4号議案	令和4年度補正予算について
第2回 (R4.9.26)	出席者 23名
【審議事項】	
第5号議案	令和4年度補正予算について
第3回 (R5.1.23)	出席者 23名
【審議事項】	
第6号議案	令和4年度補正予算について
第4回 (R5.3.20)	出席者 24名
【審議事項】	
第7号議案	役員等の報酬及び費用弁償に関する規程の一部改正について
第8号議案	評議員の費用弁償に関する規程の一部改正について
第9号議案	常務理事の報酬等に関する規程の一部改正について
第10号議案	令和4年度補正予算について
第11号議案	第5次多摩市地域福祉活動計画について
第12号議案	令和5年度事業計画について
第13号議案	令和5年度予算について

(4) 監査の概要

- 第1回 (令和3年度決算監査) (R4.5.20) 出席者 監事2名
 特別な改善事項の指摘はなし。
- 第2回 (令和4年度中間決算監査) (R4.11.9) 出席者 監事2名
 特別な改善事項の指摘はなし。

(5) 各委員会の活動報告

第5次地域福祉活動計画策定委員会			
開催状況	第2回	(R4. 5. 27)	出席者 12名
	第3回	(R4. 7. 21)	出席者 11名
	第4回	(R4. 9. 27)	出席者 13名
	第5回	(R4. 11. 22)	出席者 13名
	第6回	(R5. 1. 27)	出席者 14名
	第7回	(R5. 2. 20)	出席者 13名

多摩ボランティア・市民活動支援センター運営委員会			
開催状況	第1回	(R4. 5. 16)	出席者 12名
	第2回	(R4. 10. 30)	出席者 12名
	第3回	(R5. 1. 30)	出席者 12名
	第4回	(R5. 3. 6)	出席者 13名

権利擁護センター運営委員会			
開催状況	第1回	(R4. 7. 7)	出席者 4名
	第2回	(R5. 3. 17)	出席者 6名

役員選考委員会			
開催状況	第1回	(R4. 5. 13)	出席者 7名

苦情解決第三者委員会			
開催状況	第1回	(R4. 11. 2)	出席者 3名

評議員選任・解任委員会			
開催状況	第1回	(R5. 2. 9)	出席者 5名

(6) 各部会の活動報告

総務部会			
開催状況	第1回	(R5. 1. 24)	出席者 5名
	第2回	(R5. 3. 29)	出席者 7名

広報広聴部会			
開催状況	第1回	(R4. 4. 13)	出席者 5名
	第2回	(R4. 6. 15)	出席者 6名
	第3回	(R4. 8. 17)	出席者 7名
	第4回	(R4. 10. 17)	出席者 7名
	第5回	(R4. 12. 12)	出席者 4名
	第6回	(R5. 2. 14)	出席者 7名

イベント推進部会			
開催状況	第1回	(R4. 4. 28)	出席者 10名
	第2回	(R5. 2. 13)	出席者 8名

地域福祉まちづくり部会			
開催状況	第1回	(R4. 12. 14)	出席者 11名

部会連絡会	
開催状況	第1回 (R4.12.20) 出席者 7名

(7) 後援名義の使用許可状況

年度	30	R1	R2	R3	R4
後援名義使用許可件数	24件	27件	13件	10件	17件

(8) 多摩社協活動協力員登録状況

年度	H30	R1	R2	R3	R4
登録者数	23人	26人	29人	34人	33人

2 連絡調整

(1) 実習生の受入れ状況

年度	人数	期間	学校名
H30	5	H30. 8. 6～9. 8 (24日) 2人	大妻女子大学
		H30. 10. 1～11. 25 (25日) 2人	明星大学、武蔵野大学
		H31. 2. 5～3. 11 (24日) 1人	大妻女子大学
R1	4	R1. 8. 7～9. 10 (24日) 1人	大妻女子大学
		R1. 10. 1～11. 11 (24日) 1人	武蔵野大学
		R1. 10. 1～11. 12 (24日) 1人	明星大学
		R2. 2. 3～3. 9 (24日) 1人	東海大学
R2	4	R2. 8. ～9 (24日) 2人	大妻女子大学
		R2. 10～11. (24日) 1人	明星大学
		R3. 3. 8～3. 19 (10日) 1人	大妻女子大学
R3	5	R3. 5. 24～6. 15 (14日) 1人	大妻女子大学
		R3. 10. 11～11. 12 (24日) 1人	大妻女子大学
		R3. 10. 11～11. 12 (24日) 1人	明星大学
		R4. 2. 1～3. 7 (24日) 2人	大妻女子大学
R4	8	R4. 8. 1～9. 1 (24日) 2人	大妻女子大学
		R4. 10. 3～11. 7 (24日) 1人	武蔵野大学
		R4. 10. 3～11. 7 (24日) 1人	明星大学
		R5. 2. 6～3. 9 (24日) 2人	大妻女子大学
		R5. 2. 25～3. 23 (8日) 2人	東京都立大学

(2) 講師の派遣

年度	日数	テーマ	学校名
29	1	ボランティア活動をはじめるとにあって	東京医療学院大学
	2	地域の保健医療福祉	
30	1	ボランティア入門	東京医療学院大学
	2	地域の保健医療福祉	
R1	1	ボランティア入門	東京医療学院大学
	2	地域の保健医療福祉	
R2		なし	
R3		なし	
R4	1	ボランティア入門	大妻多摩中学校
	2	災害ボランティア	国士舘大学

3 普及・啓発

(1) 会報「ふくしだより」の発行

単位：円

年度	発行数	配布方法	内 容	広告収入	発行経費
30	年6回 発行 (5・7・9・ 11・1・3 月)	<ul style="list-style-type: none"> ・ポスティングによる全戸配布（平成25年度から実施） ・公共施設、郵便局、福祉協力店等に配架 ・声のふくしだよりの送付（録音テープ、デジ版（29年度より実施）を視覚障がい者に送付） 	タブロイド版 70,000部	455,000	4,793,591
R1				396,150	4,901,740
R2				155,000	5,502,911
R3				104,000	4,845,500
R4				48,000	5,078,042

(2) 福祉バザー

単位：円

年度	日時	場所	バザー等 収入	バザー 経費	収益額	備考
30	30. 10. 21(日)、 30. 2. 20(水) ～22(金) 10:00～15:00	総合福祉 センター	612,131 (599,331)	20,038	592,093	福祉フェスタ、春の発表会、福祉大会の開催日に合わせて実施
R1	R1. 10. 20(日)、 10:00～15:00	総合福祉 センター	412,721 (295,500)	32,438	380,283	福祉フェスタ開催日に合わせて実施
R2	未開催	-	-	-	-	感染症拡大防止のため開催せず
R3	未開催	-	300 (0)	-	300	
R4	R4. 10. 16(日) 10:00～15:00 R5. 3. 1(水) ～3(金) 11:00～15:00	総合福祉 センター	(145,876)	27,280	118,596	福祉フェスタ、春の発表会の開催日に合わせて実施

※バザー等収入額は、バザー出店参加費、飲み物販売、寄附品の販売等その他収入を含む。

() 内の数字はバザーのみの収入額

(3) 福祉フェスタ

年度	日時	場所	来場者数	内容	備考
30	30. 10. 21(日) 10:00～15:00	総合福祉 センター および アクアブ ルー多摩	約4,300人 ※天候：晴	<ul style="list-style-type: none"> ・たまかんフェスタ、からきだ菖蒲館まつり、大妻多摩祭との同日開催（共同企画スタンプラリー、キャラクターの交流事業実施） ・就活応援セミナー、フードドライブ受付 ・福祉団体等による販売、体験、発表、展示 ・福祉バザー、チャリティけんちん 	協賛・協力：15団体 参加：55団体 協力者（ボランティア）63人

R1	R1. 10. 21(日) 10:00~15:00	総合福祉センター および アクアブルー多摩	約 4,000 人 ※天候：曇	<ul style="list-style-type: none"> ・たまかんフェスタ、からきだ菖蒲館まつり、大妻多摩祭との同日開催（共同企画スタンプラリー、キャラクターの交流事業実施） ・ボランティア・地域活動見本市 in 福祉フェスタ 2019 ・障がいスポーツボッチャ体験会 ・福祉団体等による販売、体験、発表、展示 ・福祉バザー、チャリティけんちん 	協賛・協力：16 団体 参加：52 団体 協力者（ボランティア）53 人
R2	未開催	-	-	-	感染症拡大防止のため開催せず
R3	未開催	-	-	-	
R4	R4. 10. 16 (日) 10:00~15:00	総合福祉センター および アクアブルー多摩	約 1,200 人	<ul style="list-style-type: none"> ・たまかんフェスタ、からきだ菖蒲館まつり（多摩ボラセンキャラクターの派遣） ・福祉団体等による販売、体験、発表、展示 ・福祉バザー 	参加：27 団体 協力者（ボランティア）25 人

(4) 福祉大会

年度	日時	場所	内容	当日参加者
30	31. 2. 9(土) 13:00 ~16:45	パルテノン多摩小ホール	<p>「法人化 45 周年平成 30 年度福祉大会」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・福祉功労者の表彰式典及びミニコンサート（表彰者：個人 26 人、10 団体） 感謝状：個人 31 人、204 団体） ・子どもの貧困に関する講演会 講師：首都大学東京子ども・若者貧困研究センター長 阿部 彩 氏 役員等研修参加者 64 人、一般参加者 212 人、行政職員等 8 人 	<ul style="list-style-type: none"> ・受賞者 81 人 ・来賓者 23 人 ・式典/講演会延べ来場者 486 人
R1	R2. 2. 29(土) (式典中止)		<ul style="list-style-type: none"> ・福祉功労者の表彰(表彰状：個人 16 人、9 団体、感謝状：個人 5 人、21 団体)、郵送にて賞状と記念品を贈呈 ・多摩市共催講演会「誰もが安心して暮らせる地域づくりに向けて」、多摩桜の丘学園によるアトラクションは中止 	
R2	R3. 2. 27(土) (式典中止)		<ul style="list-style-type: none"> ・福祉功労者の表彰(表彰状：個人 18 人、7 団体、感謝状：個人 10 人、14 団体)、郵送にて賞状と記念品を贈呈 ・ふくしだより紙面および多摩社協 HP 上にて表彰者を紹介。表彰者へのメッセージを撮影し、オンライン上で公開。 	
R3	R4. 2. 26(土) (式典中止)		<ul style="list-style-type: none"> ・福祉功労者の表彰(表彰状：個人 20 人、6 団体、感謝状：個人 9 人、13 団体)、郵送にて賞状と記念品を贈呈 ・ふくしだより紙面および多摩社協 HP 上にて表彰者を紹介。表彰者へのメッセージを撮影し、オンライン上で公開。 	

R4	R5. 2. 25(土) 13:30~14:30	総合福祉 センター3 階多目的 フロア	・福祉功労者の表彰式典(表彰状:個人11人、 19団体、感謝状:個人16人、35団体)	・受賞者 41人 ・来賓者 2人
----	-----------------------------	------------------------------	--	---------------------

(5) メールマガジン配信状況

年度	30	R1	R2	R3	R4
年度末 登録者数	815	765	734	683	628
配信回数	12	16	13	13	12

※原則毎月15日に配信。そのほか不定期に配信

※平成29年10月より配信開始

(6) 福祉協力店状況

年度	H30	R1	R2	R3	R4	
店舗数	76	75	80	77	74	
協 力 内 容	募金箱	57	57	58	59	57
	広報紙	63	65	69	68	64
	自販機	6	5	5	4	5
	車椅子	4	7	9	6	6
	入れ歯回収	3	3	5	8	5
	フードドライブ	-	-	2	2	2

※平成29年度より「災害用自動販売機(自販機)の設置」及び「車椅子の設置」を新設

※平成30年度より「入れ歯回収ボックスの設置」を協力内容に新設

※令和2年度より「フードドライブ」を協力内容に新設

※協力内容(内訳)の件数は延べ数

4 組織強化活動

(1) 会員賛助金の状況

会費及び賛助金の単位：円

区分・単価 (円)	30年度		R1年度		R2年度		R3年度		R4年度	
	件数	賛助金	件数	賛助金	件数	賛助金	件数	賛助金	件数	賛助金
個人会員 @500以上	3,465	2,561,440	2,997	2,229,700	2,504	2,094,200	2,464	1,989,000	2,191	1,763,358
団体会員 3,000以上	178	585,500	185	612,873	155	615,100	141	529,500	137	518,000
特別会員 10,000以上	118	1,467,000	112	1,345,000	108	1,295,000	97	1,185,000	100	1,150,000
合計	3,761	4,613,940	3,294	4,187,573	2,767	4,004,300	2,702	3,703,500	2,428	3,431,358

(2) チャリティーゴルフ大会

年度	日にち	場所	参加者	参加費 収入	協賛 収入	大会 経費	収益額	備考
30	30.6.18 (月)	桜ヶ丘カントリークラブ	158人	332,000	370,600	72,497	630,103	協賛： 43団体、個人2人
	30.12.3 (月)	府中カントリークラブ	118人	592,500	234,600	374,450	452,650	協賛： 18団体、個人4人
R1	01.7.8 (月)	桜ヶ丘カントリークラブ	174人	352,000	343,800	97,235	598,565	協賛： 29団体、個人2人
	01.12.2 (月)	府中カントリークラブ	94人	515,000	162,800	363,720	314,080	協賛： 12団体、個人2人
R2	02.12.7 (月)	府中カントリークラブ	113人	348,000	250,600	123,212	475,388	協賛： 18団体、個人3人 (経費には中止した 6月桜ヶ丘大会の案内 通知経費含む)
R3	03.10.4 (月)	桜ヶ丘カントリークラブ	139人	296,000	324,800	135,310	485,490	協賛：29団体、個人 6人(当初予定7月 より延期)
	03.12.6 (月)	府中カントリークラブ	128人	384,000	279,100	146,182	516,918	協賛： 9団体、個人6人
R4	04.7.11 (月)	桜ヶ丘カントリークラブ	170人	342,000	385,000	125,724	601,276	協賛：26団体、個人 2人
	04.12.5 (月)	府中カントリークラブ	117人	360,000	240,400	99,757	500,643	協賛：14団体、個人 2人

(3) 寄付金の状況

単位：円

区 分	H30	R1	R2	R3	R4	
一般寄付	1,270,461	1,537,622	1,079,968	1,762,858	2,567,351	
指定寄付	ボランティア 基金	31,353	50,000	442,281	1,108,567	266,989
	ボランティア・ 市民活動支援	231,430	194,600	165,940	2,436,642	178,669
	小地域 福祉活動	45,879	87,538	26,205	17,057	68,121
	子ども・若者	-	-	-	-	2,045,767
	その他	-	-	272,912	30,000	10,000
合 計	1,579,123	1,869,760	1,987,306	5,355,124	5,136,897	

※その他は、用途を「地域活動支援センター」へ指定

5 助成事業

(1) 収支の状況

① 収入の状況

単位：円

区 分	令和4年度			令和3年度		
	予算現額	執行済額	執行率(%)	予算現額	執行済額	執行率(%)
合 計	4,734,000	3,813,988	80.57	5,401,000	4,410,139	81.65

② 支出の状況

単位：円

区 分	令和4年度			令和3年度		
	予算現額	執行済額	執行率(%)	予算現額	執行済額	執行率(%)
合 計	4,734,000	3,271,198	69.10	5,401,000	3,249,151	60.15

(2) 福祉団体補助

① 令和4年度実績

目的	団体へ補助することで、地域福祉の充実と発展を図る。	
補助団体	11 団体 ① サンクラブ多摩 (精神障がい者の家族会) ② 多摩市失語症友の会こだま (失語症当事者の会) ③ 多摩市視覚障害者福祉協会 (視覚障がい者当事者の会) ④ 多摩市手をつなぐ親の会 (知的障がい児者と保護者の会) ⑤ 多摩市遺族会 (遺族会) ⑥ 多摩市身体障害者福祉協会 (身体障がい者当事者の会) ⑦ 特定非営利活動法人くぬぎ (知的障がい児者の会) ⑧ 多摩市聴覚障害者協会 (聴覚障がい者当事者の会) ⑨ 多摩草むらの会 (精神障がい者と家族の会) ⑩ プレイルームゆづり葉の家 (知的障がい児者の会) ⑪ 多摩市ひとり親家庭の会ほほえみ (ひとり親家庭の会) ※上記団体以外に、新型コロナウイルスの影響による事業中止に伴い、1 団体 (特定非営利活動法人暉望) から全額返還となった (交付団体数は 12 団体)	
補助金額	総額 1,836,295 円	

② 福祉団体補助金の状況

単位：円

	30 年度	R1 年度	R2 年度	R3 年度	R4 年度
補助団体	13 団体	13 団体	9 団体	11 団体	11 団体
補助総額	2,197,282	2,182,880	1,503,470	1,482,093	1,836,295

(3) 老人クラブ連合会事業費補助金

連合会が行う事業に要する経費の一部を補助することにより、高齢者間の交流や親睦、連合会の活動の活発化を図る。

補助団体：多摩市老人クラブ連合会

補助金額：150,000 円(年額) ※事業費(芸能大会、車椅子講習、体力測定会等)に充当

※新型コロナウイルス感染拡大の影響による一部事業中止につき 35,000 円返還あり。

(4) 自治会・住宅管理組合ご近所ふくし応援助成金

自治会・住宅管理組合が行う地域での福祉活動(生活支援、見守り活動、地域のまつり、敬老事業、防災・文化活動等)に関する事業に対して助成することで、地域の福祉の振興を図る。

		30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
対象団体	自治会	92団体	92団体	92団体	95団体	97団体
	管理組合	100団体	110団体	110団体	109団体	109団体
	計	192団体	202団体	202団体	204団体	206団体
助成団体	自治会	30団体	26団体	7団体	6団体	13団体
	管理組合	35団体	35団体	4団体	7団体	7団体
	計	65団体	61団体	11団体	13団体	20団体
助成総額		1,407,550	1,175,293	250,000	330,017	390,000

単位：円

※平成30年度までは、「自治会・住宅管理組合福祉活動助成金」

※上限額：設立助成金：1団体5万円（区分1のみ対象）

活動助成金：区分1…1団体5万円

区分2…1団体2万円

区分3…1団体1万円

（平成30年度までは上限：1団体2万円）

※申請受付期間：1次（前期）（区分1～区分3）…4月18日～6月30日（交付決定9月）

2次（後期）（区分1～区分3）…7月1日～10月28日（交付決定12月）

※通常は1次募集を区分1～3、2次募集を区分1・2のみだが、コロナウイルス感染症の影響を鑑み、2次募集でも区分1～3を受付。

※令和4年度は、コロナウイルスの影響等で、交付決定23団体420,000円のうち、交付辞退が2団体20,000円、事業中止により全額返還した団体が1団体10,000円あり。

※助成団体（実績）：区分1（住民主体の継続的な福祉活動）：4団体

区分2（福祉に関する取り組みや福祉の啓発活動）：5団体

区分3（地域交流事業）：11団体

（辞退、全額返還については、上記の団体数及び助成総額からは除外）

6 地域福祉活動の推進事業

(1) 収支の状況

① 収入の状況

単位：円

区 分	令和4年度			令和3年度		
	予算現額	執行済額	執行率(%)	予算現額	執行済額	執行率(%)
合 計	5,130,000	3,545,255	69.11	5,370,000	3,597,302	66.99

② 支出の状況

単位：円

区 分	令和4年度			令和3年度		
	予算現額	執行済額	執行率(%)	予算現額	執行済額	執行率(%)
合 計	5,130,000	3,349,172	65.29	5,370,000	3,435,653	63.98

(2) 相談事業「福祉なんでも相談」

①令和4年度実績

開催会場 開催日時	① 愛宕かえで館 第2木曜日 (午後2時～3時30分・9回実施) ② ひじり館 第3金曜日 (午後1時30分～3時・10回実施) ③ 貝取こぶし館 第1月曜日 (午後1時30分～2時30分・11回実施) ④ 三方の森コミュニティ会館 第4水曜日 (午後1時30分～3時・10回実施) ⑤ トムハウス 第2火曜日 (午前11時～午後12時・7回実施) ※トムハウスが改修工事のため4月～8月は落合4-5集会所または落合3-2集会所で5回実施 ⑥ からきだ菖蒲館 第3火曜日 (午後2時～3時30分・10回実施) ⑦ 桜ヶ丘(サロン内) 第1木曜日 (午後2時～3時30分・10回実施) ⑧ 大栗川かるがも館 第4火曜日 (午後2時～3時30分・10回実施) ⑨ 諏訪福祉館 奇数月第3火曜日 (午前9時30分～11時・6回実施) ※7月、9月、3月は第3水曜日に変更
内 容	地域住民の身近な相談を関係する団体等と適切につなぐことで、問題の早期発見と予防に努めるとともに、本協議会や福祉サービスの情報提供及びPRを図る。 地域活動支援センターあんどや権利擁護センターと連携し、専門相談への対応を図る。 地域包括支援センターと共催で実施しているエリアもある。
対 象 者	市民全般
相談件数	相談件数 62件(高齢52件、障がい2件、その他8件) 事業参加者 158人(脳トレ、ミニ講座等) *前年度同期 59件(高齢51件、障がい1件、その他7件) 事業参加者 146人
連 携 者 (団体)	コミュニティセンター運営協議会、地域包括支援センター 権利擁護センター、帝京大学ボランティアサークル「あめんぼ〜ず」

②福祉なんでも相談の実施状況

	30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
相談件数	75	80	36	59	62

(3) ふれあい・いきいきサロン推進事業

①令和4年度実績

内 容	小地域福祉活動推進にあたり、住民主体で行う地域でのサロン活動の推進と支援を行う。 登録団体への支援内容 <活動方法・内容等の相談、情報提供、人材紹介、保険料の負担> <活動費の補助・・設立助成金 20,000円、活動助成金 月1回実施 5,000円、月2回または3回実施 10,000円、月4回以上または週1回以上実施 15,000円> ・保険加入団体106団体 ※団体数も同数
対象団体	市内の任意の市民団体
連携者 (団体)	サロン活動団体、地域包括支援センター、多摩市、民生・児童委員

②ふれあい・いきいきサロンの実施状況

	30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
登録団体数	89	105	102	104	106
助成団体数	73	89	84	80	76
助成総額 (単位：円)	815,000	1,125,000	960,000	955,000	915,000

③ふれあい・いきいきサロン説明会

開催日時	第1回 令和4年6月14日(火) 午前10時～11時 第2回 令和4年12月2日(金) 午前10時～11時
会 場	第1回 多摩市立市民活動・交流センター 創作室2 第2回 連光寺コミュニティ会館 第1会議室
内 容	ふれあい・いきいきサロン・近所de元気アップトレーニングの概要、登録の流れについて説明 第1回はたすけあい有償活動の説明会と合同開催
対象者	多摩市民
参加者	第1回 1人 第2回 1人

④サロン交流会

開催日時	第1回 令和5年2月15日(水) 午前10時00分～11時30分 第2回 令和5年2月27日(月) 午前10時00分～11時30分
会 場	第1回 永山公民館 集会室 視聴覚室 第2回 関戸公民館 大会議室 多摩ボランティア・市民活動センター 活動室3 打合せコーナーA・C
内 容	1)近年のサロン活動の動向の説明 2)交流(グループごとにくじ引きによりテーマを設定しながら情報交換) 3)その他 次年度の申請手続き、今年度の報告書について

対象者	ふれあい・いきいきサロンスタッフ 社協登録サロン：106、連携サロン5、市内地域包括支援センター
参加者	<p>第1回 サロン世話人18団体26人、地域包括支援センター5人（うち高齢者見守り相談窓口1人）</p> <p>第2回 サロン世話人20団体31人、地域包括支援センター5人（うち高齢者見守り相談窓口1人）</p>

令和4年度ふれあい・いきいきサロン等活動状況一覧

ア) 本協議会登録サロン

NO	エリア	サロン名	場 所	日 時	開始年度	助成金交付
1	①	サロン河原倶楽部	関戸2丁目河原クラブ	毎月第2土曜日	H21	無
2		この指とまれ	ポロン(関戸4丁目)	内容により異なる	H21	無
3		関戸みのり会	関戸第一クラブ(関戸5丁目)	隔月第1または第2木曜日	H25	無
4		一ノ宮けやきサロン	一ノ宮集会所(一ノ宮1丁目)	毎月第3水曜日	H27	有
5		関戸さくら会	関戸2丁目河原クラブ	毎月第1月曜日	H24	有
6		たまりばらんど	個人宅(一ノ宮4丁目)	毎月第3火曜日	H28	有
7		3丁目かわせみ会	関戸3丁目クラブ	毎週月曜日	H28	有
8		みんなの食堂 スプーン	一ノ宮児童館(一ノ宮1丁目)	毎月第3金曜日	H29	無
9		サロン・フランヴィーヴル	フランヴィーヴル聖蹟桜ヶ丘2階カフェ(関戸4丁目)	①毎月第1金曜日 ②毎月第3水曜日	H29	有
10		サロンまちの縁側	関戸2丁目河原クラブ	毎週木曜日	H30	有
11		地域交流スペース やどり木	共同住宅内(関戸2丁目)	①毎週水曜日 ②毎月第4金曜日	R1	有
12		マドカ・ストレッチ体操サロン	多摩中学校クラブハウス(関戸3丁目)、木の実公園集会所(連光寺3丁目)	毎週木曜日	R1	有
13		1・2・3・4いきいき体操	桜ヶ丘一ノ宮集会所(一ノ宮4丁目)	毎週木曜日	R1	有
14	②	連光寺志学サロン	連光寺志学サロン(連光寺2丁目)	①毎月5日・20日 ②毎週金曜日	H20	無
15		京王一の宮サロン	京王一の宮自治会集会所(連光寺4丁目)	①毎月第4木曜日 ②毎週木曜日	H21	有
16		にじの会	向ノ岡集会所(連光寺1丁目)	毎月10日	H21	有
17		ふれあいサロン「すずめのお宿」	エステート聖ヶ丘-3団地集会所	毎月第3木曜日	H22	無
18		聖ヶ丘2丁目東サロン“気まま会”	エステート聖ヶ丘2丁目東団地集会所/個人宅等	内容により異なる	H22	無
19		聖ヶ丘灯火サロン	聖ヶ丘4丁目集会所	①毎週月曜日 ②毎月第4土曜日	H23	有

NO	エリア	サロン名	場 所	日 時	開始年度	助成金交付
20	②	サロン・ボンジュール	聖ヶ丘2丁目集会所	①毎週水・日曜日 ②毎月第3火曜日	H24	有
21		いきいきローズ	木の実公園集会所 (連光寺3丁目)	毎週月曜日	H27	有
22		木の実サロン	木の実公園集会所 (連光寺3丁目)	毎月第2火曜日	H27	有
23		聖ヶ丘ふれあいサロン	多摩ニュータウン聖ヶ丘 団地集会所 (聖ヶ丘1丁目)	毎週火曜日	H11	有
24		連光寺東部 健幸サロン わわわ(我和輪)	連光寺東部集会所 (連光寺6丁目)	毎週木曜日	H29	有
25		サロンひなの会	連光寺志学サロン (連光寺2丁目)	毎月第1・3水曜日	H30	有
26		ふらっと亭	ひじり館(聖ヶ丘2丁目)	毎月第2木曜日	H30	無
27		金聖会	聖ヶ丘2丁目集会所	毎週金曜日	H30	有
28		聖ヶ丘2丁目-西 ニコ ニコ・サロン	エステート聖ヶ丘-2 西 団地集会所 (聖ヶ丘2丁目)	①第1・3日曜日 ②第2・4火曜日	R1	有
29		近トレ丘の上	関戸自治会南田倶楽部 (聖ヶ丘1丁目)	毎週火曜日	R2	有
30		③	桜ヶ丘まちネット にこにこサロン	桜ヶ丘集会所 (桜ヶ丘1丁目)	毎週木曜日	H24
31	サロン かなかな		桜ヶ丘集会所 (桜ヶ丘1丁目)	毎月第1月曜日	R3	有
32	④	もぐさ井戸端サロン	三方の森コミュニティ会 館(和田)	毎月第2水曜日	H15	無
33		三方の森 ふれんど広場	三方の森コミュニティ会 館(和田)	毎月第2土曜日	H28	有
34		ラダー三方の森	三方の森コミュニティ会 館(和田)	毎月1・3火曜日	H30	有
35		ふらっと東寺方	東寺方住宅コミュニティ サロン	毎週水曜日	H30	有
36		東寺方健やかサロン	東寺方自治会会館	毎月第1月曜日	R1	無
37		いなりづかサロン	和田稲荷塚集会所(百草)	毎週木曜日 ※第5週は除く	R4	無
38	⑤	サロンかいどりやま	グリーンヒル貝取1-40 団地集会所	①毎月第1・3・ 4・5水曜日 ②毎月第2土曜日	H23	無
39		はなもものつどい	グリーンヒル貝取1-28 団地集会所	毎月第2木曜日(不 定期)	R1	有
40		健康麻雀友の会	多摩市立市民活動・交流 センター(貝取1丁目)	毎週土曜日 他	H17	無
41		いきいきサロン夢の会	多摩市立市民活動・交流 センター(貝取1丁目)	毎週火曜日	H30	有

NO	エリア	サロン名	場 所	日 時	開始年度	助成金交付
42	⑤	俳研サロン	コンセボール 21 多摩集会所 (愛宕 4 丁目)	毎月第 3・4 水曜日	R4	有
43		翠会	大貝戸集会所 (乞田)、乞田貝取ふれあい館	毎週木曜日	R4	無
44	⑥	やまももの会	ホームタウン諏訪集会所 (諏訪 1 丁目)	毎月第 3 土曜日	H16	有
45		ひまわりの会	個人宅(諏訪 2 丁目)	①毎月第 1 木曜日 ②毎月第 3 木曜日	H26	有
46		F 棟みまもりサポート	ブリリア多摩ニュータウン F 棟 (諏訪 2 丁目)	毎月第 3 木曜日	H28	無
47		いきいき健賢会	ブリリア多摩ニュータウン C 棟マルチルーム (諏訪 2 丁目)、諏訪第 3 公園 (諏訪 2 丁目)	毎月第 1・3 火曜日	H29	有
48		なごやか健幸体操の会	グリーンメゾン諏訪集会所 (諏訪 3 丁目)	毎週火・木曜日	H30	無
49		はなみずき近トレクラブ	諏訪地区市民ホール (諏訪 5 丁目)	①毎月第 1・2・4 月曜日 ②毎月第 3 火曜日	H30	有
50		のんびり馬引沢	馬引沢自治会館 (馬引沢 2 丁目)	毎月第 4 土曜日	R1	有
51		あんずの会	永山ハウス集会所 (諏訪 1 丁目)	毎月第 2 月曜日	R3	無
52		さくらんぼの会 アダプト班	ブリリア多摩ニュータウン D 棟西側(諏訪 2 丁目)	毎月第 2・4 土曜日	R3	有
53		ブリリアカフェ	ブリリア多摩ニュータウン C 棟パーティールーム (諏訪 2 丁目)	毎月第 1 日曜日、毎月第 3 土曜日	R4	有
54		⑦	永山 3-1 ふれあい	永山 3-1 集会所	毎月第 3 木曜日	H15
55	瓜生サロン		瓜生集会所(永山 6 丁目)	①毎月第 3 火曜日 ②毎月 5 日	H21	有
56	いきいきサロン・メゾネット永山		メゾネット永山 5 団地管理組合法人集会所	毎月第 1 火曜日	H24	無
57	サロン 5-21		タウンハウス永山 5 住宅管理組合集会所	①毎月第 1 木曜日 ②毎週月曜日	H27	有
58	ネットワーク永山「体操サロン」		諏訪老人福祉館 他	毎月第 2 水曜日	H28	無
59	すいすいサロン		永山東集会所 (永山 4 丁目)	毎週水曜日 ※第 5 週は除く	H30	有
60	Mayu サロン		多摩市音訳グループ 繭事務所 (永山 2 丁目) 他	毎月第 4 土曜日	H30	有
61	瓜生元気アップトレーニング		瓜生集会所(永山 6 丁目)	毎週月曜日	H30	有
62	永山ハイツ体操サロン		永山ハイツ集会所 (永山 2 丁目)	毎週月曜日	H30	無
63	エステート永山-3 近トレ教室		エステート永山 3 団地集会所	毎週月曜日	R1	有

NO	エリア	サロン名	場 所	日 時	開始年度	助成金交付
64	⑦	3の2近トレサロン	永山3-2集会所	毎週水曜日	R1	有
65		アイ♪ビ	個人宅(永山2丁目)	毎週木・日曜日	R1	有
66		永山3丁目 近トレクラブ	西永山福祉施設多目的室(永山3丁目)	毎週火曜日	R3	有
67	⑧	月曜会	グリーンメゾン貝取-2集会所	毎月第1・3月曜日	H1	有
68		豊ヶ丘5-3懇話会	豊ヶ丘5-3集会所	内容により異なる	H9	無
69		碁楽会	豊ヶ丘地区市民ホール第2会議室(豊ヶ丘5丁目)	毎週月・水・金曜日	H15	無
70		豊ヶ丘4-1ふれあいおしゃべりサロン	豊ヶ丘4-1集会所	毎月第2水曜日	H16	有
71		ふれあいサロン 『木の葉』	豊ヶ丘5-1管理組合集会所	毎月第3金曜日	H18	無
72		サロン・コスモ	コスモフォーラム多摩コミュニティ棟内(豊ヶ丘3丁目)	毎月第3金曜日	H24	無
73		茶ロン つむぎ	エステート貝取-2集会所	①1か月前にスタッフ会議で決定 ②毎週金曜日	H25	有
74		南野カフェ	パルシステム東京 多摩センター交流ルーム(南野1丁目)	毎週月曜日	H28	有
75		いきいきサロン「げんき会」	ゆたか庵(豊ヶ丘4丁目)	毎月第3土曜日	H28	有
76		サロン・ふれあい貝取	貝取こぶし館(貝取4丁目)	毎月第2土曜日	H29	無
77		コスモ近トレ	コスモフォーラム多摩コミュニティ棟内(豊ヶ丘3丁目)	毎週水曜日	H30	有
78		コーヒータイム	エステート豊ヶ丘2-6集会所	毎月第3水曜日	R1	有
79		元気アップサロン	貝取こぶし館(貝取4丁目)	毎週水曜日	R1	有
80		GM2シニア会	グリーンメゾン貝取2集会所	①毎週火曜日 ②毎週水曜日 ③毎月1回日曜日	R1	有
81		メゾン豊ヶ丘-2老桜の会	メゾン豊ヶ丘2-15メゾン豊ヶ丘-2団地集会所	毎週金曜日	R4	無
82	⑨	グリーンメゾン鶴牧3環の会	グリーンメゾン鶴牧3集会所	①毎週木曜日 ②第1・3土曜日、 ③毎月第2日曜日	H15	有
83		ブリリアシニアの会	ブリリア多摩センターパーティールーム(鶴牧3丁目)	毎月第3水曜日	H20	有

N0	エリア	サロン名	場 所	日 時	開始年度	助成金交付
84	⑨	落合4の3園芸有志会	落合4-3集会所	毎週土曜日 ※第5週は除く	H22	有
85		鶴三会	タウンハウス鶴牧3丁目 団地集会所	毎月第3木曜日	H24	有
86		木曜サロン	落合3-4集会所	①毎週木曜日 ②毎月第4木曜日	H25	有
87		鶴5東町会親睦会	鶴牧5丁目集会所	毎週月曜日	H25	有
88		落合4の3おはなし会	落合4-3集会所	毎月第2・4火曜日	H27	有
89		喫茶くすのき	タウンハウス鶴牧4集会所	毎月第1木曜日	H27	有
90		ふれあい サロン 結	落合4-4集会所	毎週水曜日	H27	無
91		おしゃべり広場	グリーンコープ落合団地 集会所(落合6丁目)	①毎月第1火曜日 ②毎月第2・3火曜日 ③毎月第4月曜日	H28	有
92		南野3丁目ふれあいサロン	南野3丁目集会所	毎月第3土曜日 ※その他不定期で 開催	H28	無
93		たまデフサロン	総合福祉センター障がい 者団体共用室内(南野3 丁目) 他	毎月第4月曜日	H29	有
94		コミュニティサロンあい あい	落合3丁目住宅集会所	毎週木曜日	H30	有
95		みんなで元気はつらつ会	タウンハウス落合5集会所	毎週金曜日	H30	有
96		オーベル近トレクラブ	オーベルグランデュオ多 摩中央公園コミュニティ スクエア(落合2丁目)	毎週火曜日	H30	有
97		鶴5ふれあいサロン	鶴牧5丁目集会所	①毎月第1・3水曜日 ②毎月第2・4土曜日	R1	有
98		OGB会(落合生き生き サロン)	落合Dブロック集会所 (落合3丁目)	毎週月曜日	R1	有
99		ブリリア 健康体操クラブ	ブリリア多摩センターエ クササイズルーム (鶴牧3丁目)	毎週木曜日	R3	有
100		ながら運動の会	東落合小学校多目的ホー ル(落合3丁目)、落合 3-4集会所	毎週土曜日	R3	有
101	エステートサロン	エステート落合5-8集会所	毎月第2火曜日	R4	有	
102	⑩	ハイライズタウン親睦の 会	ハイライズタウン鶴牧6 集会所	毎月第2日曜日	H19	有
103		アルテ体操の会	アルテヴィータマンション 内コミュニティリビング グ(鶴牧1丁目)	毎週水曜日	H30	有

NO	エリア	サロン名	場 所	日 時	開始年度	助成金交付
104	⑩	中沢近トレの会	エステート中沢集会所 (中沢2丁目)	毎週火・水曜日	R1	有
105		中沢一丁目団地スマート エクササイズクラブ	中沢一丁目団地集会所 (中沢1丁目)	毎週月曜日 ※第5週は除く	R4	有
106		近トレゆいま〜る	ゆいま〜る中沢施設内 (中沢2丁目)	毎週木曜日	R4	無

イ) 連携サロン(社協サロン登録をおこなわず活動しているサロン。社協は、サロン活動における相談支援・サロン交流会などにおける情報交換の機会の提供などの連携を図っている)

NO	エリア	サロン名	場 所	日 時	開始年度	備 考
1	⑥	カレーの日(馬引沢団地ボランティアクラブ)	馬引沢団地自治会館 (諏訪1丁目)	毎月第2水曜日	H9	
2	⑦	ラウンジ永山	永山西集会所Eラウンジ (永山4丁目)	毎週火曜日	H30	元社協登録サロン
3	⑧	みのりの会	貝取2-10 団地集会所	毎月第1木・第3金曜日	H18	元社協登録サロン
4	⑨	落合3-2自治会ふれあいサロン	落合3-2自治会集会所	毎週月・火曜日	H8	
5		三々五々の会	落合3-3集会所	毎月第1水曜日	H19	元社協登録サロン

(4) 小地域福祉活動推進事業

地域住民ニーズの把握や住民自らが福祉課題を共有化し、それぞれの地域の個別課題の解決に向けて協議する場として、コミュニティエリア内の自治会・住宅管理組合、民生委員、地域包括支援センター、福祉団体ボランティア、コミュニティセンター運営協議会や社協役員とともに「地域福祉推進委員会」を設置し、地域住民がさまざまな地域課題解決に取り組めるよう支援する。

① 令和4年度実績（小地域福祉活動状況）

エリア名	小地域福祉活動の進捗状況
<p>第1エリア (関戸・一ノ宮)</p>	<p><関戸エリア> ■まち育てネットワーク・関一 *委員会：6回開催 ：延べ113団体119人参加 ※第3回は ZOOM 開催 *世話人会：6回開催</p> <p>[定例の委員会内での取り組み] ※定例の委員会では、コロナ禍の地域活動状況と情報交換、グループワークを実施。 ・グループワークのテーマ 第1回 「多様な方々との新たな出会いをどう作っていくか。そのために何をすべきか」 第2回 「前回のグループワークの議題を掘り下げる」 第3回 「防災企画でやりたいこと、各自の防災の取組みについて」 第4回 「認知症の話聞いて」 第5回 「最近、地域活動等で夢中になっていること」 第6回 「今後、委員会等で実施したいこと」</p> <p>[委員会企画事業] <まち歩き> ・11月「小野路宿、多摩の里山コース」14人参加 <防災企画第5弾> ・2月「防災について学ぶ ご近所関係も深まる 防災講座」(防災ゲーム「E V A G」) 34人参加 *広報紙：「まちネット・関一だより」 ・第13号 [6月] 800部発行 *多摩第一小学校放課後教室ボランティア協力： ・11月：竹とんぼ ・12月：竹とんぼ ・2月：凧あげ *地域事業（関戸楽縁祭）への参加及び協力 ・11月 会場：関戸河原クラブ *新規サロン登録：なし</p> <p><一ノ宮エリア> *地域事業（ふれあい・おとなりサンデー）への参加及び協力 ※コロナ禍のため中止 *一ノ宮自治会への協力 ・社協について（9月自治会役員会） ・自治会主催イベント（歳末たすけあいチャリティまつり＝12月開催への企画団体からの支援、参加、協力）</p>

<p>第2エリア (連光寺・聖ヶ丘)</p>	<p>■連光寺・聖ヶ丘地域福祉推進委員会 *委員会：6回開催 ：延べ158団体240人参加 ※第2、3、4回委員会はひじり館、本村集会所、連光寺コミュニティ会館、Zoom 参加に分散して開催</p> <p>*世話人会：11回開催 ※第5回世話人会は会場と ZOOM 参加で開催 *オリエンテーション：1回開催 11団体14人参加 ※ひじり館と Zoom 参加に分散して開催</p> <p>[定例の委員会内での取り組み] ・各団体からの報告・情報交換[5、7、9、11、1、3月] ・連光寺コミュニティ会館について[5月] ・自治会の現状と課題～取り組みや担い手の発掘について[7月、9月] ・火災に関する注意喚起、多摩市消防団の活動内容と担い手について[1月] ・民生・児童委員の活動内容と課題について[3月] ※5、1、3月はひじり館と Zoom 参加に分散して開催 ※7月はひじり館と本村自治会集会所、Zoom 参加に分散して開催 ※9、11月はひじり館と連光寺コミュニティ会館、Zoom 参加に分散して開催</p> <p><学校連携グループ> ・さくら運送 ～多摩桜の丘学園・ビッグエー連携買い物支援プロジェクト～ 水曜日実施(回数は月により異なる)令和4年度は4月～3月(8月除く)開催。 17回実施、年間118件対応</p> <p>[委員会企画事業] ・多摩大学の先生がお答えするパソコンお困り相談会 2回実施、延べ19人参加</p> <p>*各部会の活動 ○広報部会 ・広報紙「ふくしポスト」 第31号 [5月] 3,500部発行 第32号 [9月] 3,500部発行 第33号 [1月] 3,500部発行 ○事業部会 講演会 「終活ってなあに？」※コロナ禍のため令和3年度事業を延期して実施 ひじり館61人、Zoom 9人 合計70人参加 「元気なうちに知っておきたい在宅医療のこと」 ひじり館68人、Zoom 6人 合計74人参加</p> <p>*聖ヶ丘コミュニティセンター運営協議会との連携 ・福祉なんでも相談の実施(ひじり館)10回実施。 *新規サロン登録：なし</p>
<p>第3エリア (桜ヶ丘)</p>	<p>■桜ヶ丘まちネット *委員会：3回開催 ：延べ41団体62人参加</p> <p>*世話人会：12回開催 [定例の委員会内での取り組み] ・各団体からの報告・情報交換[6、10、3月] ・テーマ別グループ討議[10月] (①住民同士の交流の機会を増やすには ②地域団体の活性化に向けて)</p>

	<p>[委員会企画事業]</p> <p>*普及啓発講座： 「最良の看取りをするために」 [5月] 参加者：45人（うちオンライン5人） 協力：地域包括支援センター 共催：桜ゆうゆう会 「笑って学ぶ！終活講座」 [2月] 参加者：37人（うちオンライン2人） 共催：桜ゆうゆう会</p> <p>*広報紙：「さくらの丘だより」 第23号 [5月] 2,900部発行 第24号 [12月] 2,900部発行</p> <p>*サロン活動にこにこサロン（毎週木曜） 46回開催 延べ701人参加（うち新規20人） ・福祉なんでも相談の実施（にこにこサロン内）：10回実施 （連携：西部地域包括支援センター）</p> <p>*桜ヶ丘コミュニティセンター運営協議会との連携 ・「ゆう桜ヶ丘夏まつり」への運営の協力、コロナ禍で中止</p> <p>*新規サロン登録：なし</p>
<p>第4エリア （東寺方、和田、百 草、落川）</p>	<p><百草団地周辺エリア></p> <p>■三方の森ふれんど</p> <p>*委員会：6回開催 ：延べ89団体117人参加</p> <p>*世話人会：12回開催 [委員会企画事業]</p> <p>*定例食事会：コロナ禍で食事会を中止。代替案として会場にて弁当配付を行 った。10回実施 参加者：平均35人（令和4年度新規21人） 連携：愛生苑</p> <p>*なな山緑地見学会：世代間交流 1回 5月実施。 参加者：47名（大人28名、児童9名） 連携：なな山緑地の会ボランティア、児童館</p> <p>*スマホ相談会：9月実施。 参加者：14名 連携：帝京大学ボランティアサークル「あめんぼ〜ず」、ふれんど広場</p> <p>*帝京大学構内見学ツアー：11月実施。 参加者：14名 連携：ボランティアサークル「あめんぼ〜ず」、ふれんど広場、児童館</p> <p>*ふれんど交流会：コロナ禍のため、ふれんどランチの代替案として飲食を伴 わない形で子どもと大人の交流事業として実施。 参加者：48人（大人37名、児童11名） 連携：百草ことぶき会、ふれんど広場、児童館</p> <p>*普及啓発講座： 「落語で笑って学ぶ！エンディングノート」 [7月] 参加者：21人 「元気な内にできる終活準備」 [9月] 参加者：24人</p> <p>*広報紙：「三方の森ふれんどだより」 第12号 [10月] 1,300部発行 第13号 [3月] 1,300部発行</p> <p>*サロン活動 三方の森ふれんど広場（第2土曜日）10回実施</p> <p>*その他 ・福祉なんでも相談の実施（三方の森コミュニティ会館）：10回実施。 （連携：西部地域包括支援センター） ※高齢者を対象の脳トレ実施。</p>

	<p><東寺方エリア></p> <ul style="list-style-type: none"> ・自治会夏祭り コロナ禍で中止 <p><和田エリア></p> <ul style="list-style-type: none"> ・福祉なんでも相談（和田・東寺方コミュニティセンター運営協議会共催・連携：西部地域包括支援センター） 10回実施。 脳トレ実施 <p>*新規サロン登録：いなりづかサロン</p>
<p>第5エリア (愛宕・乞田)</p>	<p><愛宕エリア></p> <p>■ほほえみネットワーク・愛宕</p> <p>*委員会：2回開催 ：64人参加</p> <p>*世話人会：12回開催</p> <p>[定例の委員会内での取り組み]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「落語で学ぶ エンディングノート」 [11月] 40人参加 ・まち歩き「まち歩き&りんご狩り」（日向園） [11月] 24人参加 ・ほほえみサミット コロナ禍により延期 [3月] <p>[委員会企画事業]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アーケードカフェ 実施（会場：愛宕第一住宅商店街内「コミュニティサロン悠々」） 11回開催、述べ193人参加 <ul style="list-style-type: none"> 第1回 4月 17人 第2回 5月 30人 第3回 6月 15人 第4回 7月 5人 第5回 8月 ※中止 第6回 9月 19人 第7回 10月 18人 第8回 11月 13人 第9回 12月 13人 第10回 1月 20人 第11回 2月 20人 第12回 3月 23人 ・スマホ講座（会場：愛宕第一住宅商店街内「コミュニティサロン悠々」） 4回開催、述べ21人参加 <ul style="list-style-type: none"> 【第1クール】 参加者 19人 <ul style="list-style-type: none"> 第1回 10月 10人 第2回 11月 5人 第3回 1月 4人 【第2クール】 参加者 12人 <ul style="list-style-type: none"> 第1回 3月 12人 <p>※第2回、第3回は令和5年度に実施予定</p> <p>*広報紙：「ほほえみ通信」 発行なし ※活動案内等は愛宕かえで館だより掲載することで、情報を発信した。</p> <p>*愛宕コミュニティセンター運営協議会との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・福祉なんでも相談の実施：10回実施 <p>*新規サロン登録：俳研サロン、翠会</p> <p>*エリア変更サロン（第7エリアから移転）：健康麻雀友の会、いきいきサロン夢の会</p>

<p>第6エリア (馬引沢・諏訪)</p>	<p>■馬引沢・諏訪地域福祉推進委員会 *委員会：6回開催 ：延べ103団体144人参加 *世話人会：12回開催 *オリエンテーション：1回開催 9団体11人参加 [定例の委員会内での取り組み] *本年度のテーマ 「馬引沢・諏訪地域の連携強化 ～共有から協働へ～」 ・コミュニティスクールってなあに？～これからの学校づくり～、質疑応答・意見交換[4月] ・グループワーク「地域の見守りについて考えよう！」[6月] ・グループワーク「地域の見守りについて考えよう！」情報交換とまち歩きのポイント検討[8月] ・馬引沢・諏訪たんけん隊[10月] ・馬引沢・諏訪たんけん隊の振り返りと第2弾たんけん隊に向けてグループワーク[12月] ・第2弾たんけん隊に向けてグループワーク[2月]</p> <p>[委員会企画事業] ・見守りウォーキング [毎月第3木曜日] 11回実施 *広報紙：「ささえ愛」 第15号「第4回馬引沢通り・諏訪名店街オンラインウォークラリー」報告 4,500部 [5月発行] 第16号「見守りウォーキング」「諏訪1丁目・馬引沢通り安全マップ」「地域の人物紹介」 3,000部 [1月発行]</p> <p>*その他 ・住民懇談会 「ご近所ちょこっと座談会～ゴミ出しサポート編」 ①グリーンメゾン諏訪団地（諏訪3丁目） 3回開催、延べ住民20名、包括1名参加。 ・アンケート調査報告、ゴミ出しに関する意見交換</p> <p>*諏訪福祉館との連携： 福祉なんでも相談の実施 6回 *新規サロン登録：ブリリアカフェ</p>
<p>第7エリア (永山)</p>	<p>■福祉のネットワーク永山 *委員会：6回開催 ：延べ131団体156人参加 *世話人会：12回開催 [定例の委員会内での取り組み] ・コロナ3年目の各地域の取り組み [5月] ・事例から地域の見守りを考える [7月] ・困りごとアンケートと支えあいの仕組みづくり [9月] ・子どもの現状と地域での見守り [11月] ・中部高齢者見守り相談窓口より見守り活動の現状 [1月] ・今年度の振り返りと次年度に向けて・高齢者あんしんサポート事業について [3月] [委員会企画事業] *交流 ・「まち歩き」開催（毎月第2・最終火曜日）</p>

	<p>*見守り ・健康さんぽ（毎週月曜日）</p> <p>*健康づくり ・ネットワーク永山「体操サロン」（毎月第2水曜日）</p> <p>*広報紙：「ふくしのネットワーク永山だより」（季刊発行） 第44号 [4月] 1,400部発行 第45号 [6月] 1,700部発行 第46号 [10月] 1,500部発行 第47号 [1月] 1,500部発行</p> <p>*ネットワークづくり ○「瓜生小地区防災組織担当者連絡会」5回開催 ・避難所運営訓練実施[11月] ○「永山小・多摩永山中地区防災情報連絡会」3回開催 ・合同防災訓練実施 [11月]</p> <p>*新規サロン登録：なし</p>
<p>第8エリア （貝取・豊ヶ丘）</p>	<p>■ネットワーク貝取・豊ヶ丘きずな</p> <p>*委員会：6回開催 ：延べ138団体196人参加</p> <p>*世話人会：12回開催 〔定例の委員会内での取り組み〕 ・地域を知ろう～貝取・豊ヶ丘の現状 [5月] ・自治会・管理組合連絡会 [7月] ・防災と見守り～事例紹介 [9月] ・72時間ゲーム～きずな独自の防災図上演習 [11月] ・地域でいつまでも暮らし続けるために～地域包括支援センターから [1月] ・令和4年度の振り返り [3月]</p> <p>*広報紙：「きずな通信」（年1回発行） ・第5号 [4月] 900部</p> <p>*貝取コミュニティセンター運営協議会との連携 ・福祉なんでも相談の実施：11回実施。 相談件数：9件 ・元気チェックへ協力：11回実施</p> <p>*豊ヶ丘健幸つながるひろばの運営検討 社会福祉法人楽友会と連携。 住民サポーターへの支援</p> <p>*新規サロン登録：メゾン豊ヶ丘ー2 老桜の会</p>
<p>第9エリア （鶴牧・落合・南野）</p>	<p>■ふれあいトムとも</p> <p>*委員会：6回開催 ：延べ122団体 181人参加。</p> <p>*世話人会：11回開催</p> <p>〔定例の委員会内での取り組み〕 ・鶴牧・落合・南野地区の地域情報・ふれあいトムともの活動紹介、出席者自己紹介[6月] ・地域の社会資源を知り新たなつながりを！①NPO 法人アピユイ発達相談支援センターCORONOAH②NPO 法人わこうど未来樹の紹介[7月] ・地域の防災について～東京都の新たな被害想定を読み解く～[9月] ・避難所の変化、在宅避難、地域でどう取り組む？[11月] ・災害用マンホールトイレの設置体験・見学、防災安全課による講話[1月] ・令和4年度の振り返り、令和5年度の取り組みについて[3月]</p> <p>*広報紙：「トムともだより」 第15号 [10月] 2,000部発行</p>

	<p>第16号 [3月] 2,000部発行</p> <p>*鶴牧・落合・南野コミュニティセンター運営協議会との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・福祉なんでも相談の実施（トムハウス）：7回実施。 ※令和4年4月～8月はトムハウス改修工事のため、落合3-2集会所、落合4-5集会所（隔月）にて福祉なんでも相談を実施。 （連携：多摩センター地域包括支援センター） ・相談件数：4件 <p>*新規サロン登録：エステートサロン</p>	
第10エリア （唐木田・中沢・山王下）	<p>■ほっとネットしょうぶ</p> <p>*委員会：5回開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ：延べ86団体、137人参加 ※コロナウイルスの影響で1回中止 <p>*世話人会：13回開催</p> <p>[定例の委員会内での取り組み]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・唐木田、中沢、山王下等の地域状況、ほっとネットしょうぶについて [4月] ・地域の資源紹介「社会福祉法人楽友会の事業紹介」 [6月] ・大妻女子大学連携「防災について」 [10月] ・地域の中での支えあいの仕組みづくり（多摩市百草団地自治会の取り組み紹介） [12月] ・災害時の取り組みを知る（落合給水所での給水体験、河北医療財団の災害時の取り組み） [2月] <p>*広報紙：ほっとネットしょうぶ通信</p> <ul style="list-style-type: none"> 第9号800部 [10月] 発行 第10号800部 [3月] 発行 <p>*唐木田コミュニティセンター運営協議会との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・福祉なんでも相談の実施（からきだ菖蒲館）：10回実施。 ・相談件数：5件 （連携：多摩センター地域包括支援センター） <p>*唐木田自治会との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・唐木田周辺住民を対象とした通いの場の創出に向け、ウォーキングやおしゃべり会を計11回実施。 <p>*新規サロン登録：中沢一丁目団地スマートエクササイズクラブ、近トレゆいま〜る</p>	
<p>※地域福祉推進委員会の主なメンバー（民生委員、地域包括支援センター、自治会・住宅管理組合、コミュニティセンター運営協議会、サロン、老人クラブ、青少年問題協議会地区委員会、地域防犯・防火活動組織、大学（企業）、事業所など）</p>		
地域福祉推進委員会情報交換会 （地域福祉推進委員会連絡会）	<p>下記参照</p>	
<p>地域福祉普及啓発講座</p> <p>※地域福祉推進委員会情報交換会も兼ねて開催</p>	開催日時	令和4年12月10日（土）10時～11時30分
	会場	参加者はZoomのみ 職員とアドバイザーはヴィータ8階第2会議室より Zoom
	内容	Zoomでトーク！「ご近所活動のイロハ ^{ハッシュタグ} #自治会・理事会役員さんを応援し隊」
	対象者	市内在住・在勤、どなたでも
	参加者	参加者2人（自治会役員2人）、アドバイザー3人 合計5人

7 生活支援体制整備事業

(1) 契約状況等

	R4年度	R3年度
契約年月日	令和4年4月1日	令和3年4月1日
契約金額	17,943,000円	18,085,000円
契約変更年月日	令和5年1月23日	令和4年1月7日
契約金額	17,639,000円	17,784,000円

(2) 収支の状況

① 収入の状況

単位：円

区分	R4年度			R3年度		
	予算現額	執行済額	執行率(%)	予算現額	執行済額	執行率(%)
合計	17,639,000	17,639,000	100	17,784,000	17,784,000	100

② 支出の状況

単位：円

区分	R4年度			R3年度		
	予算現額	執行済額	執行率(%)	予算現額	執行済額	執行率(%)
合計	17,639,000	17,551,127	99.5	17,784,000	17,687,405	99.5

(3) 生活支援コーディネーターの活動状況

① 活動件数

	30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
個別支援	129	175	134	147	129
地域支援	2,449	2,026	1,628	1,068	1037

*R3年度から集計方法をケースごとに変更（H29～R2は関わった職員数で集計）

② 相談・対応・事業内容

		居場所	見守り	防災・防犯	介護予防	生活支援	認知症	地域行事	制度	その他
個別支援	30年度	19	12	2	24	64	25	1	18	10
	元年度	18	28	5	41	71	26	3	36	26
	2年度	27	34	0	24	62	15	2	20	19
	3年度	42	51	2	40	40	31	1	19	19
	4年度	47	20	2	46	34	10	0	17	31
地域支援	30年度	1,200	1,055	462	817	364	341	415	63	147
	元年度	926	842	359	610	451	285	257	90	164

	2年度	780	691	261	594	366	240	128	55	167
	3年度	446	416	159	288	187	138	84	54	223
	4年度	543	541	185	377	160	137	79	42	106

③ 連携先・繋ぎ先

		多摩市	警察 消防	専門 機関	包括	協議 体	企業 社福	学校 関係	地域 団体	コミ セン	民生 委員	NPO・ ボラ	社協 内	その 他
個別支援	30年度	14	1	13	47	7	2	1	7	4	3	5	12	2
地域支援	30年度	476	35	247	486	120	302	258	821	295	526	403	150	53

		多摩市	専門 機関	医療 機関	包括	協議 体	企業・ 社福・ NPO	学校 関係	サロ ン	老人 クラブ	自治会・ 管理組 合	自主 防	コミ セン・ 福祉館	民生 委員	ボラ ンティ ア	社協 内	その 他
個別支援	R1年度	22	17	1	64	0	20	3	5	2	5	0	4	9	5	10	4
	R2年度	26	21	6	44	1	6	1	7	0	6	0	1	1	3	11	3
	R3年度	22	14	11	72	3	16	3	15	0	4	1	3	9	6	9	1
	R4年度	15	4	10	70	1	3	0	34	1	1	1	12	2	10	7	6
地域支援	R1年度	347	177	22	394	90	268	189	415	226	320	132	283	349	195	110	52
	R2年度	155	79	9	146	24	270	188	426	108	278	27	225	228	203	84	43
	R3年度	209	42	9	208	45	266	150	243	71	228	39	126	164	171	25	54
	R4年度	217	70	36	298	29	163	129	262	100	237	40	142	183	227	28	43

*R1年度より集計項目の変更を行った

*R3年度から集計方法をケースごとに変更（H29～R2は関わった職員数で集計）

④ 具体的な取り組み内容

※地域福祉コーディネーターと兼務のため、地域福祉推進委員会での活動は上記参照

ア) 介護予防の通いの場づくり

○近所de元気アップトレーニング(近トレ) 令和4年度 活動状況一覧(令和5年3月31日現在)

※助成金は立ち上げから4回目以降は交付なし。

NO	エリア	団体名	場 所	日 時	近トレ 登録年 度	助成金交 付
1	①	サロンまちの縁側	関戸2丁目河原クラブ	毎週木曜日 14:00～15:30	H30	無
2		1・2・3・4いきいき体操	桜ヶ丘一ノ宮集会所(一ノ宮4丁目)	毎週木曜日 10:00～12:00	R1	無
3		3丁目かわせみ会	関戸3丁目クラブ	毎週月曜日 10:00～11:00	R2	有
4	②	連光寺東部健幸サロン わわわ(我和輪)	連光寺東部集会所(連光寺6丁目)	毎週木曜日 13:00～15:00	H30	無
5		連光寺志学サロン	連光寺志学サロン(連光寺2丁目)	毎週木曜日 13:30～15:00	H30	無
6		聖ヶ丘灯火サロン	聖ヶ丘4丁目集会所	毎週月曜日 8:45～9:15	H30	無

7		金聖会	聖ヶ丘2丁目集会所	毎週金曜日 10:00～11:30	H30	無
8		京王一の宮サロン	京王一の宮集会所（連光寺4丁目）	毎週木曜日 14:00～15:00	R1	無
9		近トレ丘の上	関東自治会南田倶楽部 （聖ヶ丘1丁目）	毎週火曜日 10:30～12:00	R2	有
10	④	ふらっと東寺方	東寺方住宅コミュニテ ィサロン	毎週水曜日 14:00～16:00	H30	無
11		いなりづかサロン	和田稲荷塚集会所 （百草）	毎週木曜日 10:30～11:30	R4	有
12	⑤	サロンかいどりやま	グリーンヒル貝取1-40 団地集会所	毎週水曜日 9:30～11:30	H30	無
13		いきいきサロン夢の会	多摩市立市民活動交流 センター	毎週水曜日 14:00～14:30	H30	無
14		翠会	大貝戸集会所（乞田）、 乞田貝取ふれあい館	毎週木曜日 10:30～12:00	R4	有
15	⑥	はなみずき近トレクラブ	諏訪地区市民ホール （諏訪5丁目）	毎週月曜日 10:30～12:00	H30	無
16		なごやか・健幸体操の会	グリーンメゾン諏訪集 会所（諏訪3丁目）	毎週火・木曜日 10:00～12:00	H30	無
17	⑦	ラウンジ永山	永山西集会所Eラウン ジ（永山4丁目）	毎週火曜日 14:00～16:00	H30	無
18		すいすいサロン	永山東集会所（永山4丁 目）	毎週水曜日 10:30～11:30	H30	無
19		瓜生元気アップトレー ニング	瓜生集会所（永山6丁目）	毎週月曜日 10:30～12:00	H30	無
20		永山ハイツ体操サロン	永山ハイツ集会所（永山 2丁目）	毎週月曜日 13:30～15:00	H30	無
21		サロン5-21	タウンハウス永山5集會 所	毎週月曜日 10:00～11:30	R1	無
22		エステート永山-3近トレ 教室	エステート永山3団地集 会所	毎週月曜日 14:00～15:30	R1	無
23		3の2近トレサロン	永山3-2集会所	毎週水曜日 10:00～12:00	R1	無
24		永山3丁目 近トレクラ ブ	西永山福祉施設多目的 室（永山3丁目）	毎週火曜日 14:00～15:30	R3	有
25	⑧	南野カフェ	パルシステム東京多摩 センター交流ルーム（南 野1丁目）	毎週月曜日 13:30～14:30	H30	無
26		コスモ近トレ	コスモフォーラム多摩 コミュニティ棟内（豊ヶ 丘3丁目）	毎週水曜日 10:00～11:00	H30	無
27		茶ロン つむぎ	エステート貝取-2集會 所	毎週金曜日 13:30～15:30	R1	無
28		GM2シニア会	グリーンメゾン貝取2集 会所	毎週水曜日 11:00～12:00	R1	無
29		メゾン豊ヶ丘-2老桜の会	メゾン豊ヶ丘-2集会所	毎週金曜日 10:00～11:00	R4	有

30	⑨	コミュニティサロンあいあい	落合3-5集会所	毎週木曜日 10:00~12:00	H30	無
31		みんなで元気はつらつ会	タウンハウス落合5集会所	毎週金曜日 10:30~11:30	H30	無
32		鶴5東町親睦会	鶴牧5丁目集会所	毎週月曜日 14:00~16:00	R1	無
33		オーベル近トレクラブ	オーベルグランデュオ多摩中央公園コミュニティスクエア（落合2丁目）	毎週火曜日 10:00~12:00	R1	無
34		OGB会（落合活き生きサロン）	落合Dブロック集会所（落合3丁目）	毎週月曜日 13:30~16:00	R1	無
35		ブリリア健康体操クラブ	ブリリア多摩センターエクササイズルーム（鶴牧3丁目）	毎週木曜日 10:00~11:30	R2	有
36		ながら運動の会	東落合小学校多目的ホール（落合3丁目）、落合3-4集会所	毎週土曜日 10:00~11:30	R3	有
37	⑩	中沢一丁目団地スマートエクササイズクラブ	中沢一丁目団地集会所	毎週月曜日 13:30~15:00	R4	有
38		近トレゆいま〜る	ゆいま〜る中沢施設内（中沢2丁目）	毎週木曜日 10:30~11:30	R4	無
39		アルテ体操の会	鶴牧1-17マンション内コミュニティリビング	毎週水曜日 10:00~11:00	H30	無
40		中沢近トレの会	エステート中沢集会所（中沢2丁目）	毎週火・水曜日 10:30~11:30	R1	無

②活動・助成の状況

	30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
活動団体数	27	39	42	42	40
助成団体数	20	32	32	17	9
助成総額 （単位：円）	300,000	480,000	310,000	135,000	115,000

イ) 生活支援

エリア	事業名	対象	担い手	連携先	内容
②	さくら運送	地域住民 ※店舗から 20分圏域	多摩桜の丘学園高等部	多摩桜の丘学園 ビッグ・エー 連光寺・聖ヶ丘地域 福祉推進委員会	高齢者等の買い物支援。 スーパーで購入した物を、本人と一緒に多摩桜の丘学園の生徒が自宅まで運ぶ仕組みづくりを支援。
③	桜ヶ丘の移動を考える会	地域住民 ※老人クラブへの参加支援	地域住民	自治会・町会、老人会、民生委員、ゆう桜ヶ丘、高齢支援課、第1層、移動分科会	住民主体の車両送迎（移動）のグループの活動支援。外出困難な高齢者の移動支援を実施。
④	三方の森お弁当配食事	団地住民	住民ボランティア	社会福祉法人 愛生苑	高齢者対象の定例食事会の代わりに弁当を配付。低栄養対策

	業			三方の森ふれんど	や見守りの一環として実施。
⑨	資源ごみの ゴミ出し支 援	団地住民	理事会高齢化 対応委員会	理事会	資源ゴミ回収の回数減少に伴 い、高齢者等の資源ゴミの出し 支援を検討。アンケートの実施 や担い手の発掘を支援。
⑨	団地での生 活支援の仕 組みづくり	団地住民	団地住民	自治会	高齢化に伴う家事等の生活支 援の仕組みづくりを検討。他地 域で先行している自治会とつ なぎ、仕組みづくりの支援を実 施。

ウ) ネットワーク構築・ニーズ把握

事業	回数
地域ケア会議	7
地域包括支援センター地区連絡会	9
地域活動・支えあいリストの更新	1 計15,500部
第1層協議体との連携	
まるっと協議体	3
生活支援分科会	5
移動分科会	10
啓発分科会	5

8 たすけあい有償活動事業

(1) 概要

実施日時	月曜日～土曜日
内 容 利用料金	住民同士の支えあいの仕組みづくりも含めた地域福祉の観点から、地域ニーズに柔軟に対応できるサービス提供をめざしている。 生活援助サービス・・・家事全般、簡単な身の回りの世話、手続き代行、薬の受取、趣味活動などの外出補助 (1時間900円、時間外1,100円) 介助サービス・・・・・・車イス、通院の付き添いなどの身辺介助 (1時間1,000円、時間外1,200円) その他のサービス・・・換気扇掃除、窓拭き、草むしり、簡単な模様替えなど (1時間900円、時間外1,100円)
対象者	多摩市在住で、上記内容を本人または家族ができない方
連携者 (団 体)	市、地域包括支援センター、介護保険事業所、シルバー人材センター他

2) 収支の状況

① 収入の状況

単位：円

区 分	R4年度			R3年度		
	予算現額	執行済額	執行率(%)	予算現額	執行済額	執行率(%)
合 計	4,141,000	1,992,766 (※1)	48.1	4,492,000	2,325,197 (※2)	51.8

※1 執行済額1,992,766円のうち223,519円は前期末支払資金残高より充当

※2 執行済額2,325,197円のうち179,128円は前期末支払資金残高より充当

② 支出の状況

単位：円

区 分	R4年度			R3年度		
	予算現額	執行済額	執行率(%)	予算現額	執行済額	執行率(%)
合 計	4,141,000	2,216,285	53.5	4,492,000	2,325,197	51.8

(3) たすけあい有償活動 活動実績

	利用 者									協 力 員		
	新規登 録人数	実人数	援 助			介 助			新規登 録人数	登録人数	活動人数	
			人数	回数	時間	人数	回数	時間				
4月	0	63	63	162	186.5	0	0	0	1	144	45	
5月	6	62	62	159	196.0	0	0	0	7	151	43	
6月	4	62	62	180	216.5	0	0	0	3	154	45	
7月	1	54	54	134	155.0	0	0	0	1	155	36	
8月	6	47	47	124	145.0	0	0	0	0	155	31	
9月	3	55	55	135	164.5	0	0	0	1	156	39	
10月	5	53	53	137	164.0	0	0	0	3	※158	38	
11月	3	65	65	152	177.0	0	0	0	2	160	44	
12月	4	61	61	165	195.0	0	0	0	0	160	44	
1月	3	50	49	127	147.0	1	1	1.5	1	161	36	
2月	4	50	50	129	147.5	0	0	0	1	162	36	

3月	2	59	57	161	187.0	2	2	2.5	0	162	43
合計	41	681	621	1,765	2,081.0	3	3	4.0	20	1,878	480
月平均	3.4	56.8	51.8	147.1	173.4	0.3	0.3	0.3	1.7	156.5	40.0

※10月に1名退会者あり

(4) たすけあい有償活動の実施状況

単位：人

		30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
利用者数(月平均数)		83.5	78.3	52.1	59.2	56.8
協力員	登録者数	166	149	137	155	159
	うち新規登録者数	28	30	11	21	20
	活動者数(月平均)	54.8	52.8	37.7	43.5	40.0

(5) たすけあい有償活動協力員懇談会(研修会兼ね実施)

開催日時	令和4年7月14日(木) 午前10時～正午
会場	二幸産業・NSP健幸プラザ
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・講義 (同行支援～高齢者の気持ちに気づき、介助のポイントを学ぶ～) ・グループに分かれて実技体験(歩行介助・車椅子移動介助) ・意見交換
対象者	たすけあい有償活動協力員
参加者	8人

(6) たすけあい有償活動協力員説明会

開催日時	第1回 令和4年 6月14日(火) 午前10時～11時 第2回 令和4年11月29日(火) 午前10時～11時30分 ※第1回目はサロン説明会と合同実施
会場	第1回 多摩市立市民活動・交流センター 第2回 トムハウス
内容	たすけあい有償活動の事業説明 協力員登録手続き
対象者	18歳以上の市民及び近隣地区住民
参加者	第1回 1人 第2回 2人

9 住民主体による訪問型サービス

(1) 概要

実施日時	月曜日～土曜日
内 容 利用料金	<p>多摩市介護予防・日常生活支援総合事業において多摩市社会福祉協議会で実施する訪問型サービス。(平成28年5月より指定)</p> <p>たすけあい有償活動の協力員登録者のうち、多摩市が実施する研修を受けた協力員が担い手となる。地域包括支援センターもしくはケアマネジャーの作成するケアプランに基づき、介護予防支援のため生活支援を実施するもの。</p> <p>内 容・・・家事支援(掃除・洗濯・食事の準備・買い物代行等)、買物同行支援 頻 度・・・1週間に1回まで</p> <p>家事支援 1回60分以内 買物同行支援 1回90分以内</p> <p>利用料・・・家事支援 60分以内 1,520円/回(利用者負担304円) 買物同行支援 90分以内 2,280円/回(利用者負担456円)</p> <p>活動費・・・家事支援1,100円/回 買物同行支援1,650円/回 ※交通費相当含む</p> <p>キャンセル料・・・当日キャンセルの場合 家事支援1,100円 買物同行支援1,650円</p>
対象者	多摩市在住 介護保険の認定が要支援1、2 もしくは事業対象者の認定がある方

(2) 収支の状況

① 収入の状況

単位：円

区 分	R4年度			R3年度		
	予算現額	執行済額	執行率(%)	予算現額	執行済額	執行率(%)
合 計	2,039,000	1,176,318	57.7	1,687,000	1,105,230	65.5

③ 支出の状況

単位：円

区 分	R4年度			R3年度		
	予算現額	執行済額	執行率(%)	予算現額	執行済額	執行率(%)
合 計	2,039,000	1,106,154	54.2	1,687,000	1,031,411	61.1

(3) 住民主体による訪問型サービス実施状況

	相談件数	利 用 者			協 力 員		
		初回利用人数	利用人数	回数	新規登録人数	登録者人数	活動人数
4月	0	2	19	65	0	62	15
5月	1	0	17	58	7	69	15
6月	0	0	17	67	3	72	15
7月	0	2	19	64	0	72	16
8月	2	1	21	77	0	72	17
9月	3	0	21	67	0	72	17
10月	1	1	20	63	0	72	16
11月	0	2	22	65	1	73	19
12月	1	1	20	62	1	71	17
1月	1	1	19	54	0	74	16
2月	0	0	18	54	0	74	15
3月	0	0	17	57	0	74	14
合計	9	10	230	753	12	860	192
月平均	0.8	0.8	19.2	62.75	1.0	71.7	16.0
昨年度平均	1.5	0.92	18.3	-	0.8	66.1	14.2

10 ボランティア・市民活動推進事業（多摩ボランティア・市民活動支援センター）

(1) 収支の状況

① 収入の状況

単位：円

区分	令和4年度			令和3年度		
	予算現額	執行済額	執行率(%)	予算現額	執行済額	執行率(%)
合計	13,416,000	14,576,065	108.64	13,014,000	12,556,428	96.48

※前期末支払資金残高含む

③ 支出の状況

単位：円

区分	令和4年度			令和3年度		
	予算現額	執行済額	執行率(%)	予算現額	執行済額	執行率(%)
合計	13,416,000	10,596,787	78.98	13,014,000	9,990,038	76.76

(2) 多摩ボランティア・市民活動支援センター運営委員会及び各種専門委員会の開催

委員会名	委員数	開催日	出席者数
運営委員会	15名	R4.5.16	12名
		R4.10.30	12名
		R5.1.30	12名
		R5.3.6	13名
審査会	4名	R4.5.9	3名
		R4.10.18	3名
		R4.10.19	3名
		R5.1.24	4名
		R5.3.1	4名
企業等連携強化専門委員会	8名	R4.10.3	7名
		R4.12.23	7名
		R5.3.10	5名
災害ボランティアセンター運営強化専門委員会	15名	R4.4.22	7名
		R4.7.26	9名
		R5.2.21	7名
子ども・若者応援基金活用検討専門委員会	8名	R4.3.9	8名

(3) ボランティア育成事業

① 市民活動講座「ボラ活しよう！バルーンアート編」

実施日	参加者	場所	内容	協力団体等
R5.1.26	12人中12人参加	多摩ボランティア市民活動支援センター活動室1	1.26 バルーンアートの基本を学んで動物を作る	講師：大妻女子大学バルーンアート同好会「ぼろん。」6名
R5.2.2	12人中11人参加		2.2 子供に人気のある作品を作る	
R5.2.9	12人中12人参加		2.9 バルーンで装飾立体作品を作る	
R5.2.17	12人中6人参加		2.17 イベント「ふれあいこどもまつり」内の無料ブース出店について内容検討・バルーンの復習	

② ボランティア・市民活動団体向けフォローアップ講座「無料学習会」

実施日	参加者	場所	内容	協力団体等
R4. 6. 24 R4. 7. 20 R4. 11. 25 R4. 12. 21 R5. 2. 24	91 人	多摩ボラセン活動室 1	1:あなたは大丈夫？フレイル・認知症予防 2:「睡眠」と「健康」の知恵袋講座 3:わたしと家族の「そうぞく」講座 4:今から、取り組もう!防災講座 5:大人のためのおなかの菌学	1:かけはしの会 2、3、4:明治安田生命 5:西都ヤクルト販売

③ 地域活動説明会

実施日	参加者	場所	内容	協力団体等
R5. 3. 2	12 人	多摩ボランティア市民活動支援センター活動室 1	男性活動者のボランティア体験談	男性ボランティア経験者 4 人 地域教育力支援コーディネーター 1 人

④ ボランティア体験

実施日	参加者	場所	内容	協力団体等
R4. 7. 15～ 8. 25	152 人	・多摩ボラセン活動室 1 ・Zoom によるオンライン	コロナ禍でもできる夏のボランティア体験 2022	・あい小規模多機能施設かりん ・グループホームすみれの里 ・桜ヶ丘いきいき元気センター ・あいクリニックデイケアオリーブ ・桜ヶ丘延寿ホーム ・多摩市手話サークル「クローバー」 ・小さな天使 ・多摩市平和人権課

⑤ 災害ボランティア育成

ア) 災害ボランティアセンター運営ボランティア育成講座

実施日	参加者	場所	内容	協力団体等
R4. 5. 21	37 人	国士舘大学多摩南野キャンパス 1 階講義室 1・2	災害ボランティア編 ①講義： ・今後の災害への備えについて ・災害時に求められる多摩市民の力（協力）について ・災害ボランティア活動について	・多摩市防災安全課 ・国士舘大学

			②演習： ・災害クロスロード体験 ・災害時の応急手当体験	
R4. 6. 25	35 人	二幸産業・ NSP 健幸福祉 プラザ7階 研修室	災害ボラセン運営編 ①講義： ・災害ボランティアセン ターについて ②演習： ・災害ボラセン運営ゲー ム（ロールプレイ）	・国土舘大学
R4. 10. 16	33 人	二幸産業・ NSP 健幸福祉 プラザ7階 研修室	要配慮者支援編 講義&ミニ体験会 ・災害時の認知症高齢者 の支援について ・災害時の視覚障がい者 の支援について ・災害時の聴覚障がい者 の支援について ・災害時の身体障がい者 の支援について ・災害時の外国人の支援 について	・「いこいの会」「み らいの会」 ・多摩市視覚障害者 福祉協会 ・多摩市聴覚障害者 協会 ・多摩市手話サークル 「クローバー」 ・多摩市登録手話通 訳者の会 ・合同防災対策委員 会 ・平田真利恵氏 ・多摩市国際交流セ ンター

※上記参加者には社協職員を含む（職員研修を兼ねているため）

※災害ボランティアとして 19 人が登録

※運営ボランティア登録者のフォローアップも兼ねて実施

イ) 多摩市災害ボランティアセンター設置・運営訓練

実施日	参加者	場所	内容	協力団体等
※ R4. 7. 3	70 人	二幸産業・ NSP 健幸福祉 プラザ他	水害・感染症対策のマニ ュアル(案)に基づいた災害 ボラセン設置・運営訓練	災害協定締結団体 (二幸産業、多摩 青年会議所)

⑥ ボランティアパーク

年度	実施日	来場者	場所	内容	協力団体等
令和4 年度	R4. 10. 16	234 人	二幸産業・ NSP 健幸福祉 プラザ7階	・手品体験 ・ぬりえ体験 ・音訳体験 ・ワンショット動画作成体 験 ・むかし遊び体験 ・点字用紙のリサイクル販 売 ・無料マッサージコーナー ・和布、毛糸など手作り雑 貨販売	・マジックエコー ・にじいろの会 ・多摩市音訳グルー プ繭 ・パソコンボランテ ィア多摩 ・とよよん男匠塾 ・偶の会 ・リフォームおはり ばこ ・多摩ボラセン登 録団体等連絡会

※令和4年度からボランティアパークを実施

⑦ たまボランティアギフト

マッチングギフト合計金額 0円

実施日	参加者	場所	内容	協力団体等
コロナの影響を受けて実績なし				

(4) 企業・学校・社会福祉法人等による地域貢献活動の促進
(多摩地域企業・大学等連絡会(通称:ゆるたまネット))

① 全体会

実施日	参加者	場所	内容	協力団体等
R4. 10. 5	19人 (19団体)	オンライン (Zoom)	<ul style="list-style-type: none"> ・新規メンバーの紹介 ・食料等無料配布事業実行委員会委員について ・令和4年度食料等無料配布事業について ・令和4年度学習会について ・赤い羽根及び地域ささえあい(歳末たすけあい)街頭募金活動について 	18団体 一般企業:13団体 NPO法人:3団体 大学:1団体 市:1団体 ※多摩社協除く
R4. 11. 28	16人 (16団体)	オンライン (Zoom)	<ul style="list-style-type: none"> ・食料等無料配布事業の進捗について ・地域ささえあい歳末たすけあい街頭募金活動への協力について ・意見・情報交換 ・今後のスケジュールについて 	15団体 一般企業:10団体 NPO法人:2団体 大学:2団体 市:1団体 ※多摩社協除く
R5. 2. 24	31人 (20団体)	① オンライン (Zoom) ② 多摩ボランティア・市民活動支援センターボランティア活動室	<ul style="list-style-type: none"> ・多摩市の災害の特徴について ・企業・大学等の災害支援ネットワークについて ・多摩社協との連携について 	<ul style="list-style-type: none"> ・多摩市 ・国士舘大学

R5. 3. 24	19 人 (17 団体)	オンライン (Zoom)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 運営ルールの見直しについて ・ 令和 4 年度事業報告について ・ 令和 5 年度事業計画(案)について ・ 幹事及び食料等無料配布事業実行委員の選任について ・ 意見・情報交換 ・ 各団体の活動報告について 	<p>16 団体 一般企業：10 団体 NPO 法人：2 団体 大学：3 団体 市：1 団体 ※多摩社協除く</p>
-----------	-----------------	-----------------	---	---

② 食料等無料配布事業

※ゆるたまネット内に食料等無料配布実行委員会を設置し、5回に渡り検討し、実施した。

ア) 食料等無料配布実行委員会

食料等無料配布実行委員会	11名	R4.7.22	9名
		R4.9.6	9名
		R4.11.2	10名
		R4.11.28	9名
		R5.1.31	10名

イ) 令和4年度 多摩地域企業・大学等連絡会 食料等無料配布事業

実施日	参加者	場所	内容	協力団体等
①R4.12.16 ②R4.12.17 ③R4.12.18	185世帯 (552人)	①大妻女子大学 ②旧豊ヶ丘中学校 クラブハウス ③多摩ボランティア・市民活動支援センター	ゆるたまネットの主催事業として、生活にお困りの「大学生以下の子どもがいる世帯」や「大学生」を対象に「食料等無料配布事業」を実施。 ※今年度は外国人留学生も対象とした。	ゆるたまネット会員 32 団体、外部団体 2 団体

(5) フードドライブ事業

①フードドライブ窓口

	受付窓口	受付時間	備考
1	【多摩市社協の窓口】 ①多摩ボランティア・市民活動支援センター ②総務係	①平日 9:00~19:00 (第1・3月曜日除く) 土曜日、日曜日 9:00~17:00 ②平日 8:30~17:00	
2	【ダイエー店舗の窓口】 ①グルメシティ多摩店 ②foodium 多摩センター	①・②営業時間内常時受付	
3	【コープみらい店舗の窓口】 ①コープ貝取店	①営業時間内常時受付	

②寄付及ぶ配布状況

	R3 年度	R4 年度
寄付件数 (個人)	376 件	288 件
寄付物品総重量 (個人)	1,580 kg	1,741 kg
寄付件数 (団体)	105 件	119 件
寄付物品総重量 (団体)	4,212kg	7,427kg
食材配布数	396 件	740 件
食料配布数*個人(世帯)(資金貸付相談者)	34 件	35 件

※寄付された食品・食材を、子ども・誰でも食堂、フードバンク団体、食料無料配布事業、資金の貸付相談者等に配布。

※多摩市社協以外のフードドライブ窓口での寄付は、受付件数に含まず、重量のみを記載。

※一部（賞味期限が長い食品等）を、個人（世帯）への緊急配布用に保管しているため、寄付受付件数と配布件数は数値が異なります

(6) フードパントリー事業

令和4年度	4月～11月	1月～3月
配布世帯数	354	201

※4月～11月までは令和3年度に実施した、ゆるたまネット主催の食料等無料配布事業実施時に今後も継続的な支援が必要とご回答された世帯を対象に配布した。

※1月～3月は、令和4年12月に実施した、ゆるたまネット主催の食料等無料配布事業実施時に今後も継続的な支援が必要とご回答された世帯を対象に配布した。

(7) 指定寄付金

① 子ども若者応援支援への寄付金

	R3年度	R4年度
寄附金額	2,207,922	2,045,767
子ども・若者応援基金取崩額		290,000
子ども・若者応援基金積立額	1,804,687	1,832,761

※令和4年2月1日に子ども・若者応援基金を設置したため、R3年度より明記。

※令和3年度は寄附金額のうち403,235円は、食料無料配布事業等で活用。

※令和4年度は寄附金額のうち503,006円は、食料無料配布事業及び子ども若者応援助成金交付事業で活用。このため、1,832,761円を子ども・若者応援基金に積み立て。

② ボランティア・市民活推進への寄付金

単位：円

	30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
寄附金額	231,430	194,600	165,940	228,720	178,669

※平成30年度の寄附金のうち、98,500円は「たまボランティアギフト」による寄附金

※令和元年度の寄附金のうち、49,500円は「たまボランティアギフト」による寄附金

※令和2年度の寄附金のうち、1,500円は「たまボランティアギフト」による寄附金

※令和4年度商品券による寄付100,000円を含む

③ ボランティア基金への寄付金（令和5年3月末現在高 12,149,454円）

単位：円

	30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
寄附金額	31,353	50,000	442,952	1,108,567	266,989

(8) 子ども若者応援助成金交付事業

① 令和4年度実績

団体名	事業内容	助成金額 (単位：円)
特定非営利活動法人 プレイルームゆづり葉の家	愛宕だれでも食堂	30,000
特定非営利活動法人どんぐりパン	きっちん空(子ども・誰でも食堂)	30,000
一般社団法人 祥鶴	ほくの家(子ども・誰でも食堂)	30,000
ピンクララタマ	ピンクララタマ(子ども・誰でも食堂)	30,000

わくわく子ども食堂	わくわく子ども食堂(子ども・誰でも食堂)	30,000
こども食堂「ほっこりキッチン」	こども食堂「ほっこりキッチン」	30,000
一般社団法人 Life is	多様な交流を生み出すための居場所づくり	30,000
start up あさひ塾	学生向け無料塾	50,000
くべる会	開け！くべる会「三丁目の家」活動	80,000
合計(9団体)		340,000

②交付実績状況

	R4年度
応募団体数	9
助成団体数	9
支援総額(円)	340,000

※令和4年7月より実施したため、令和4年度より明記。

(9) ボランティア活動等振興助成金交付事業

① 令和4年度実績

団体名	事業内容	助成金額 (単位：円)
傾聴ボランティアグループ「福寿草」	会員の質の向上を図る事業	20,000
多摩市音訳グループ繭	新人養成講座	30,000
かけはしの会	今後継続して行うボランティア活動等を目的とした事業	9,624
多摩市要約筆記サークル	広く市民に向けた手話・要約筆記講座	30,000
お裁縫ボランティアの会	今後継続して行うボランティア活動等を目的とした事業	50,000
伝統芸能たまいち座	今後継続して行うボランティア活動等を目的とした事業	50,000
合計(6団体)		230,000

※かけはしの会に関しては、新型コロナウイルス感染拡大等に理由によって、予定通りに事業が実施できなかったため一部助成金を返還した。(交付額：40,376円は返還)

交付実績状況

	30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
登録団体数	58	62	61	57	53
助成団体数	12	13	5	5	6
助成総額(円)	344,000	394,000	140,000	160,000	230,000

(10) 相談事業

実施日	来所者	場所	内容	協力団体等
R4. 4. 12～ R5. 3. 28 全 11 回	30 人	市内コミュニティセンター4 箇所、永山公民館、とよよん	令和 4 年度ボランティア保険加入受付、ボランティア・市民活動の情報提供、相談等	市内コミュニティセンター運営協議会、ボランティア相談員延べ 2 人
R4. 6. 22	4 人	多摩大学	ボランティア・市民活動の情報提供、相談対応	
R4. 10. 19	4 人	多摩大学	ボランティア・市民活動の情報提供、相談対応	
毎月 第 4 木曜日 全 12 回	2 人	総合福祉センター	ボランティア・市民活動の情報提供、相談対応、ボランティア保険受付等	
R4. 5. 11～ R5. 3. 22 全 9 回	13 人	多摩ボランティア・市民活動支援センター打ち合わせコーナー	・NPO 設立・運営に関する相談 (NPO 法人の設立を考えている方向け) ・会計・税務に関する相談 (ボランティア団体や特定非営利活動法人向け)	内藤純氏 (公認会計士・税理士)

(11) 協力事業

	団体	実施日	実施・協力内容	協力団体等
1	東京ヴェルディ(株)	R4. 4. 23～ R5. 3. 25	・東京ヴェルディホームゲームでの車イス来場者の付添、会場案内等 (参加者申込受付、広報)	
2	VITA ふれあいまつり	R4. 8. 7	・「むかし遊び体験」ブースを設置し来場した親子を対象にむかし遊びの体験を行う。来場者数約 190 人。	
3	What's jazz 実行委員会	R4. 4. 8 R4. 9. 9 R4. 12. 1 R5. 3. 10 (合計 4 回)	チケット代行販売 (販売手数料収入 112,000 円)	
4	TAMA 映画フォーラム実行委員会	R4. 6. 18 R4. 7. 23 R4. 8. 27 R5. 2. 18 R5. 3. 25	チケット代行販売 (販売手数料収入 12,720 円)	

5	貝取こぶし館	R5. 2. 25	・福祉部主催手話講座 (講師調整手配)	特定非営利活動法人多摩市聴覚障がい者情報活動センター
---	--------	-----------	------------------------	----------------------------

(12) 地域出前事業 (総合的学習含む)

	学校・団体	実施日	実施・協力内容	協力団体等
1	北諏訪小学校	R4. 6. 17	アイマスク・白杖体験	講師 大和会和光園 職員
2	永山小学校	R4. 6. 23	①車いす当事者の話 ②車いす体験	②社会福祉法人大和会
3	永山小学校	① R. 4. 11. 8 ② R. 4. 11. 15	① 視覚障がい当事者の話+点字体験 ② 聴覚障がい当事者の話+手話体験	① 視覚障がい当事者+多摩市点字サークル「トータス」 ② 非営利活動法人多摩市聴覚障がい者情報活動センター+多摩市手話サークル「クローバー」
4	多摩市立子育て総合センター たまっこ	R4. 11. 25	講師派遣 令和4年度子育て・子育て支援者養成講座」での市民活動の紹介と役割について	
5	大松台小学校	① R4. 12. 8 ② R4. 12. 15	① 聴覚障がい当事者の話+手話体験 ② 視覚障がい当事者の話+点字体験	① 非営利活動法人多摩市聴覚障がい者情報活動センター+多摩市手話サークル「クローバー」 ②視覚障がい当事者山+パソコン点訳サークル「こがめ」
6	聖ヶ丘小学校	R5. 1. 17	① 視覚障がい当事者の話 ② ガイドヘルパーの話	
7	多摩第三小学校	①R5. 1. 20 ②R5. 2. 3	① 車いす当事者の話 ② ガイドヘルパーの話	① 自立ステーションつばさ ② ガイドヘルパー
8	南鶴牧小学校	①R5. 3. 9 ②R5. 3. 15	①車いす当事者の話 ②視覚障害当事者の話	

(13) 販売事務業務委託（多摩市受託事業） ※通年

委託件名	事業内容	収入金額 (単位：円)
多摩市印刷物有償頒布事務業務委託	多摩市印刷物の有償頒布に係る業務 (販売) ※委託料は販売価格の20%	1,684
学校施設等使用券売払事務業務委託	学校施設等使用券の販売及び収納業務 ※委託料は販売価格の5%	146,975
合計		148,659

(14) 関係機関との連携

会議名	実施回数	備考
多摩ボランティア・市民活動支援センター登録団体等連絡会	月9回	構成：17団体
市区町村ボランティア・市民活動センター長会議	年2回	オンライン会議
市区町村ボランティア・市民活動推進事務局連絡会	年4回	オンライン会議
市区町村社協南多摩ブロック職員の会ボランティア担当者会議	年4回	構成：八王子市、町田市、日野市、稲城市、多摩市の5市社協 ※会議の他、メーリングリストを作成し、情報交換を行っている。

(15) 多摩ボランティア・市民活動支援センターボランティア登録者状況

	30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
個人登録者数	651人	716人	878人	738人	733人
団体加盟者数	2,074人	2,155人	1,884人	1,641人	1,380人
V保険登録者数	3,032人	2,062人	1,810人	1,606人	2,102人
登録団体数	58団体	60団体	61団体	57団体	53団体

※個人登録者は、介護予防ボランティアポイント、災害ボランティア、東京ヴェルディ車いす席ボランティア、特技・芸能ボランティア登録者。

※介護予防ボランティア登録者数は、11介護予防ボランティアポイント事業(1)④参照。

※団体加盟者数は、延べ人数。複数の団体に所属して活動しているボランティアがいるため

(16) 多摩ボランティア・市民活動支援センター 利用状況**①本センター(ヴィータ)**

	R4年度
来館者数	8,358人
利用団体数	312団体
活動室1利用者数	3,007人
活動室2利用者数	3,228人
活動室3利用者数	1,429人
フリースペース利用者数	1,307人
パソコン相談者数	107人
フードドライブ受付件数	337件
ボランティア保険・行事保険受付件数	390件
個人利用新規登録者数	9人
市内施設利用券及び市有償刊行物販売件数	276件

女性センターライブラリー図書貸出件数	31 件
--------------------	------

※令和4年2月に永山分室閉鎖に伴い、令和4年4月に本センターを登録団体の活動拠点としてリニューアルしたため、上表のとおり令和4年度より利用状況を明記。

②総合福祉センター分室

	30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
利用団体数	158 団体	165 団体	70 団体	150 団体	253 団体
活動室利用者数	1,342 人	1,274 人	358 人	852 人	1,757 人

③機材貸し出し状況

印刷機、コピー機(白黒・カラー)、拡大コピー機、ロッカー、車いす、高齢者疑似体験セット、視覚障がい体験セット、アイマスク、白杖、点字練習器等、ボランティア・市民活動に必要な機材・用具の貸出を行った(一部有料)。

貸出機材	R4年度
ロッカー(本センター)	15
ロッカー(福祉センター分室)	17
車いす	21
高齢者疑似体験セット	10
視覚障がい体験セット	1
アイマスク	10
点字練習器	4

※(16)①の※の理由により令和4年度より明記。

(17) ボランティア相談状況

	30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
ボランティア希望	125	157	126	202	207
ボランティア要請	77	61	21	38	83
マッチング(紹介)	55	54	11	123	100
情報提供	22	20	25	12	19
協力依頼	55	48	38	23	27
その他	28	11	8	1	10
計	307	297	218	276	346

※介護予防ボランティア登録者の数は含まない

※マッチング(紹介)は、ボランティア要請に対しての紹介数のため合計数に含まず

(18) 多摩ボランティア・市民活動支援センター広報状況

①「ボランティア通信」発行状況(月1回発行)

発行部数(月別)	総発行部数	設置・送付箇所数	主な設置・送付場所
2,500 部	30,000 部	392 箇所	市内公共施設(コミュニティセンター含む)、市内郵便局、市内企業・店舗(福祉協力店含む)、学校等

② 多摩ボランティア・市民活動支援センターメールマガジン配信状況

ア 配信日：第1木曜日。その他、不定期に配信。

イ 登録件数：565 人（令和 5 年 3 月末日現在）

ウ 配信回数：13 回

エ 配信実績状況

	30 年度	R1 年度	R2 年度	R3 年度	R4 年度
登録件数	617	598	595	595	565

1 1 介護予防ボランティアポイント事業（多摩市受託事業）

(1) 概要

目的	多摩市介護予防ボランティアポイント事業実施要綱に基づき、介護保険法（平成9年法律第123号）第115条の45第1項第1号に規定する介護予防事業として、高齢者のボランティア活動実績を「ポイント」として評価することにより、介護予防を促進し、もって元気な高齢者が地域に貢献できるような取り組みを推進することを目的とする。
事業開始	平成26年7月7日（受託事業開始）
事業概要	<p>(1) 事業内容</p> <p>①制度根拠：介護保険法第115条の45第1項第1号、地域支援事業実施要綱、多摩市介護予防ボランティアポイント事業実施要綱</p> <p>②介護予防ボランティア：多摩市在住の介護保険第1号被保険者（あらかじめ管理機関へ登録が必要）</p> <p>③介護予防ボランティア活動（多摩市長が指定する介護予防ボランティア事業及び活動）</p> <p>ア) 事業 ●介護保険対象施設 ●多摩市が実施する地域支援事業（介護予防事業）</p> <p>イ) 活動 ●レクリエーション等の指導、参加支援 ●お茶だしや食堂内の配膳・下膳などの補助 ●散歩、外出、館内移動の補助 ●模擬店、会場設営、利用者の移動補助、芸能披露などの行事の手伝い ●話し相手 ●その他施設職員と共に行う軽微かつ補助的な活動（例—草刈、洗濯物の整理、シーツ交換など） ●その他</p> <p>④活動実績の把握：介護予防ボランティアが持参する介護予防ボランティア手帳に活動確認スタンプを押印。</p> <p>⑤評価ポイントの付与：介護予防ボランティア手帳に押印されたスタンプの数に応じて最大5,000ポイントの評価ポイントを付与。</p> <p>⑥評価ポイント転換交付金：介護予防ボランティア手帳を添えて、評価ポイント活用を申し出る。交付額は年間最大で5,000円。</p> <p>⑦その他：介護保険料の未納又は滞納の場合、適用しない。</p> <p>(2) 業務内容</p> <p>①介護予防ボランティア登録対象者向け説明会・研修会及び受入機関向け説明会の実施</p> <p>②受入機関の登録に関する事務</p> <p>③介護予防ボランティアの登録及び介護予防ボランティア手帳の交付に関する事務</p> <p>④介護予防ボランティア活動評価ポイントの付与及び管理に関する事務</p> <p>⑤介護予防ボランティアポイント交付金交付申請に関する事務</p> <p>⑥介護予防ボランティアポイント登録者に対する受入機関及び活動内容等の紹介に関する事務</p>

(2) 契約状況等

単位：円

	令和4年度	令和3年度
契約年月日	令和4年4月1日	令和3年4月1日
契約金額	1,841,000円	2,191,000円
変更協議年月日		
契約金額		

(3) 収支の状況

① 収入の状況

単位：円

区分	令和4年度			令和3年度		
	予算現額	収入済額	執行率(%)	予算現額	収入済額	執行率(%)
合計	1,841,000	1,841,000	100.0	2,191,000	2,191,000	100.0

② 支出の状況

単位：円

区分	令和4年度			令和3年度		
	予算現額	支出済額	執行率(%)	予算現額	支出済額	執行率(%)
合計	1,841,000	1,810,728	98.35	2,191,000	2,146,709	97.9

(4) 事業実施状況

① ボランティア登録者数

	30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
登録者数	404人	477人	474人	483人	514人

② 登録施設数

	30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
登録施設数	51	52	50	49	52

※令和4年度新規登録4団体、登録解除1団体

③ 登録者向け説明会

実施日	参加者	場所	内容	備考
R4.4～R5.3.2 (毎月第一木曜日)	18人	多摩ボランティア・市民活動支援センター 打合せコーナー	・にゃんともTAMAるボランティアポイントについて ・登録手続きについて	全9回(7・8・2月は参加者がいなかったため未開催)

④ 施設向け説明会

実施日	参加者	場所	内容	備考
R5.2.16	1施設 1人	二幸産業・NSP 健福祉プラザ7階	介護予防ボランティアポイント受け入れ施設登録について	施設団体ボランティア受入れ担当者情報交換会・研修会終了後に実施

⑤ 施設・団体ボランティア受入れ担当者情報交換会・研修会

実施日	参加者	場所	内容	備考
R5.2.16	8施設9人	二幸産業・NSP 健福祉プラザ7階	テーマ:コロナ禍でおよぼすフレイル予防の現状について	

12 福祉サービス利用援助事業

(1)概要

目的	認知症高齢者、知的障がい者、精神障がい者等に対し、本人との契約に基づき、福祉サービスの利用援助等を行うことにより、安心して自立した生活が送れるようにする。
対象者	1 認知症高齢者、知的障がい者、精神障がい者 2 支援が必要な高齢者、身体障がい者
内容	①福祉サービス利用援助(情報提供、手続き援助、利用料の支払い等) ②日常的金銭管理サービス(年金や手当の受領手続き、日常生活上の支払い手続き、払い戻し等) ③書類等の預かりサービス(年金証書、預貯金通帳、権利証、実印等) ④成年後見制度に関する相談及び利用支援

(2)地域福祉権利擁護事業(東京都社会福祉協議会受託事業)

	30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
相談件数	3,292	3,030	2,156	2,136	3,660
契約件数	28	20	25	30	26
解約件数	23	14	17	24	13
年度末契約件数	89	95	103	109	122

○収支状況(人件費を除く)

・収入の状況

単位:円

区分	令和4年度			令和3年度		
	予算現額	執行済額	執行率(%)	予算現額	執行済額	執行率(%)
合計	3,207,000	3,401,766	106.1	3,841,000	3,745,111	97.5

・支出の状況

区分	令和4年度			令和3年度		
	予算現額	執行済額	執行率(%)	予算現額	執行済額	執行率(%)
合計	3,207,000	3,081,128	96.1	3,841,000	3,378,804	87.9

(3)東京都福祉サービス総合支援事業（多摩市補助事業）

	30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
相談件数	715	627	349	191	391
契約件数	7	4	3	2	6
解約件数	8	5	7	8	0
年度末契約件数	21	20	16	10	16

福祉サービス利用援助事業 令和4年度末契約総数 138件 (122件+16件)

○収支状況（人件費を除く）

・収入の状況

単位：円

区分	令和4年度			令和3年度		
	予算現額	執行済額	執行率(%)	予算現額	執行済額	執行率(%)
合計	1,527,000	1,522,650	99.7	1,587,000	1,519,251	95.7

・支出の状況

区分	令和4年度			令和3年度		
	予算現額	執行済額	執行率(%)	予算現額	執行済額	執行率(%)
合計	1,527,000	1,345,377	88.1	1,587,000	1,060,222	66.8

(4) 成年後見制度利用支援業務

	30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
相談件数	185	163	360	661	671
申立支援件数	9 (9)	4 (4)	20 (4)	20 (4)	20 (4)
マッチング支援件数			21	26	21

※平成21年10月1日より業務開始

※申立支援件数のうち、括弧内は(2)および(3)の契約者に対して申立支援を行った件数。

※令和2年4月1日より多摩市成年後見制度利用者支援事業業務として委託を受ける。

○収支状況（人件費を除く）

・収入の状況

単位：円

区分	令和4年度			令和3年度		
	予算現額	執行済額	執行率(%)	予算現額	執行済額	執行率(%)
合計	1,002,000	865,113	86.3	1,860,000	1,740,000	93.5

・支出の状況

区分	令和4年度			令和3年度		
	予算現額	執行済額	執行率(%)	予算現額	執行済額	執行率(%)
合計	1,002,000	603,342	60.2	1,860,000	1,043,709	56.1

(5)実施事業

広報・説明会	<p>1 社協および市広報紙、ホームページの掲載。独自パンフレットの配布。</p> <p>2 社協職員による成年後見制度及び福祉サービス利用援助事業説明会の実施。</p> <p>① 市民向け事業説明会 令和5年3月13日(土) 5人 令和5年3月18日(土) 午前28名 午後12名</p> <p>② 事業所・関係機関向け事業説明会 令和4年7月14日(木) オンライン</p> <p>③ 生活支援員募集事業説明会 令和4年 8月29日(月) 2人 令和5年 2月27日(月) 7人</p>
ふくし法律相談	<p>実施日：毎月、第3木曜日 午後1時30分～3時30分</p> <p>場 所：総合福祉センター内</p> <p>弁護士：第二東京弁護士会所属 弁護士 増田径子氏</p> <p>対象者：高齢者、障がい者及びその家族等</p> <p>相談人数および件数：17人、17件</p> <p>相続について (6件)</p> <p>財産管理について (5件)</p> <p>成年後見制度について (4件)</p> <p>遺言について (4件)</p> <p>その他 (9件) ※複合相談あり</p>
講演会	<p>事業名：「専門職による遺言と相続講座」(2日間)</p> <p>日 時：令和4年7月26日(火) 午後2時～4時 令和4年7月27日(水) 午後2時～4時</p> <p>場 所：一日目 総合福祉センター7階 704研修室 二日目 総合福祉センター6階 集会室</p> <p>内 容：一日目 遺言と相続について 二日目 相続税について</p> <p>講 師：一日目 司法書士：相田浩和氏 二日目 税理士：内藤純氏</p> <p>目 的：市民を対象に遺言と相続税に関する普及啓発を行う 講演会を通じて権利擁護業務に必要な司法書士と税理士の連携を図る</p> <p>参加者：延べ53人</p> <p>事業名：「市民のための成年後見講座」</p> <p>日 時：令和4年9月3日(土) 午前10時～12時</p> <p>場 所：消費生活センター講座室(ベルブ永山3階)</p> <p>講 師：社会福祉士 大輪 典子 氏</p> <p>目 的：市民を対象に成年後見制度の普及啓発を行う。</p> <p>内 容：成年後見制度の基礎知識について</p> <p>参加者：11人</p> <p>事業名：「親族後見人懇談会」</p> <p>日 時：令和4年9月3日(土) 午後2時～4時</p> <p>場 所：ベルブ講座室(ベルブ永山3階)</p> <p>講 師：権利擁護センター運営委員 福島尚子氏(司法書士)</p> <p>目 的：親族で後見人等としての活動を考えている方に対して、後見業務の具体的な</p>

	<p>内容や活動におけるポイントを伝え、今後の後見活動における心構えに繋げる。 内 容：成年後見人等としての活動について情報交換 参加者：8人</p> <p>事業名：「専門職後見人等懇談会」 日 時：令和4年11月11日（金）午後7時～9時 場 所：総合福祉センター7階 704研修室 講 師：リーガルサポート東京支部 多摩地区サブリーダー 吉村護氏 目 的：成年後見人等及び受任予定の士業や市民後見人の交流を促進し、情報交換を行うことで成年後見人等の支援を行う。 内 容：「成年被後見人等の交代について」の講演と情報交換会。 参加者：10人</p> <p>事業名：「司法書士による市民のための成年後見相談会」 日 時：令和4年12月17日（土）午後1時30分～4時40分 場 所：ベルブ講座室（ベルブ永山3階） 相談員：（公社）成年後見センターリーガルサポート東京支部所属 司法書士4名 北村智史氏、鈴木悠平氏、伴正太郎氏、飯田香織氏 目 的：市民を対象に成年後見制度や遺言等の普及啓発を図る。 内 容：司法書士による成年後見制度に関する相談会を実施。 相談者数：4人</p> <p>事業名：「障がいのある方とその家族のための成年後見の集い」 日 時：令和5年1月13日（金）午前10時～12時 場 所：消費生活センター 講座室（ベルブ永山3階） 講 師：NPO法人成年後見ウィル 理事長 阿部由美氏 目 的：「障がいのある方」と「その家族」を対象に、成年後見制度の普及を図るとともに、家族信託と成年後見制度に関する疑問等に対応することで利用を促進する。 内 容：親亡きあとに備えた障がい者の成年後見制度の活用について 参加者：19人</p>
<p>専門研修会</p>	<p>事業名：生活支援員研修会 「生活保護制度について」 日 時：令和4年6月30日（木）午後2時～4時 場 所：総合福祉センター7階 研修室 講 師：多摩市役所 生活福祉課 生活保護担当 有田 慶一氏 目 的：生活保護を受給している利用者が半数以上を占める中、生活支援員が生活保護制度について正しい知識を得ることにより、生活保護を受給している利用者が安心して地域で暮らせる支援につなげる。 内 容：「生活保護制度について」の講話を行い、グループワークを通じて、支援中に困ったことや悩んでいることを共有する。 対象者：生活支援員・職員 参加者：生活支援員16人、職員8人 計24人</p> <p>事業名：生活支援員情報連絡会 「多摩市における成年後見制度の利用及び中核機関の役割について」 日 時：令和5年1月30日（月）午後2時～4時 場 所：総合福祉センター7階 研修室 目 的：利用者のうち、判断能力の著しい低下により、成年後見制度利用へつながるケースが増えてきており、多摩市における成年後見制度の利用促進を図る中核機関について、生活支援員が正しい知識を得ることにより、利用者が安心して地</p>

	<p>域で暮らせる支援につなげていく</p> <p>内 容：中核機関の役割について多摩南部成年後見センター職員より説明し、利用者の意思確認について困っていることをグループワークで話し合い、支援活動時の留意点を共有する。</p> <p>対象者：生活支援員</p> <p>参加者：生活支援員14人、職員7人</p>
--	---

1.3 資金貸付事業

(1) 生活福祉資金（東京都社会福祉協議会受託事業）

単位：円

資金種別		30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
相談総件数		2,114件	2,148件	1,397件 ※特例貸付 (4,596件)	295件 ※特例貸付 (1,534件)	343件 ※特例貸付 (325件)
資金種別ごとの貸付内容	①福祉資金	308,000 (2件)	-	-	851,000 (2件) 辞退 792,000	140,000 (2件)
	②緊急小口資金	100,000 (1件)	※特例貸付 (11件)	※特例貸付 (1,032件)	※特例貸付 (438件)	※特例貸付 (95件)
	③教育支援資金	27,689,500 (23件) 辞退 10,000	1,370,000 (8件) 辞退 238,000	13,269,000 (10件) 辞退 2,190,000	7,066,500 (5件)	6,352,000 (4件)
	④総合支援資金	420,000 (1件)	※特例貸付 (0件)	※特例貸付 (1,056件)	※特例貸付 (1,194件)	※特例貸付 (86件)
	⑤要保護世帯向け 不動産担保型 生活福祉資金	-	13,930,000 (1件)-	-	-	-
	合計	28,507,500 (27件)	15,300,000 (20件)	13,269,000 (2,098件)	7,125,500 (1,639件)	6,492,000 (187件)

※特例貸付：新型コロナウイルスの影響による特例貸付の申請（緊急小口資金）・貸付（総合支援資金）件数

(2) 小口資金（多摩市社会福祉協議会独自事業）

不慮の出来事で、その出費に急を要するものに2万円を限度に資金を貸し付ける。

単位：円

		30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
相談総件数		558件	425件	51件	154件	259件
貸付金額		250,000 (13件)	-	20,000 (1件)	50,000 (3件)	30,000 (2件)
償還 状況	当年度貸付分 償還金	164,000 (22件)	-	20,000 (1件)	20,000 (1件)	30,000 (2件)
	過年度貸付分 償還金	158,000 (28件)	117,000 (22件)	2,000 (1件)	30,000 (4件)	71,000 (6件)

(3)緊急援護事業（多摩市社会福祉協議会独自事業）

生活困窮者に対して、2,000円を限度に金品等を援助する。

単位：円

	30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
支給件数	4件	7件	* 5件	1件	1件
支給金額	1,000	8,000	* 2,500	1,100	10,000

※業務の一部は、多摩市健康福祉部生活福祉課に依頼して実施

*多摩市健康福祉部生活福祉課で、5件合計2,500円支給。うち4件は返還済。

(4)ひとり親家庭高等職業訓練促進資金貸付事業（東京都社会福祉協議会受託事業）

ひとり親の修学を支援し、資格取得と資格を活かした就職を促進して一人親家庭の自立を図る（平成28年12月開始）。

		30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
相談件数		29件	28件	4件	18件	8件
貸付件数	① 入学準備金	—	1,000,000 (2件)	—	—	—
	② 就職準備金	200,000円 (1件)	400,000 (2件)	—	200,000 (1件)	200,000 (1件)
	③ 住宅支援資金				1,999,200 (4件)	480,000 (1件)
	合計	200,000円 (1件)	1,400,000 (4件)	—	2,199,200 (5件)	680,000 (2件)

※ ③住宅支援資金貸付は令和3年12月より受託開始。

(5)出張相談（しごと・くらしサポートステーション）

	R2年度	R3年度	R4年度
実施回数	未実施	未実施	未実施
相談件数	—	—	—

※令和元年6月開始、令和2年度より生活福祉資金特例貸付の実施に伴う、社協内での相談・申請対応の増加に対応するため停止中。

(6)その他（フードバンク事業）

生活困窮者に対して、食糧提供による支援を実施。

	30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
支給件数	(111件)	(50件)	(185件)	34件	35件

※令和3年度より貸付相談のあった困窮者への配布件数のみを計上。（ ）は合算数

1.4 収益事業の実施

公園・資源化センター等の公共施設、福祉協力店、および市内工事現場に自動販売機を設置し、その売上の一部が収益金と、赤い羽根共同募金および地域ささえあい募金への寄付となる。

単位：円

設置場所	業者	ロケーションマージン額（手数料収入）				
		30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
一本杉公園（2台）	西都ヤクルト販売（株）	791,636	630,449	572,899	566,139	513,719
多摩東公園		363,216	-	479,983	646,472	639,549
資源化センター		201,216	303,848	205,818	187,668	186,751
エリアティ		25,365	23,530	30,247	26,493	29,885
魚勇		4,157	3,431	1,489	-	-
シルバー人材センター		30,924	-	-	-	-
新井歯科医院	*1	27,443	26,531	26,792	22,595	24,210
ポロン	東京キリンビバレッジサービス（株）	15,207	13,988	14,265	15,625	24,812
高西寺		23,227	21,397	24,051	29,263	30,185
KDDI 多摩センタービル		-	-	13,322	43,261	30,626
三井住友建設聖蹟桜ヶ丘現場		-	-	66,492	330,559	301,187
旧北貝取小学校工事現場		-	-	1,488	61,071	-
トムハウス改修工事現場					55,194	39,788
連光寺老人福祉館工事現場					34,895	18,056
多摩中央図書館工事現場（2台）					（募金のみ）*2	（募金のみ）*2
中沢都営住宅建設工事現場		9,372	24,702	12,704	-	-
西落合小学校改修工事現場		64,237	74,387	-	-	-
K&K		181,476	111,310	-	-	-
チャットボックス	31,361	-	-	-	-	
ジャパンビバレッジ	112	-	-	-	-	
合計		1,768,949	1,219,079	1,449,550	2,019,235	1,838,780

*1 設置業者）コカ・コーラボトラーズジャパン（株）

*2 設置先の意向により、販売手数料に係る寄付金は赤い羽根共同募金と地域ささえあい募金のみに対象（収益金とならない）

※ ロケーションマージン額：販売品売上単価の1%～40%（設置場所により異なる）を販売手数料としており、商品により1本当たり1円～60円の収益がある。

15 障がい者地域活動支援センター事業（多摩市受託事業）

(1) 概要

目 的	市内在住の障がいのある方や家族等を対象とした事業の実施、情報提供、福祉サービス利用の援助を行い、障がいのある方の社会参加、自立への援助を図る。
事業開始	平成24年4月1日（受託事業開始）
対 象	市内在住の障害者手帳所持者・家族、市内の障がい者団体
実施場所	多摩市総合福祉センター内
内 容	<p>① 業務日時 月曜日から土曜日まで〔第2土曜日、日曜日、祝祭日、年末年始を除く〕の午前8時30分から午後5時まで</p> <p>② 事業内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ●基礎的事業 <ul style="list-style-type: none"> ・趣味や生きがい活動の支援（教養講座など） ・在宅障がい者デイサービス事業 ・社会との交流の場の提供（同好会活動、カラオケの日、グループ活動など） ●機能強化事業 <ul style="list-style-type: none"> ・相談支援事業（福祉サービスの利用援助等） ・各種相談事業（パソコン相談など） ・水浴訓練室事業（水中機能訓練など） ・入浴サービス（通所入浴・訪問入浴） ・普及啓発事業（障がい者と共にひとときの和、講演講座など） ●高次脳機能障害者支援促進事業 <ul style="list-style-type: none"> ・相談支援 ・関係機関との連携 ・社会資源の把握・開拓 ・広報・普及啓発 ●その他 <ul style="list-style-type: none"> ・ヘルプカードの配布、疑似体験学習への協力など

(2) 契約状況等

単位：円

	令和4年度	令和3年度
区 分	内 容	内 容
契約年月日	令和4年4月1日	令和3年4月1日

	地域活動支援センター				地域活動支援センター			
	合計	基礎的 事業	機能強化 事業	高次脳機能 障害者支援 促進事業	合計	基礎的 事業	機能強化 事業	高次脳機能 障害者支援 促進事業
契約金額	94,219,000	32,167,000	57,950,000	4,102,000	92,965,000	30,827,000	58,036,000	4,102,000
契約変更日	令和5年1月6日				令和4年1月7日			
変更契約金	92,488,000	31,686,000	56,700,000	4,102,000	89,665,000	30,547,000	55,016,000	4,102,000

(3) 収支の状況

① 収入の状況

単位：円

区 分	令和4年度				令和3年度			
	予算現額	収入済額	予算残額	執行率 (%)	予算現額	収入済額	予算残額	執行率 (%)
受託金収入	92,488,000	86,390,292	6,097,708	93.4	89,665,000	79,628,103	10,036,897	88.8
参加費収入	18,000	20,161	△2,161	112	22,000	6,900	15,100	31.4
利用料収入	436,000	136,033	299,967	31.2	424,000	128,725	295,275	30.4
計画相談支援給付費	7,600,000	9,116,842	△1,516,842	120	5,520,000	8,643,292	△3,123,292	156.6
寄付金収入	10,000	10,000	0	100	30,000	30,000	0	100
受取利息配当金収入	1,000	217	783	21.7	1,000	232	768	23.2
合計	100,553,000	95,673,545	4,879,455	95.2	95,662,000	88,437,252	7,224,748	92.9

② 支出の状況

単位：円

区 分	令和4年度				令和3年度			
	予算現額	支出済額	予算残額	執行率 (%)	予算現額	支出済額	予算残額	執行率 (%)
人件費	79,100,000	74,544,483	4,555,517	94.2	75,487,000	69,277,797	6,209,203	91.8
事業費	12,784,000	11,103,681	1,680,319	86.9	13,690,000	9,960,705	3,729,295	72.8
事務費	1,422,000	1,191,082	230,918	83.8	1,784,000	1,425,676	358,324	79.9
支払利息	71,000	70,953	47	99.9	94,000	93,007	993	98.9
固定資産取得	520,000	505,120	14,880	97.1	390,000	342,540	47,460	87.8
リース債務	530,000	529,647	353	99.9	508,000	507,593	407	99.9
退職積立金	2,533,000	2,531,520	1,480	99.9	2,508,000	2,506,410	1,590	99.9
拠点区分間繰入金	3,593,000	5,197,059	△1,604,059	144.6	1,201,000	4,323,524	△3,122,524	341.0
合計	100,553,000	95,673,545	4,879,455	95.2	95,662,000	88,437,252	7,224,748	92.4

(4) 利用登録状況

		30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
登録人数		121人	114人	77人	79人	80人
	(内訳) 身体	70人 (身体・知的重複4人含む)	64人 (身体・知的重複5人、身体・精神重複3人含む)	54人 (身体・知的重複3人、身体・精神重複4人含む)	74人 (身体・知的重複3人、身体・精神重複2人含む)	54人 (身体・知的重複3人、身体・精神重複2人含む)
	知的	18人	22人 (知的・精神重複1人含む)	8人	1人	9人
	精神	5人	9人	8人	3人 (知的・精神重複1人含む)	13人 (知的・精神重複1人含む)
	手帳無	32人	29人	14人	1人	10人
※年度の登録人数の内訳						
登録延人数		318人	352人	369人	383人	414人
利用延人数		5,460人	4,291人	2,439人	3,427人	3,975人

※登録延人数・内訳ともに重複有。年度の登録人数に変更

(5) 実施状況

【基礎的事業】

① 趣味や生きがい活動の支援（教養講座など）

・パソコン教室

コース	内容	第1 四半期	第2 四半期	第3 四半期	第4 四半期	年間
木曜コース 年3回 (各4回) 延12回	身体、知的、精神障がい者を対象にレベルに応じて基礎から指導	5/12～6/2 ワード入門 チラシを作る 4人	7/7～28 エクセル入門 パンフを作る 9人	10/6～27 年賀状を作る 9人	1/21～2/18 エクセル 12人	44人
土曜コース 年3回 (各4回) 延12回		6/4～6/25 ワード入門 チラシを作る 2人		10/15～ 11/5年賀 状を作る 8人		
視覚障害 コース 年3回 (各4回) 延12回	視覚障がい者を対象に音声機能付きソフトで文章作成やインターネットの操作方法等の指導		9/1～22 マイエディット 6人	11/10～ 12/1 年賀状を作る 4人	3/2～3/23 ネットリーダー 7人	17人

・体操・親子体操教室

成人向け 体操教室 前期・後期 各10回 延20回	・ボール、タオルを使った椅子に座りながらの体操 ・身体、知的、精神障がい者が参加し、無理なく身体を動かし機能の維持向上と交流を図る	前期 5月～9月 99人 第1四半期 39人 第2四半期 60人	後期 10月～2月 114人 第3四半期 57人 第4四半期 57人	213人
親子体操 教室 前期・後期 各10回 延20回	・心身の発達の気になる子どもと保護者がボール等の道具を使い身体を動かしながら共に楽しむ	前期 5月～9月 33人 第1四半期 11人 第2四半期 22人	後期 10月～2月 68人 第3四半期 36人 第4四半期 32人	101人

② 在宅障がい者デイサービス事業 毎週水・金曜日 定員：8人

<p><年間> ・登録人数 6人：手帳所持者 4人（身体4人・精神1人）、手帳なし（難病） 1人 ・利用者（最終） 5人 <第1四半期> ・開設日数 24日 延利用者数 56人 退所者1人 <第2四半期> ・開設日数 26日 延利用者数 68人 新規者1人 <第3四半期> ・開設日数 24日 延利用者数 97人 新規者1人 <第4四半期> ・開設日数 26日 延利用者数 97人</p>								
内 容		実施回数・人数					詳 細	
		第1 四半期 延人数	第2 四半期 延人数	第3 四半期 延人数	第4 四半期 延人数	年間		
基本事業 (訓練等)	機能訓練	体操	53人 22回延	68人 26回延	92人 23回延	75人 20回延	287人 91回延	個別訓練：S.U.D(Step Up Day) 毎月、身体評価日を設け、利用者の各々の機能低下に合わせたプログラムを個別に実施 <第1四半期> ・機能訓練 その他：水中運動プログラム導入 ＊毎月1回 水浴訓練は、対象者が5月より欠席の為、休止 ・社会適応訓練 外出訓練：5月永山駅周辺周辺 6月遠出を避け、近隣での花観賞 <第2四半期> ・機能訓練 その他：水中運動プログラム休止 ・社会適応訓練 調理訓練：7月そば打ち その他：園芸療法9月
		歩行訓練	5人 3回延	4人 2回延	38人 11回延	41人 12回延	89人 29回延	
		その他	1人 1回延	0人 0回延	0人 0回延	4人 1回延	5人 2回延	
	社会適応訓練	認知訓練	51人 22回延	65人 25回延	97人 24回延	84人 23回延	305人 97回延	
		OT(作業療法)	51人 22回延	65人 25回延	92人 23回延	80人 22回延	288人 92回延	
		ST(言語訓練)	2人 1回延	4人 2回延	7人 3回延	0人 0回延	13人 6回延	
		外出訓練	1人 1回延	0人 0回延	13人 3回延	4人 1回延	18人 5回延	
		脳トレ	7人 3回延	6人 3回延	3人 1回延	6人 2回延	22人 9回延	
		調理訓練	0人 0回延	2人 1回延	5人 1回延	4人 1回延	11人 3回延	
		個別訓練等	12人 7回延	9人 3回延	18人 4回延	10人 3回延	49人 17回延	

		その他	0人 0回延	3人 1回延	6人 2回延	41人 11回延	50人 14回延	<第3四半期> ・社会適応訓練 外出訓練：10月唐木田駅周辺 12月美術展見学 調理訓練：11月炊込飯、豚汁他 <第4四半期> ・社会適応訓練 外出訓練：3月レールらんど 調理訓練：2月焼きそば、ワガ他 その他：園芸療法3月 ＊新型コロナウイルス感染症の 拡大防止のため、調理訓練、カラ オケなどプログラム一部変更、中 止あり
創作活動	作業・創作 (作品製作)		8人 4回延	28人 8回延	24人 8回延	8人 3回延	68人 25回延	
	書画		8人 3回延	8人 3回延	14人 3回延	14人 3回延	44人 12回延	
	その他		0人 0回延	5人 3回延	0人 0回延	0人 0回延	5人 3回延	
ビクティ アクティ	カラオケ		6人 2回延	0人 0回延	9人 2回延	4人 1回延	19人 5回延	
	ゲーム		13人 5回延	6人 2回延	12人 3回延	9人 2回延	40人 12回延	
	その他		2人 1回延	0人 0回延	9人 3回延	6人 2回延	17人 6回延	
入浴	入浴サービス		4人 4回延	0人 0回延	0人 0回延	0人 0回延	4人 4回延	
付属	給食サービス		55食 23回延	63食 24回延	84食 21回延	86食 23回延	288食 91回延	
	送迎サービス		112人 24回延	135人 26回延	194人 24回延	192人 26回延	633人 100回延	

③ 社会との交流の場の提供（カラオケの日、グループ活動など）

事業名	実施日	第1 四半期 延人数	第2 四半期 延人数	第3 四半期 延人数	第4 四半期 延人数	年間
カラオケの日	第4土曜日午前	中止	中止	中止	中止	0人
言語訓練 ＊失語症のある方を対象と したおしゃべりのグループ	水曜日 第1・3・4グループ 第2・4個別	36人	35人	27人	29人	127人
グループ活動 マーブル ＊統合失調症を主診断と する方を対象	第4木曜日午後 ＊H30年7月開始	6人	4人	2人		12人

※同好会活動（憩書道）は令和3年度末で解散したため、同好会グループ活動はなし

【機能強化事業】

① 相談支援事業（一般相談）電話、来所、訪問、その他による相談支援

相談内容：精神障がい者の不安時における電話相談の傾聴

障害福祉サービスを利用していない障がい者の継続的な支援

親なきあとの暮らしについての相談

関係機関からの相談や専門の相談窓口についての相談など

	第1 四半期 延人数	第2 四半期 延人数	第3 四半期 延人数	第4 四半期 延人数	年間
相談延人数 (新規継続含む)	320人	215人	198人	266人	999人(862人)
来所	25人	19人	21人	21人	86人(67人)
電話	245人	158人	118人	205人	726人(586人)
メール	43人	26人	37人	24人	130人(149人)
訪問	5人	11人	19人	13人	48人(50人)
同行	2人	1人	3人	3人	9人(10人)

※（ ）は前年度

② 各種相談事業

相談会名	協力団体・内容	実施日	第1 四半期 延人数	第2 四半期 延人数	第3 四半期 延人数	第4 四半期 延人数	年間
パソコン相談会 *パソコンボランティア多摩	パソコン操作やトラブルに関する個別相談	第1~4 火曜日	27人	32人	26人	23人	108人
聞こえと補聴器の相談会 *共催 NPO 法人多摩市聴覚障がい者情報活動センター	言語聴覚士による聴力検査、補聴器や日常生活用具等に関する相談	年3回	6人	7人	4人		17人
親なきあと個別相談 *渡部行政書士事務所 代表 渡部 伸氏	親なきあとを心配している家族が法制度やサービスの内容を相談することにより、子の将来の準備を行う機会とする。	毎月第3 水曜日	6人	10人	3人	4人	23人
言葉のこと相談	言語聴覚士による言葉と嚥下に関する個別相談	毎週 水曜日	0人	1人	1人	7	9人
唐木田児童館 言葉の相談 ほっとたいむ	来館の子ども、保護者に言語聴覚士がコミュニケーションをとりながら、言葉に関する心配事などを聞く	毎月第1 水曜日 *H30年6 月開始	2人	5人	1人	3	11人

③ 水浴事業

事業名	実施日	内容	第1 四半期 延人数	第2 四半期 延人数	第3 四半期 延人数	第4 四半期 延人数	年間
水中機能訓練	火・木曜日 通年 各42回	水の特性を利用したりハビリや機能維持・向上のための水中運動 *手帳所持者等 脳出血・脳梗塞後遺症、関節リウマチ、変形性股(膝)関節症、パーキンソン病等 ・送迎サービス有	146 人	127 人	145 人	117 人	535人
水中機能訓練フォローアップ	全1回午後 *今年度、休止	水中機能訓練修了者の、個人貸出への移行後の再修正の機会を設ける					0人
水浴訓練室貸出	個人貸出	月・金曜日 午前/午後	156 人	139 人	165 人	113 人	573人
	団体貸出	土曜日 午前/午後	2人	3人	6人	12人	23人

④ 入浴サービス事業

	第1四半期		第2四半期		第3四半期		第4四半期		年間		その他
	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数	
通所入浴サービス	5人	44人	4人	42人	4人	38人	4人	40人	5人	164人	施設内での機械浴(送迎有・デイ利用者含む)身体、知的
訪問入浴サービス	8人	75人	8人	79人	8人	79人	8人	80人	8人	313人	訪問入浴事業者へ再委託身体、知的

⑤ 普及啓発事業

ア) 総合福祉センターだより発行状況(月1回発行) ※老人福祉センター事業配布分含む				
発行部数	総発行部数	設置・送付箇所	主な設置・送付箇所	
約770部	約9,240部/年	約77箇所	市内公共施設(公民館、コミュニティセンター)、関係機関等	
イ) 多摩市福祉交流会「障がい者と共にひとときの和」				
実施日	対象校(予定)	参加人数	内容	参加協力団体
※令和2年度・3年度に引き続き実施中止	多摩第三小学校 豊ヶ丘小学校		<p>◆第1回実行委員会 10/24(月) 13:30~16:30</p> <p>*開催予定校との調整状況を踏まえ、実施の可否、今後について審議・決定</p> <p>*学校における、障がい理解の取り組みについて検討</p> <p>※市障害福祉課より説明・提案</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・NPO法人多摩市身体障害福祉協会/アートひまわり ・多摩市視覚障がい者福祉協会 ・多摩市聴覚障害者協会 ・多摩市点字サークルトータス ・多摩市手話サークルクローバー
ウ) 福祉機器展示コーナー				
<ul style="list-style-type: none"> ・車いす、クッション、シルバーカー、杖、靴、シャワーチェア、すべり止めマット等の展示 ・福祉機器等に関する情報提供 ・看護師によるミニ健康相談 ・作業療法士によるリハビリ相談 		<p><第1四半期~第2四半期> 休止</p> <p>*福祉機器に関する相談には個別に対応</p> <p><第3四半期~></p> <p>総合福祉センター指定管理者に事業継承・移管</p> <p>*必要に応じ、個別相談や情報提供にて連携・対応</p>		

エ) 講演会・協力事業	参加者数
<p>①10/29(土) 講演会 (高次脳機能障害支援促進事業) 「障害をもつことになって見えてきた、多様化社会に向け本当に必要なこと」 *高次脳機能障害当事者である講演者の体験談を通して、だれもが社会の中で自分らしい生き方を実現する社会について考える 講演 「株式会社アクティベートラボ」代表取締役 増本裕司 氏</p> <p>②11/19(土) 失語症入門講座 (「失語症の理解と支援」 (「多摩市失語症友の会こだま」主催事業への協力) *言語障害や識字の低下等の失語症の症状、失語症の方との接し方などの支援について理解する 講演 「多摩市失語症友の会こだま」会員 他</p> <p>③12/3(土) 障害者週間事業 普及啓発映画上映 (地域活動支援センター主催) 「不安の正体 ～精神障害者グループホームと地域」 *精神障がい者のグループホームの状況や地域住民との関わりや住民感情を通して、当事者の方の実像を知り、地域への理解促進を図る 講演 飯田基晴 氏 (本作監督。第2部の講演者として登壇)</p> <p>④3/26(日) ひきこもり講演会 「社会変化と生きづらさを抱える人たち」 (多摩市地域家族会「ぼんぼこの会」と共催) *ひきこもりへの家族や社会の向き合い方を通して支援の在り方を考える 講演 上田理香 氏 (KHJ全国ひきこもり家族会連合会本部事務局長)</p>	<p>①42人 ②30人 ③35人 ④25人</p>
オ) 障がい者スポーツ体験	
<p>・ボッチャセットの貸出</p>	<p>・市役所新任研修 (延日数 16日) ・障がい児支援事業所、失語症グループ (延日数 38日)</p>

【その他】

① ヘルプカードの配布

配布場所：多摩市役所障害福祉課、多摩市地域活動支援センターの一ま

社協 (総合福祉センター3階・多摩ボランティア・市民活動支援センター)

	第1 四半期 延人数	第2 四半期 延人数	第3 四半期 延人数	第4 四半期 延人数	年間
身体障害	37人	23人	6人	29人	95人
知的障害	8人	5人	1人	8人	22人
精神障害	37人	12人	1人	23人	73人

難病	1人	2人	2人	3人	8人
高齢	0人	0人	0人	1人	1人
その他	5人	8人	8人	11人	32人
備考					0人
合計	88人	50人	18人	70人	226人

② 団体共用室の使用

使用団体：多摩市聴覚障害者協会、多摩市視覚障害者福祉協会、多摩市身体障害者福祉協会、
多摩市手をつなぐ親の会、多摩市精神障害者家族会サンクラブ多摩、失語症友の会
「こだま」(R4年9月まで)

	第1 四半期	第2 四半期	第3 四半期	第4 四半期	年間
使用日数	50日	46日	44日	44日	184日
延人数	374人	297人	297人	256	1,224人

【高次脳機能障害者支援促進事業】

①相談事業	<ul style="list-style-type: none"> ・相談人数・件数 新規相談者数： 12人(単回も含む) 計画相談：8人、一般相談 50人 相談延人数：直接相談(面接/訪問/同行) 延べ79人 105件 電話等相談 延べ96人 404件 相談者内訳：本人、家族、医療機関、関係機関等から相談 相談内容 <ul style="list-style-type: none"> ・介護保険以外で利用できる障害サービス ・入院中のソーシャルワーカーより退院後の生活相談、社会資源の紹介 ・障害年金申請の支援他 ・土曜相談日 毎月第1土曜日午後 ・「パートナーのための個別相談会」土曜日午後 全10回実施 ・医師によるケース検討会 未実施
②関係機関との連携	<ul style="list-style-type: none"> ・関係者連絡会 R4.7 R5.3 対面形式で実施 今年度の事業報告/来年度の事業計画、情報交換会 ・見学会 未実施 ・近隣家族会の定例会に参加・連携 未実施 ・市障害福祉課との打合せ 1回(1月) ・南多摩高次脳機能障害者支援普及事業協力施設会議への参加 毎月 Web 開催 ・家族会への参加(らーふの会・こだま) 随時 ・市民向け学習会・勉強会(10月)当事者によるミニ講座 (11月)失語症の理解と支援(協力) ・東京医療学大学との連携(事例相談)(2月) ・多摩中央警察署 訪問/相談付き添いと事業の案内(2月) ・南多摩高次脳機能支援センターとの連携(2月)症例検討会の開催運営に協力

	<ul style="list-style-type: none"> ・地域活動への参加支援と開拓 ・日野市 関係機関連絡会への参加 (3月)
③社会資源の把握・開拓	<ul style="list-style-type: none"> ・就労B型 相模原市「NPO法人モノリス」見学 ・グループホーム 多摩市内3か所見学 「クラブティハイム永山」「セリアンスハウス京王永山」「SUNSUN 諏訪」 ・研修会への参加…「関東圏 ピアサポーター準備研修会」 「サポーター育成研修/NPO法人足立さくら会」 ・在宅障がい者デイサービスで1名受け入れ ・言語訓練(グループ・個別)6名参加 ・上記活動への失語症会話パートナー派遣要請 ・グループ活動「ほのぼの」「ほのぼのパートII」10回開催 8名参加 音楽療法・交流会 ・グループ活動「桜プラス」7回開催 4名参加 女性のためのグループ活動・交流会
④広報・普及啓発	<ul style="list-style-type: none"> ・「南多摩医療圏域支援マップ」(第3版)の配布・活用 ・社協広報誌への掲載 ふくしだより9月15日号に講演会、講座の紹介 総合福祉センターだより(毎月)事業紹介・参加者募集など ・社協ホームページへの掲載 ・福祉センター3階 図書情報コーナー/関連書籍の購入と貸出

【指定特定相談支援事業】 福祉サービス等利用計画の作成

障がいのある方が様々なサービスの利用を通じて希望する生活の実現や目標の達成に向けて、生活の中で解決すべき課題や支援の内容を本人と相談しながら具体的にプランを立てていく。

総契約数：153人(162)

相談形態：来所76件(114)、電話5,795件(6,452)、訪問991件(1,110)、同行84件(105)、メール1,384件(954) のべ件数8,331件(8,735)

計画作成数：新規、モニタリング 545件(562) ()は前年度

16 同行援護事業

(1) 概要

目的	視覚障がいにより、移動に著しい困難を有する障がい者等に対し、同行援護従事者を派遣し、移動時及びそれに伴う外出先において必要な視覚的情報の支援（代読、代筆を含む）を行う。外出先において必要な移動の援護や排泄等必要な介助を行うことにより、社会参加、及び自立支援を行うことを目的とする。
対象者	多摩市より障害福祉サービス受給者証の交付を受けた者。 契約者43人（令和5年3月末現在）＊新規契約者2人
同行援護従事者	同行援護従業者養成研修（一般過程）を修了した者。 居宅介護の従事者要件を満たす者については特例措置あり。 ＊登録者数35人（令和5年3月末現在）＊新規登録者4人

(2) 収支の状況

① 収入の状況

単位：円

区 分	令和4年度				令和3年度			
	予算現額	収入済額	予算残額	執行率(%)	予算現額	収入済額	予算残額	執行率(%)
介護給付費	12,270,000	11,432,259	837,741	93.2	13,241,000	8,660,915	4,580,085	65.4
利用料負担金	186,000	202,904	△16,904	109.1	120,000	140,892	△20,892	117.4
受取利息配当金	1,000	21	979	2.1	1,000	18	982	1.8
前期末支払資金残高	53,000	53,000	0	100	—	—	—	—
合計	12,510,000	11,688,184	821,816	93.4	13,362,000	8,801,825	4,560,175	65.8

② 支出の状況

単位：円

区 分	令和4年度				令和3年度			
	予算現額	支出済額	予算残額	執行率(%)	予算現額	支出済額	予算残額	執行率(%)
人件費	3,771,000	3,484,087	286,913	92.4	3,651,000	3,222,366	428,634	88.2
事業費	7,958,000	6,267,124	1,690,876	78.8	8,890,000	4,752,439	4,137,561	53.4
事務費	781,000	582,907	198,093	74.6	691,000	450,157	240,843	65.1
固定資産取得	—	—	—	—	130,000	114,180	15,820	87.8
合計	12,510,000	10,334,118	2,175,882	82.6	13,362,000	8,539,142	4,822,858	63.9

(3) 同行援護活動実績

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
契約者数	47人	39人	40人	41人	43人

(うち身体介護有)	—	—	—	—	—
利用人数	344人 (月平均 28.7人)	315人 (月平均 26.3人)	245人 (月平均 20.4人)	274人 (月平均 22.8人)	285人 (月平均 23.5人)
派遣回数	1,931回 (月平均 160.9回)	1,692回 (月平均 141回)	1,100回 (月平均 91.7回)	1,194回 (月平均 99.5回)	1,308回 (月平均 109回)
派遣時間	6,393.5時間 (月平均 532.8時間)	5,604時間 (月平均 467時間)	3,395.5時間 (月平均 283時間)	4,108.5時間 (月平均 342.3時間)	4,518時間 (月平均 376.5時間)
活動者数	308人 (月平均 25.7人)	295人 (月平均 24.6人)	259人 (月平均 21.6人)	300人 (月平均 25人)	293人 (月平均 24.4人)
同行援護登録従事者	27人	31人	32人	39人	35人

(4) 虐待防止委員会

虐待防止に関する委員会を開催し、実施内容について検討した。

開催日・場所	R5.3.13 (月) 総合福祉センター705 会議室
構成	事業管理者又は施設長、事業担当係長、事業担当者、 事業サービス担当責任者、その他関係職員
内容	・各種運営規定、虐待防止委員会設置要綱の確認 ・虐待防止マニュアル(案)、チェックリスト、他様式について
参加者	7人

(5) 同行援護従事者研修会

例年実施している従事者研修会に外部講師を招いて全従事者対象に実施した。

開催日・場所	R5.3.23 (木) 総合福祉センター7階 研修室
対象	令和4年度に従事者登録をしている方 35人
内容	講習：最新の同行援護情報・虐待にならないための誘導方法 演習：狭い場所・バスの乗降・階段の誘導方法
参加者	9人

1.7 意思疎通支援（手話通訳者派遣）事業（多摩市受託事業）

(1) 概要

目的	聴覚障がい者及び言語障がい者（以下「聴覚障がい者等」という）が、他者との意思疎通を円滑にするため、手話通訳を必要とする場合に、手話通訳者を派遣すること及び手話通訳に係わる交通費を助成することにより、聴覚障がい者等の地域での自立生活及び社会参加を促すことを目的とする。
対象者	① 多摩市地域生活支援事業要綱第3条の規定を満たし、かつ、市に居住する聴覚、音声又は言語機能障害のため身体障害者手帳を所持する者。 ② 市に事務所を有する聴覚障がい者等団体。 ③ ①に該当する者が複数参加することが見込まれている講演会その他事業の主催者 ④ その他市長が特に認めた者。
利用時間の制限	手話通訳者等の派遣・・・・・・・・原則月20時間
手話通訳者	① 多摩市登録手話通訳者…手話通訳士又は手話通訳者全国统一試験に合格した市内在住の満20歳以上の者で、多摩市長が手話通訳者として認定した者。※登録者数36人（令和5年3月末現在） ② 東京手話通訳等派遣センター登録手話通訳者 ※専門的な内容に関わる場合で、利用者が希望する場合に派遣。

(2) 契約状況等

区分	令和4年度		令和3年度	
	内容	備考	内容	備考
契約年月日	令和4年4月1日		令和3年4月1日	
概算契約金額	10,171,000		10,001,000	

(3) 収支の状況

① 収入の状況

単位:円

区分	令和4年度				令和3年度			
	予算現額	収入済額	予算残額	執行率(%)	予算現額	収入済額	予算残額	執行率(%)
受託金収入	10,171,000	9,502,580	668,420	93.4	10,001,000	9,610,000	310,000	96.9
受取利息配当金収入	1,000	14	986	1.4	1,000	14	986	1.4
合計	10,172,000	9,502,594	669,406	93.4	10,002,000	9,691,014	310,986	96.8

② 支出の状況

単位：円

区 分	令和4年度				令和3年度			
	予算現額	支出済額	予算残額	執行率 (%)	予算現額	支出済額	予算残額	執行率 (%)
人件費	4,893,000	4,745,712	147,288	97.0	4,626,000	4,547,582	78,418	98.3
事業費	4,471,000	4,217,552	253,448	94.3	4,511,000	3,891,050	619,950	86.2
事務費	807,000	539,330	267,670	66.8	734,000	604,496	129,504	82.3
固定資産取得	—	—	—	—	130,000	114,180	15,820	87.8
拠点区分間繰入金	1,000	28	972	2.8	1,000	14	986	1.4
合計	10,172,000	9,502,622	669,378	93.4	10,002,000	9,157,322	844,678	92.6

(4) 多摩市登録手話通訳者の活動実績

	30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
利用登録者	116人	115人	113人	120人	114人
登録手話通訳者	30人	33人	39人	37人	36人
派遣件数(市・都)	1,043人	1,051件	894件	968件	941件
派遣時間(市)	1,664時 間 47分	1,761時 間 9分	1,368時 間 21分	1,479時 間 42分	1840 時間 39分
派遣者活動人数 (市)	261人	264人	232人	239人 (月平均 19.9人)	276人 (月平均 23.0人)

(5) 手話通訳者研修会

①外部講師による研修会(全5回) 参加延人数91人

講師：東京手話通訳等派遣センター、東京都手話通訳問題研究会、社会保険労務士、
大学教授

内容：医療事例の場面通訳、通訳場面の事例検討、障害者権利条約講義、年金講義

②その他研修会(全10回) 参加延人数224人

内容：場面通訳(医療、講演会、行政手続き)、事例検討、読み取り

18 意思疎通支援（要約筆記者派遣）事業（多摩市受託事業）

(1) 概要

目 的	聴覚障がい者等が、他者との意思疎通を円滑にするため、要約筆記を必要とする場合に、要約筆記者を派遣すること及び要約筆記に係わる交通費を助成することにより、聴覚障がい者等の地域での自立生活及び社会参加を促すことを目的とする。
対 象 者	① 多摩市地域生活支援事業要綱第3条の規定を満たし、かつ、市に居住する聴覚、音声又は言語機能障害のため身体障害者手帳を所持する者。 ② 市に事務所を有する聴覚障がい者等団体。 ③ ①に該当する者が複数参加することが見込まれている講演会その他事業の主催者 ④ その他市長が特に認めた者。
利用時間の制限	要約筆記者の派遣・・・・・・・・原則月20時間
要約筆記者	①多摩市登録要約筆記者…東京都要約筆記者養成講習会を終了または同程度の満20歳以上の者で、多摩市長が要約筆記者として認定した者。 ※登録者数18人（令和5年3月末現在） ②東京手話通訳等派遣センター登録要約筆記者 ※専門的な内容に関わる場合で、利用者が希望する場合に派遣。

(2) 契約状況等

単位：円

	令和4年度		令和3年度	
区 分	内 容	備 考	内 容	備 考
契約年月日	令和4年4月1日		令和3年4月1日	
概算契約金額	948,000		1,118,000	

(3) 収支の状況

① 収入の状況

単位：円

	令和4年度				令和3年度			
区 分	予算現額	収入済額	予算残額	執行率(%)	予算現額	収入済額	予算残額	執行率(%)
受託金収入	948,000	884,520	63,480	93.3	1,118,000	350,960	767,050	31.3

② 支出の状況

単位：円

	令和4年度				令和3年度			
区 分	予算現額	支出済額	予算残額	執行率(%)	予算現額	支出済額	予算残額	執行率(%)
事業費	847,000	784,240	62,760	92.6	1,031,000	163,707	867,293	15.8
事務費	101,000	100,280	720	99.3	87,000	86,160	840	99
合計	948,000	884,520	63,480	93.3	1,118,000	249,867	868,133	22.3

(4) 要約筆記者の活動実績

	30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
利用登録者	116人	115人	113人	120人	114人
登録要約筆記者	26人	24人	22人	18人	15人
派遣件数(市・都)	60件	48件	13件	16件	37件
のべ派遣時間(市)	571時間 55分	490時間 20分	133時間 27分	113時間 16分	324時間 21分
のべ派遣活動人数(市)	118人	147人	38人	28人 (月平均 2.3人)	107人 (月平均 8.9人)

(5) 要約筆記者研修会

①外部講師による研修会(全1回) 参加延人数12人

講師：大学教授

内容：障害者権利条約講義

②その他研修会(全2回) 参加延人数14人

講師：東京手話通訳等派遣センター講師

内容：全体投影技術研修(パソコン、手書き)

19 共同募金関係

(1) 赤い羽根共同募金

※東京都共同募金会多摩地区協力会として実施

単位：円

種別	30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
街頭募金	411,413 (23 団体)	383,504 (29 団体)	未実施※	未実施※	172,236 (11 団体)
自治会・ 住宅管理組合	470,036 (41 団体)	498,273 (43 団体)	540,505 (43 団体)	507,982 (43 団体)	438,313 (39 団体)
職域及び団体募金	181,629 (44 団体)	202,706 (44 団体)	235,178 (55 団体)	209,146 (54 団体)	237,626 (60 団体)
募金箱（公共施設）	33,597 (17 団体)	36,856 (19 団体)	40,236 (17 団体)	30,406 (15 団体)	27,943 (17 団体)
プリペイドカードに よる募金	120,900 (17 団体)	120,760 (18 団体)	109,620 (26 団体)	79,676 (14 団体)	78,300 (12 団体)
個人	6,820	1,057	1,643	37,748	17,599
チャリティお菓子	73,500	59,000	56,100	67,700	71,500
カキ串焼き・牛タン つくね	80,800	76,600	未実施※	未実施※	未実施※
自動販売機	58,783	58,503	45,396	140,083	221,446
合計	1,437,478	1,437,259	1,028,678	1,072,741	1,264,963

()内は、協力等団体数※R3年度より、自治会・住宅管理組合区分に含まれていた一部（コミュニティセンター等）を法人（団体）区分に変更

※新型コロナウイルスの影響で未実施

(2) 歳末たすけあい運動募金（令和4年12月1日～12月31日まで）

単位：円

種別	30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
街頭募金	252,037 (14 団体)	203,609 (11 団体)	未実施※	152,992 (8 団体)	193,272 (8 団体)
自治会・住宅管理組 合	1,036,995 (87 団体)	917,416 (80 団体)	985,133 (74 団体)	906,163 (69 団体)	840,494 (51 団体)
法人(団体)募金	171,363 (19 団体)	143,093 (14 団体)	255,037 (22 団体)	366,781 (61 団体)	149,104 (61 団体)
個人募金	0	13,000	57,171	28,368	66,738
その他の募金 (チャリティお菓子 含む)	55,413	45,407	62,173	57,700	67,100
預金利息	2	2	2	2	2
チャリティーゴルフ	90,500	257,500	290,000	320,000	301,000

自動販売機	27,105	6,020	42,893	69,299	109,726
合 計	1,662,370	1,633,415	1,586,047	1,692,409	1,727,436
都共募納付額 ※翌年配分金額	1,582,644	1,571,478	1,519,251	1,636,977	1,658,283

()内の団体数は、協力団体数《※R3年度より、自治会・住宅管理組合区分に含まれていた一部（コミュニティセンター等）を法人（団体）区分に変更》

※新型コロナウイルスの影響で未実施

20 その他の事業

(1) 車椅子貸出事業

①概要

目的	日常生活において一時的又は短期的に車椅子を必要とする方に車椅子を貸し出し、地域福祉の向上に寄与する。
対象	市内に住所を有する方で、下記のいずれかに該当する方又は使用者を介助する方 (1) 歩行困難な高齢者 (2) 身体障がい者 (3) 疾病、傷病等により一時的に歩行困難な者 (4) その他会長が特に必要と認めたもの
貸出期間	1回 1ヶ月以内
貸出料金	無料

②車椅子貸出実施状況

	30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
貸出件数	86	95	58	120	130

平成30年度より、多摩社協窓口以外に市内社会福祉法人施設にて社協車椅子の管理・貸出を行っている。